

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』「箒木」 解題・翻刻

日向一雅
湯浅幸代

解題

『源氏物語聞録』「桐壺」巻に続き、今回は「箒木」巻の翻刻を行った。『源氏物語聞録』（縦二七・五冊、横一九・八冊）は、五冊九帖から成り、第一冊は「桐壺」と「箒木」の二帖をおさめる。「箒木」の講義は、「桐壺」が終了した十日後の寛保元年（一七四一）十月十七日より始まり、以後、廿一日、廿七日、十一月朔、七日、十一日、廿一日、廿七日、十二月朔の計九回行われた。講義録の分量は、本書が有する「桐壺」から「葵」までの九帖の内、もつとも多い。

まず、「箒木」巻で目を引くのは、初回の講義録の前に記された筆録者・湯浅兼道による『太閤記』の引用である。内容は、天正十六年（一五八八）卯月十六日、聚楽第で催された「寄松祝」を題とする「和歌御會」の歌が中心であるが、『太閤記』に記載されている百首近くの詠歌の内、『聞録』の掲載歌は僅か五首であり、兼道が意図的に抜粋したと見られる。また、その五首の詠者は、代々源氏学を修めた三条西家の「実條」（実枝孫）の他、日野、烏丸、飛鳥井といった歌道の名家出身者であり、続く文禄三年（一五九四）二月廿五日の記述には、吉野の花見の詠者として、『源氏物語』の注釈書・『紹巴抄』を著した連歌師・紹巴の名が見える。

このような『太閤記』の記述と「箒木」巻の直接的な関わりはよくわからない

いが、兼道が仕えた蜂須賀家（代々徳島藩藩主）は、豊臣秀吉との縁が深く、蜂須賀家政が阿波守に任じられたことから、後に徳島藩藩祖となった経緯がある。また、兼道が奥書で「先君」と呼ぶ吉武（徳島藩五代藩主・蜂須賀綱矩の長子）は、中院通窮に和歌を学んでいるが、「箒木」（六八才）には、奥書に名が見える原安適が尋ねた人物として登場している。この原安適は、民間出身の歌人であるが、奥書によれば、蜂須賀綱矩・吉武父子は、江戸に在駐の折、安適を召しよせ、和歌流の書物について講義をさせたようである。さらに、阿波に戻ると、安適を伴ったようだが、その旅先で、安適から『源氏物語』の講義を受けたと見られるのが、兼道の師である儒学者・那波魯堂（一七二七～一七八九）である。後に、十一代藩主・治昭の時、徳島藩の藩儒となる魯堂は、奥書において「那和先生」と記されている。兼道に講義を行ったのが、この魯堂であったためか、「箒木」（一四八才）には、魯堂が強くその学問を排撃した获生徂徠に関する記事が見られる。

また、前回、奥書に「華山那和君」とあるのを、「那和先生」と同じく那波魯堂としていたが、「華山」は当時、阿波公方八代目・平島義宜に招かれた儒学者・島津華山（一七三八～一七九四）である可能性を指摘しておきたい。阿波（平島）公方とは、足利將軍の末裔にあたり、代々阿波国平島郷に

住んだが、蜂須賀家からは次第に冷遇されていく。しかし、封建時代の辺境において、超一流の尊貴な存在であった彼らは、特に篤学の義宜・義根父子の代に、京文化を再現するような漢学詩文の一大サロンを形成する。その隆盛に大きく寄与した島津華山が京より来任した時期は、宝暦十二年（一七六二）と推測されており、兼道が奥書を記した明和七年（一七七〇）にはその名声も聞こえていたと思われる。

一方、那波魯堂の阿波赴任は、安永九年（一七八〇）頃とされているが、『先哲叢談後編』（東条琴台著、文政十年）には、明和元年（一七六四）に既に阿波侯に仕えていたという記述もあり、奥書成立の時には、魯堂、華山、ともに阿波で名を馳せていた可能性がある。二人の関係については、華山に学んだ義根と魯堂との交流が確認されており、兼道が二人から講義を受けたことも考えられるが、実際、『聞録』に見える講義開始日は、寛保元年（一七四一）九月十八日であり、当時、師たるべき二人の年齢は、魯堂十五歳、華山三歳となってしまう。しかし、この奥書が「葵」巻の講義終了から、二十七年後に書かれていることを考えると、その頃、両者から何らかの教えを受けていた可能性はあるだろう。また、講義中、講師が「師」と呼ぶ原安適についても、没年を享保初年（一七一六）頃とするなら、魯堂との接点はなく、不可解な点となるが、以上のような謎を含む奥書の検討は、今後も続けていく予定である。

再び、内容に目を移したい。今回、本書特有の注として興味深いのは、巻名の由来となった源氏歌「帚木の心をしらでその原の道にあやなくまどひぬるか」と、その返歌である空蟬歌「数ならぬ伏屋に生ふる名のうさにあるにもあらず消ゆる帚木」の引歌考証（六五才・ウ）において、『人麿集』の国名歌の内、「阿波」を詠み込んだ「こずゑのみあはとみえつつははきぎのもとを」とよりみる人ぞなき（『聞録』では「梢ヨリ」とする）を挙げ、それを松永貞徳が述べたとする点であ

る。最終的には、他の多くの注釈書が指摘する坂上是則歌を引いたとするが、柿本人麿歌の検討は、阿波国に関わる本書独自の注であろう。また、講師は、これを「師説」とし、「貞徳の勸物」については知らないと言え、『戴恩記』には、貞徳が歌など習った人物として、『源氏物語』の注釈書を作成した九条種通や中院通勝、紹巴等の名が挙げられており、中でも三条西実枝を師とする右大臣・今出川晴季が聚楽第の行幸を取り仕切ったという記述や、貞徳が飛鳥井雅春から「寄道祝」という祝儀の題をもらったと記されることは、先に確認した『太閤記』の引用と関わりがあるかもしれない。さらに、『聞録』では源氏歌に詠まれる「その原」（園原）の説明として「ソノ原ハ美濃ト信濃トノ間也」としているが、このように、帚木注の冒頭で、その位置について言及する注釈書は、昔見によると『紹巴抄』のみであり、やはりこの講師の「師」は、原安適のごとく歌道に通じ、連歌師等とも縁の深い人物であったように思われる。しかしながら、「桐壺」巻同様、儒教的言説や、儀式・官職といった貴族の制度について、特に詳細な注釈が施されている点は、武士階級のその方面への関心の高さを示しているよう。

また、他にも、本文中の「格子」について、二代目藩主・蜂須賀至鎮の妻である敬臺院の菩提寺・敬臺寺（現在の徳島県徳島市に位置）の塔の中に使われていると説明する（一二六才）など、『聞録』成立の背景を窺わせる独自注を見ることができ、江戸時代における地方武士の『源氏物語』享受のありようを考える上で、改めてこの資料の有益性を確認した次第である。

【参考文献】

- 藤井喬 『阿波人物志』（一九七三年）
 竹治貞夫 『近世阿波漢学史の研究』（風間書房、一九八九年）
 竹治貞夫 『近世阿波漢学史の研究』続編（風間書房、一九九七年）

（湯浅）

〔付記・奥書〕

第五冊【六十二ウ】

先君故修理大夫与_ニ南冥院殿_ニ隔_レ年
 述_ニ職_ノ于東武_ニ時_{シテ}徴_ニ得_ニ中堂原安適_{ナルヲ}者_ニ聞_ニ
 和歌者流之書_ニ帰_レ阿日亦令_レ從_レ駕翁来_ニ
 于茲_ニ二次我師那和先生就_ニ其旅寓_ニ聽_ニ此
 物語_ニ從_レ初至_ニ葵卷_ニ大凡九帖翁曰此書
 洪漠大率通_ニ此九帖_ニ則全編之积例可_ニ
 以準知_ニ矣余再侍_ニ華山那和君_ニ受_ニ其
 傳_ニ毫_モ不_ニ漏脱_ニ而筆記且併記_{（ノキ）}壺井義
 知所_レ考之官職私考_ニ以授_ニ子孫_ニ不_ニ肯出_ニ
 於窓外_ニ云 明和七庚寅年二月朔旦

【六十三オ】

娥眉湯浅兼道記

凡例

一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重
 書庫092.4/75/H）を用いた。

一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次の
 ような操作を加えた。

1 異体字は通行の字体に改めた。

（例） 𠄎↓書 寸↓時 畧↓略 虽↓雖 难↓難 槩↓概 窄↓窄

2 合字は分割して翻刻した

右↓ヨリ メ↓シテ・シタ コ↓コト

3 漢字に付された濁点は（ゝ）で表した。

4 振り仮名などの傍記は、右側のものを（ ）、左側のものを（ ）で
 括った。なお「筈木」「一四ウ」「ハカセ（ ）」「ハカセ（ ）」
 などは、発音記号かと思われる。

5 本文に傍記されている日付は《 》で括った。なお丁数が一緒に記
 されている場合も同様に表記した。

6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字
 においては、文字サイズを小さくした。

7 割り注は「」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、
 割り注内の改行は／で表した。

一、反復記号は、ゞ々 〳〵など、原態に近い形で翻刻した。また、
 濁点の付されたヲドリ字は〵（ゝ）で表した。

一、堅点の表記は右側のものを「同*士」（七一ウ）、左側のものを「取違」
 （六六オ）のように表した。

一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂
 正文字を（ ）で括った。

一、抹消は●で表した。

一、写本の損傷により判読不能の文字は□で表した。

一、挿入記号は◇で表し、挿入文を（ ）で括った。但し、「ヲラ◇（レ）
 又故」（二二四ウ・頭注）と「火トモス◇（ガ）」（二二六オ）は、写本に
 挿入記号はないが、挿入と解釈して表記した。

一、二文字以上の空白は「空白」で表した。

一、和歌の開始記号は「で表した。

一、本文中に見られた「の記号は『で表した。

一、頭注はへで括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐものは、開始丁にまとめて掲載した。

一、意味不明の文字列を〔囿(番号)〕と表し、その箇所を別掲した。

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 湯淺 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯淺と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・RA)で再修正を施した。

翻 刻

【六四才】

源氏物語聞録「帚木二」

【六四ウ】

○同卷十六堺ノ菜(ナ)屋助右門小琉球呂宋(ロソソ)へ渡夏壺ヲ持帰と云々

○兼道大閣記ヲ見ニ天正十六年卯月十六日和歌御會主上行ニ幸聚楽第ニ寄松祝主上乃御懐昏ハ異(コトニ)臺(ダイ)に(ニ)在中納言参議以下之懐昏ハ取集め前にかさねをかれ侍る読師講師發聲も主上は別也題ハ飛鳥井前大納言書也

烏丸光宣

うきなき代々のためしを引かふる岩ねの松の色ハかへらし

飛鳥井雅繼

陰たかき砌の松に立そひて君かちとせの春秋やへん

三条西実條

相生の松に契りて幾千代も君か齡はつきしと思ふ

日野資勝

うつし植こたかくなれる松かえにいく万代をかけて契らん

烏丸光廣

陰ふかき砌の松の風たにも枝をならさぬ御代にも有哉

下冷泉ハ為時上ハ為親也青連院准后尊朝聖護院道澄何も詠あり

○文祿三年二月廿五日吉野太閣花見ニ三位法印玄旨紹巴昌叱ノ詠アリ三月三日高野山へ御登山アリ

【六五才】

帚木(ハワキダ)

此卷(マキ)ハ哥ヲ以テ題号ニメイシタ卷ナリ哥ハ「帚木ノ心モシラデソノ原ノ道ニアヤナクマドヒツル哉ト云源氏ノヲ哥ト其返哥ニ空(ウツ)蟬(セミ)ノ「カズナラヌフセヤニオフル名ノウサニアルニモアラズキユルハ、キト云ニ首ノ哥ヲ以テ題号ニ付タ者也是ハ坂上(サカノウヘ)是(コレ)則(ノリ)ノ哥ニソノ原ヤフセヤニ生ル帚木ノ有トハ見エテ逢又君哉ト云哥アル源氏ト空蟬トノ間ノ事ガナド是則ノヨマル、其原ヤフセヤト云哥ノ心ノ様ニ目ニ見エテモ源氏ノヲ手ニマワラヌヲ取題号ニ名リ本ヨリ源氏一部ノ心ニモカ、ル也源氏ノ一部アルカト見レハナイ也今爰ニ云帚木(ハワキダ)ニテハ非ス高クアル者カト見レハ側(ソバ)へ往テ見レハナヒト也ソノ原ハ美濃ト信濃トノ間也ソコニアル草ト也惣体證哥ノ證文(モン)ノハ古(フルヒ)ヲ引ト云ニ付貞徳ハ人丸ノ集ニアル「梢ヨリアハト見エツ、ハワキダノモトヲモトヨリ知ル人ゾナキト云ハ、キ、ノ哥也コレ古

〔十月十七日會〕

〔○人丸哥コズエヨリト覺ガ外物ニハ梢ノミトアリ是ヨシ集ニハノミトアラ
ン梢ハ見ユレトモ本ハ見エヌ也阿波ノ国ヲヨム也哥ノ心ハ是則ノ哥ト同事也
ハ、キ、ヲヨム也阿波ノ心ハナシ〕

〔○六十六卷皆人丸ノ哥歟曰然リ人丸集ニアリ卅六家仙ノ中也〕

〔六五ウ〕

イ故コレヲ取ト雖（云コトナレ）ドモ紫式部ノ此卷ヲ思ヒヨセテ帚木ト云ハ
是則ノ哥ヲ以テ書故人丸ノ哥古リテモ是ハ是則ノ哥ニヨリテ書ト見テヨイ也
人丸ノ哥ハ六十六ヶ国ヲ隱（カクシ）題ニシテヨム哥アル者也是ハ阿波ノ
国ヲヨム哥也源氏一部ハ天台ノ非有非空亦有亦（ヒウヒクウヤクウヤク）空
ノ四ノ門ヲ以テ記スアルカト見レバナシ無カト見レバアル法華ノ文（モン）
ノ心也源氏一部ハアルカト見レハナイ也ハ、キ、バアルカト見レハナヒ故一部ノ
名国ニモカ、ル又此卷デハ空蟬ハヲ目ニ見テヲ手ニワラヌ也是ハ抄ニ委シクアル
也

○光源氏―わらへれたまひけんかし是迄此卷ノ小序也打まじりける是迄後序
也序ニツクル様ナ者也長雨はれまなき比ヨリ本文也惣体桐壺ハ序文迄モ入り
立ヌト云バ源氏ノ本文ハ帚木ヨリ也桐壺ノ末ニオトナニナリ玉ヒテト云文ア
ル十二歳テ元服シテソレカラオトナニナリ是十六歳也十三四五ノ

〔○貞徳ノ勸物アリヤ曰師説也勸物ハ不知アリヤ〕

〔○後序ノ例他ノ書ニモアリヤ曰アルモノ也二人ノ序入ハ後ノ序ハ後序也〕

〔六六オ〕

事カノ詞ノ中ニコモル也惣体人ノ侍●ヲ書ニ大事アルトナヒアルナヒ八年カ

、ヌ也彼オトナニナリ玉フテ二三年コモル也光源氏名ノミ―是ヲ一説ニハ名ノミ
コトノシフモ好色ノ事ト云説アレドモソレハワルイ也下（シモ）ニイト、
カ、ルスキゴト、モヲト云ハ好色ユヘ重復ニナル也本ハ是ヲ好色ニ見タナレドモ
コレハ桐壺ノ卷ノ末ニ光ト云名ハ「空白」ナントアルソノ光（ヒカル）ト云
名ノ事也モトヨリ諸藝通達ノ人也学才ナニモカモノコル処ナフ達シテアル故
其名ノミ也光ルト云テ諸藝通達ノ人ト云也名ノミハコトノシフ云ヘトモ也
イ、ケタレ―ハ是ハケンクハ相手ノ弘（コ）キ殿ノ方カラヨイニ付（ツケ）
ナンノソレガヨフテト毛ヲ吹テ疵ヲ求也毛ヲ吹テ疵ヲ求ハ桐壺卷ニ「空白」
ト云註ニ吹毛（空白）トアル俗ニ取違ラルセ上デハ大事ナヒ処へ出テシソ
コナフヲ云也ソフデナイ也袖ニテモスデモ毛ヲ吹テ疵ヲ尋也ホマレハソシリ
ノモトイ也ヨイニ付（ツケ）テハ疵出ル者也ワルイナレバ疵尋ヌ也諸

〔○光源氏―ヲ好色トミル説ナニユヘゾ誰説ゾ曰忘レタリ此説非也〕

〔○名ノミコトノシフト句ヲ切イ、ケタレ玉フトガトツヅク也トガハイ、ケタレ
玉フトガ也〕

〔○トガハトガメ歟曰トガ也イ、ケシテクルトガヲ掩ヘル（ノ）也〕

〔六六ウ〕

藝通達ノ学者ノト云バ色々難ヲ求メハルウ云ガ世界ノ常也況弘キ殿ハ誼護
相手故ニサマノ云立云ケシテユク也オホカンナルニハ多クアル事也多クア
ルナルニト云テツヅメル也クハカニナル也多クアルナルニ也イト、イ、ト、云ハ
イ、ケタレ玉フト云ヲ承テ云ケタレ玉フサヘアルニソノ上ヘイトノシフ云ヘトモ也
ハ今迄好色ノ事見エネドモ此カ、ル、源氏一部ニカ、ル也源氏一部ニ書（カ）ク好色
ノ事ヲト云フ也末世迄モ源氏一部ニアル好色ヲ聞テカ、ロ、ビ、ハ、カ、ロノシイ也宮デ源
氏ノ姓モラウ程ヲモヒ身ニ好色ノ忍ヒアルキヲ聞也カ、ク、ロ、ヘハヲカクシ成也

カクスヲロ・ヘノ字ヲ入レノバシタ者也詞ヤハラカニスル也是カク紫式部ノ耳
 へ入ル也ワレラモ聞バ世間ノ人ノ物イヒサカナサヨト也サカナヒハハルイ也
 訓ハドフヤラ知レスハルイコトヲ云悪ノ字ヲヨム也処ニヨリウキヨノサガト
 云ドモ先此ハアクノ事也サルハハソフアレバ包マル御(ミ)心アル故サレバ
 ソフアレバ也ソレカラヲコリイトウハキツウ也ウヘノイトハ下タヘカラ入レ
 ル下モノイタ

〔六七オ〕
 (○スキノ字抄ノ通敷曰好ノ字ヨシ数寄ハ李廣傳ニ出天數シバノ寄ナルノ
 意天數ノ義トシバノ寄ト云ニ説ナレドモシバノスルホドノ事寄ナル也不
 遇ナル也モノズキノ事ニ非ススキ名ト云如何數ヨスルト云テウカムリ付レド
 モカズト書カズノハノ心アルカ俗也逸モタノシムトヨム逸樂ノ事ヲタノシ
 ミノコトヲナラヌ好色ノコトバカリヲ逸樂ト云ハアハヌ也日本記ハ其心ノ処
 ニ用也)

〔六七オ〕
 ウハキツウ也風ヲイタミモキツウ也コレモツヨウ也マメダチハ実メニスル好
 色ニナヒ顔スル也ナヨヒカハナヨノモノ和也ヒカハ助字也一説ハヒカハ
 ヒカノスルキミト云ソレニ及ヌ也助字也風流ナ好色メク事ナヒ故ニ風雅ニ
 ナリカタクナシウ見エル也交野ノ少将ハ百人一首ニアル右近ノ父也好色人ト
 云也交野ノ少将ト云フルイ物語アルソウ也今傳ラヌ也清少納言枕草子ニアル
 ト云ソノ時分ハアル者也此人ハ好色面ヘ見シテ少モ忍ヒズシタ人也此交野ノ
 少将モ作物語ソレヲ以テ作物語ニツイシテカク是モ書人(カキテ)ノ風流也
 是迄序也マダ先此卷ガ中将ナルヲマダ中将ナンドニモノシ給ト云ハ聞ヘシ
 様ナレドモ是モ源氏一生ノ事聞太政大臣太上(一)天皇ニ至ル事心ニ持テカ
 ク也ウチハ宮中也禁中ニノミマザリヨクスル居(キ)ヨイト思召也キクイシ
 ウ故ヨクモヨフモ同事也オキイトノハ大臣殿也葵上ノ父ゴ也

〔六七ウ〕
 (○ウキヨノサカハヨノ常ノ事也コレモウキヨノサカト云ハ世ノナラハセト
 云コト也サガナハハルイコト也二ツト見ユサガナサヨハ悪ノ字也ナハ付字也
 俗ニ云篋(タカムラ)ノ事ニ云無悪善ハ如何サガナクハヨカラシ也コレ無コ
 ト敷アルコトニテモアラシコレニ依テ流サルトハ非也哥字尽モ偽作敷曰然
 リ)

〔六七ウ〕
 (○ケンカシハカハ疑也シハ付字也)

〔六七ウ〕
 オホイトノニハトハ葵上ノヲ方ト云コト也タエノハ絶タリタエナシダリ
 絶ルカト思バタエズタエノカ、ル雪ノ玉水モ同コト也マカシバ禁中カラ罷出
 也忍ノ乱一忍ヒニヲ心ミダサレ宮中デドレゾニ心カケルカト葵上ノ方デハ疑
 也ハトウルノ哥ノ心也春日野ノト云哥ノ心デカク也此聞モ詞ノ聞ユル也
 心ナヒ也疑テドウゾト云バ意云ニナレドモソレハアシイ也疑ヒ云タトモ云ハ
 ルレドモソレハアシイ也イヤシイ也疑フト云ノミ也聞(キク)ハ詞ノベテ和
 ニ云助字也サシモ一左様ニ疑ル事アレドモサシモハソノ様ニ也アダメキハア
 ダノシイツイ引バナビクト云様ナ事ハヲキライ也メナレタルハ常住目ニ見
 付テアルカルノシクナヒクハヲ嫌也打ツケハ早速也手デ物ヲ持テタ、ミデ
 モ打様也サツソクノ心也ザツトシテ引ハナビクヲ好ヌ本性也本上(一)モ性
 也天ノ命ズル性ト云性音通故カル也ソフタイ本ノ字ヲ付テ性ト云ハ天命ノ性
 也氣質ノ性本然ノ性ト云アル本性ハ善故コノマシウナヒクセト云モ

〔六七ウ〕
 (○壺井義知源氏男女官職私考曰中将ハ大将少将ノ間ニアリ故ニ中将トイヘ
 リ天平神護元年二月以来正シク中将ノ号アリ)

ハ極官ヲ知テ後ニ書故ニ此シモジ過去デナケレバナラヌ也

【六八才】

ノナイ也儒者ノ方カラ云バ本性ハ堅イ者也仁義礼智信ハソノ俦天カラウケタガ本性ナレドモ儒書ニ云本性ハ儒者ノ云生レツキ也法便品ニ從^テ其本性トアル其生レ付ニ從テ種々ノ因ニ入レテ説譬ヲ説詞ヲ尽シテ方便力ヲ以テ法ヲ説トアレバ生レ付也仏家デハ本性ト云ガ儒者ノ氣質ノ性也生レ付也マレニハソフシテヲ生レ付故マレニ好色ナルモアナガチハアハハハ嗟嘆也サタンガチニカウセウト思ハ無理ニスル強(シイ)テ也ナル事ヲキライナラヌ事ヲスク也心ヲ尽シテナリニクイ事ヲ好ミ也心ニソレヲキツト思召止テソレヲ物ニセントスル也アヤニクハ物ノクヒ違コト也中院通躬(ミチミ)卿へ安適ガ江戸ノカウボクヲ以テ尋ニ猫ノ引ヅナト被仰猫ハヒツハレバ来(コ)ズ放(ハナ)セハヒザへアガル也クヒ違コト也安適ハ右デスル事(コト)左デシ左デスル事右デスルト云何分クヒ違事也長伯ガ八重垣ニハヒツ口事トアリ

〈○御本上ハ音デゴトヨムコトナシ引入レノヲトノゴザト云処ハゴトヨメトモソレハカクベツ也〉

【六八ウ】

ソレデハアハヌ也後水尾院ノ待花(マツハナノ)哥ニ「マタデ見ン思フニタガフアヤニクノ世ノ理(コトワリ)ニ花ヤ咲ント云ヲ哥アル待ズニ見ン世ノ中ハ思フ様ニナラヌ◇(ノ)ガ世ノ中ノ常也待テヲラバ花サクマイ待ズニヲラント云也是也物ノクヒ違事也サルマジキソフシタヲ心故ソフアルマイコト也今云アルマイ事成也左様成マイヲフルマイモ打マジル也藤壺六條ノミ息処ウツ蟬ノタグイ也継母ヤ人ノ妻ニヲ心カケル様事也ソフアルマイ事也是迄後

序也長雨一是ハ五月雨(サミダレ)也ソフタイ三日以上ノ雨ヲ霖ト云ナガアメ也タゞ長雨ト云ハ四季トモニ云也ナンボモ證哥アル師走(シハスノ)ナガアメト枕草子ニモアル也イツデモ三日以上ノ雨ヲ云ドモ是ハ五月雨也拾遺ノ詞書ニ五月雨ニ女郎花ヲ折ニヤルトアル秋也又伊物ニ春ノモノトテナガメクラシツト云哥アル也ウチハ禁中也モノ忌ハ人ノウチニケイアラントテ鶏ヨイ鳴シ釜鳴犬屋(ヤネ)へアガルノト云事アル其ケイヲヤメントテモノ忌スル別シテ

〈○待花故ニ待ナレトモ待マイ也理リハ道理也セ間ハアヤニクナ者也トカクスデカイニユク者故ニ待ハ却テサクマイ待ズハサカントナリ思フニタカフヨノ理也待ト云類ニカクヨムハ勿論待ズトヨマレスヤ曰然リカク云ハ待事十分ニアマル也〉

〈○三丁ヲ右ノ大臣一此君モノモノ字源氏モ葵上ヲイトウ此君モ也モノウキハ妻女氣ニ入ラン也〉

【六九才】

禁中ニ忌コト也二日ツ、モノ忌シ夜(ヨル)九ツカラ八迄ノ間門出入スル也サシツ、キハ一日モ三日モツ、ク也加茂ノ神事八幡ノ神事行モ二日ツ、也太平記ニ塩治判官ノ処ニ六日ノ物忌トアルスレハ六日モツ、ク也註ニブツキト云ヲ二名ト云也儀(ノ)軌ニアルトアル也柳ノ木三寸二切コレニブツキト書ミスニモ懸テ小袖ニモ付(ツク)カミ(紙)ニモ書付事ト也忍(シノブ)草ニ書テツケルト云事也忍ブ草ハシノブ故コトナシグサト云●事ナイ也モノイミニ用ハ無事ニスムノ心デ是ニカイテ袖タモト几帳ニモ付事ソウ也猶花鳥ニ委也平生サハ絶ノニオホイ殿ニハ罷出玉フト云ニヲ物忌ツ、ク故猶也オホトノハ大臣ノ事也オホトノト云ハ葵上ノ事ニナル也ウラメシクハ思召ドモ万

先日モ云カ古へハヘヤズミノ中ハ其婿(ムコ)ハシウトノ養(ヤシナイ)也
 ◇(部)屋(ヘヤ)ヲ建装束一年中ノ入りメ皆シウトスル事也我世ニナレバ
 引トルト云様ナ事也源氏モヲ若(ワカイ)故大臣殿カラノヲセハ也ヨソヒハ
 ヨソライ也装束也何角結構ナ者也

〔○私考曰物忌ハ或ハ御夢ノアヤシミ或ハ非常ナトノ異ナルコトアル時ハ御
 身ヲ指玉ヒテ常ニ御座ノ殿ヨリ外へハ御出ナキ由也又曰御物忌ノ簡(フダ)
 ニハ御ノ字ヲカ、ズ簡ハ柳ノ木ヲモテ三寸斗ニ作りテ御冠ノ纓ニサシ玉フ御
 ハナチモトドリノ時ハ左ノ御袖ニ白紙ニ書テ付給ふよし也〕

〔○柳ニ書ト忍ニ書トノ分如何曰何レニ書モクルシカラズ一処ニモ用也忍ニ
 書出処如何曰和書ニ出也不覺〕

〔○ウラメシノ訓如何曰ウラミヨリ出ミトメト五音通スウラハ心也ウラヲミ
 セル也心ノ中ノ思ヲ云テ聞カス也ゾンブン云テキカス也〕

【六九ウ】

コシラへ進セラル、也テウジハト、ヘル也イデハ出(イダ)ス也装束ハ結構ニシテ進
 ゼラレ左大臣ノヲムスコ十一人アル皆源氏ノ部屋ヘツメ宮仕スル也宮一是モ
 左大臣ノヲ子葵上ノアニゴ也葵上ノ一ツ腹也源氏ノ為ニハ姪(イトコ)也宮
 腹トハ桐壺ノ帝ノ妹ゴノ腹故ニ宮腹也桐壺ノ卷ニハ藏人ノ少将トアル三年ノ
 間ニ藏人ノ頭ニナル是ハ四位ノ藏人ノ中将ニナル也源氏ハ十六歳也モトヨリ
 イトコデ十一人ノナカデモ心アフ故ニ平生ノ絲竹ノ遊デモタハムレゴトデモ
 兄弟衆朋友衆ヨリナレ、シフ心安フフレマフ也右ノ一前モ云弘(コ)キ
 殿ノ妹ムコニナラレテ右大臣ノムコニナランアノ方へ行也ナド源氏ヲ左大臣
 ノイタハル様ニ右大臣ノムコ故イツキカシヅク也スミカト云ヲ見ヨアチへ行
 部屋(ヘヤ)ワタリ住(スミ)テヲル也此君ト云ヲ源氏葵上ハコノマシフナ

ヒ故アマレ葵上ノ方ニヲリタガラヌ也此君モト云ハ源氏ニタイシテ源氏ノ葵
 上ノ方ヘユカヌニ對シテ云也是ハ好色面

〔○ムスコノ訓如何曰ムスハ草ムスコケムスト云生スルコト也コハ子也〕

〔○頭ノ中将前ハ少将也コ、ハ中将ニナル三年程ノ間也此ニ中将トアレトモ頭ノ
 中将故ニ先ニ頭ノ君トアル也桐ノ時ハ五位ノ藏人也頭ニ非ス頭トハ四位ノコト也念
 入レ云ハ藏人ノ頭ノ中将ト云頭ノ中将ト云ハ四位云ニ及ヌ也藏人ノ頭ハ二人ア
 ルセヒトモ中将ト弁ト也頭ノ中将頭ノ弁ト云也古ハ少将デ藏人ノ頭持事モア
 ル也〕

【七〇オ】

〔立(タテ)ルアダ、シイ人也源氏ノ様ニジチメニナイ也里ハ左大臣ノ
 方也キレイニスル故目ニ向レヌ様ニマバユイ也君ハ源氏也源氏ノ左大臣へ出
 タリ入タリスルニ打ツレ立テ也ヨル一学文ハモトヨリ也絲竹ノ遊モモロトモ
 ニシテゼウシウハナレヌ也オサ、諸方ニアルスマヌ事也一説ニハオサ、
 トハヲサナヒ心也少シモ立ラクレヌト云コト也ソフ云レヌ事又アル彼忠岑
 「古今集ノニアリ」ノ哥ニオサ、シクモオモホヘズハアマレケツカウニ
 モ思ヌ也ナガイト云長ノ字ノ心ニ見ユ伊物ニ「空白」ケレハユメ「空白」
 少(スコシ)トハウラ表ノ心也是長ノ字ノ心也一ツニ註シテハユカヌ也処ニ
 ヨリ少ノ字ノ心ニシテ処ニヨリ長ノ字ノ心ニシテミネバラチ明ヌ也コハ少
 (セウ)シモ立ラクレヌ也イツクヘユクナニノ遊何ノ学文デモマツハレハナレヌ
 也左様ニ朝晩一処ニマツハレアルク故カシコマリハ礼義也ヲソレルト云心也
 君臣ノ礼義モセヌ也源氏ハ王ノ子コチラハ家老ノ子ナレハ君臣也心ノ中ニ思
 フ事

（○師曰オサ／＼ト云訓スミ難シ凡本ノ立訓ハソレヲ借用ト雖ソレヲ推シ又ハ轉シテソノ義分明也此ノ如ニ二分ネハスマサル也安適ハ幼少ノ心ニ云サレハ此処ハスメトモ又オサ／＼シクモト云ヘルスマズ尤忌／＼シキコトヲモホメルニ忌（イミ）ジキト云ハ亢竜晦（クヒ）アリノ心ニ用ユ此例ノコト歟其スマシ様不知思／＼トモスマザル也幼ヲオサナキト云モオサナニテキハハシタナキノキノ心ナレバオサナ也又オサ無ト云ハ長ノ心モアリ長ヲオサト云也コレモニニ云バ云ル、也何分オサト云訓スマサル故コレスマヌ也コレヲ訓ノモト立ズト云）

【七〇ウ】

限ナクカタリアフ也アヘテスルハ物ハタス事ナレドモソフセヌ也クハ（果）敢（カン）トツヅクアヘテスル也カクシアヘテセヌ也ムツレハムツマジイノ訓也親（シタシ）ムコト也ムツマジイト云ハ体（タイ）也ムツレデ用ニナル故カルイ也ムツマシイト云ハ活字也ツレ／＼トカノナガ雨ハレマナキ比ト云詞コヘ承ル也ツレ／＼ハシメル心也物閑（シヅカ）ナ事ニモ遣也此ハ静ナ事也コノヨヒト云テ宵ノ事ニ非ス唯ヨル也殿上ハ殿上ノ間ノ事也殿上人ノトノキスルモ殿上ノ間也中将ノ頭ハ殿上ノ官首（ジユ）トテ殿上ノ大将也蔵人ノ頭ハ二人乍弁モ中将モ殿上人（ビト）ノ大将也此オサ／＼モ少々ノ事トホカ聞エヌ也少々ニシテスクナヒ也御トノキ処ハ即殿上ノツメ処也中将少将四位五位ノ人ツメ処也トノキハトノニキル也我（ワガ）里ニヨルニタイシテトノキ也里キトノキト云也人少ナシ雨フル故例ヨリハノドヤカ也オホトナブラハヤントノキアブラ也殿上ノ間ニトボシテアル灯（トモシビ）也オホトナブラハ折（ヲリ）灯臺トテ竹三本ヲ三足ノ心ニ立其上ニトボスヲ云禁中ニハ蠟燭（ロフソク）ナイ也トノ様ナ事デモトモシビ也フミ

（○殿上ノ間ニハ火ヲトホスハコレヲ用ヤ曰然リカケ流ノ者也竹三本上デ組合シテアル也竹三本ガスグニ三ノ足ニナル也火ヲトボス処ハヤリ放（パナシ）也堂上ノ事ハ古例／＼トテ古風ヲ用也タフソウニスル也）

【七一オ】

是ハ学文ノ事也近ハ其御殿居処ニ源氏ノヲ部屋ト云様也御ツシトハ其ヲキマニイツモコザル処ニアル棚也ミツシクロ棚ト云カザリ様アル也作法アル者也硯香ノ壺「焼物入レル／＼ツボナリ」ナト飾リ様作法ノアル者也飾（カザ）リ様ハ二判問答「一禪ノ作／＼一卷アリ」ニアル也色一此フミハ艶書也源氏ノコハカシコノ女ドモト取カハスフミ也色一ハ艶書ハ色カミ也紙ニ枚ヅ、也白ニ緑ハ卯花ガサネト云コキ紅（クレナヒ）ニウス紅ハ紅梅カサネノウスヤウト云白ニクレナヒ重ハ櫻ガサネト云又キク重ト云様也ソレ／＼名アル皆薄様也ソレ故色々ノ紙ナルフミト云引イデハソコニアルブンコニアルヲ引出シタ也ワリナクハゼヒトモ也イヤトモ云（イハ）サヌ也ユカシモユキタイカラ出ル訓ナレドモソレカラコノマシイ事ヲ云也サリヌヘキミセテモクルシフナヒソフアリヌベキハ見セント也カタワハ見苦シウアル也アレニ書通取カハシスルカト恥シフアル也頑愚ノキミ也見苦シヒ也其ソノ打トケテヲ恥シイ俗ニ云ベツタリトメガ猶見タイ也

（○私考曰トノキ処ハ源ノ宿直処ニシテ桐壺ナリ令集解曰夜仕曰宿昼仕曰直ミナトノキト云）

（○又曰大トナブラトハ大殿油トヨムヘキノアノ二字ヲカヘシテナトナル物語ノ訓ナルヘシ）

（○艶書ハ皆薄様ニシテ色ハサマ／＼アル也二枚ヲウラ表ニス白表赤ヲ裏ト云様ニシタ者也白ニ緑ノ裏ヲ春ハ柳ノ薄様ト云夏ハ卯ノ花重ネト云大分品

多キ者也通茂（ミチモチ）ノ作ニテ久我（クカ）殿ヨリ一条殿へ進ゼラル艷書ヲ京ニテ見ル持タキ者也

【七一ウ】

カタハライタシハラカシイ也ヲシナヘハラシナメテ平生ヲイノハ私カズナラネドモ分際ノニツケ程々ニ書カハシテミル也前へ立反（カヘ）リカタハラナルガユカシイトカヘル也今日テイデモ数（カズ）ナラヌト云人アイマニアル者也云又事也惣タイカズトハ官位アル人デナケレバ云レヌ◇（コト）也（也）大納言ハナン人参議ハ八人ト云カズアル也ソノカズニ入ル人也ワレハカズニ入レドモ本職ハ勤ラヌ故ニカズノウチノ人デナケレバ云又事也ヲノガシハ女同士打ヨリ大裏ニ勤ル女中大勢ヨル者也恣（シ）ハホネアル事也仏家ノ詞也僧者一夏（ゲ）九十日勤盆ノ十五六日ノ間ヲ僧自恣ト云也ナゼナレバシハミヅカラホシイマト書九十日我ハ勤ルト思ドモ若シヲチハナヒカト云テ朋輩同士恣ナ事云アフ也是ヲ僧自恣ト云ソレカラ相手ドシ云ヲジト云也カクス事ナヒ故ソシテ誰ソレトモコヌト云也ヨヒコイカシト女トモニ云アフ也ソフシタジ分ノ文ハ手尽シテ書ナラシソシナアレバ見

（○中将ワリナクユカシガレハハ隔句ニシテ引出テ、サリヌベキトツ、クヤヤ中将引イデ、ワリナクユカシカレバ也引出ハ中将引出ヤ日然リ隔句程ノ事ニハ非ス）
（○カタハラ痛シハ笑別腹痛ノ義歟曰カタハライタシハ氣ノ毒ナ事也先笑心也アノ者アノシ様ハト云ソシルヲ笑タト云也ハルウ云事ヲ笑ト云其心也）

【七二オ】

タイ也夕暮ナンドノフミコソ也エンズルハウラミルト云エンノジ也エンズレ

バト云テ句ヲ切也エンズレバト云下（シタ）ニ左様ナラエンズル故ニ取出シテ見セタマフト云ヲ隠ス也ヤンゴトナクエンズレハ見セ玉フテト是ハ草紙ノ地也作者心得云様也ヤンゴトナクキツウ大切ニカクシテヲクハト也是ハ源氏ノ殿上デノ御部屋故誰デモ人クル処也オホソウハヲ、様也此様ナバツトシタ処ニハ也六條ノミ息処ノフミ藤壺ノ女御ノフミハコンナハツトシタ処ニハラカヌ故ニフカク隠シテヲクベキ事故コンナ処ニ無ハツ也コレハ唯今ミセラルフミハ二ノマチノハタトヘテ云也ナセナレバーノ町ハ大事也二ノ町ハ通町紀国町ヲ一ノ町ニシテ二ノ町ハ新町ノ様也大事ニナヒヲ云也カクサマノ頭ノ中将ノ詞也サマノナ者アル心ハ推量也是ハ誰カソシテノ女中カト推量ニ云テミル也云アツレトモ源氏ウント云又也艷書ハ名カ、又故ニ知レヌ也モテ思モヨラヌ

（○七月十五日十六日両日ヲ僧自恣ト云一夏九十日ノ類也皆シソコナヒハナカリシカト談合ス）

（○恣ニ云ヤ恣ナコトヲ云故ソシルヤ日ソシルコトニ非ス已同士ト云事也他人マセズ心易者同士我身ノ上ノ事云テ見ヲ云也恣ハハ欲スルマ、ヲ云也云タイマカセニ云也隔心ナ者ナヒバ也恣ハ欲スルマ、云ト云訓也）

（○ウラメシキハウラミヨリ出ルナランウラミノ訓如何日然リマヘニ記スマミムメモ也）

【七二ウ】

似タ事デモナヒニ是歟ト頭ノ中将云事アル源氏ソシナデナヒト云バソフテアラント疑モテハ助字也以（イ）ノ字也詞少ナニ御返答シテ兎シ角シシテマギラハシテ取カクス也ツハ助字也取カクシ玉フト云事也ソコニコソ、ソコハ足下（ソツカ）也是ハ心安人ニ云詞也貴人ニ云又也同輩カソレヨリ下ニ云也真

ソコ元ト云心モアル也ソコニコソ好色人ナレバツトへ給ふラメナンハ願ノナ
ン也ソフアツテ又ツシニアルモ見セント也是ハ此デミンニ非ズソコへ出テ居
タ時ニ見ン也此ニ頭ノ中将ノ文ナヒハヅ也御覽ノ私カ方ハ御覽アルベキハア
リ難カラント也女ノ一是カラガ品定(シナサダメ)也是ハ十八問答ノ下地
也未タ十八問答ニハ移ラヌ也是土臺也シモハ助字也女ノ是ハ難ナイト云ハナ
イ也ヤウノナナル給ヘシル二説也一説ハ源氏ノヲ方ニハ御好色人キ人ナ
レバ様々アラント思ニ唯今ヲ文ミレバ是ハナンナヒト云ハナキト知ルト也一
説ハ源氏仆(ヨリ)頭ノ中将ハ年カサ故年来処ドモアツメ

〔○ハヤガ願ノ詞歟曰然リミタイ見セヨ也下ノナンハ助字歟曰ナンハ助字也
サテソフアツテ手前ノモヒラカウ也〕

〔○ミセバヤナヲシマノ返答ノモミセタイ也願フ心也此ミバヤモミセテクレ
ト望也〕

【七三オ】

見レドモ◇(ナンナキハナヒト云コト)ヤウノナンミ給ヘシルト両説也ソ
レヨサソウ也タゞ一是カラ段四分テ見ル事也抄ニハ三ツホカ記シナイ也先
ニテ行ランウハベハハウハベバカリノ風流シンハソレ程ニナヒ也ウハベノベ
ハ助字也手モ達者デ折節哥ヨミ返答シテヲコス也打ハ助字タゞシナント也ズ
イブンヨイガアルト見レドモソモハソレモ也マコトノ一哥ヨミノスグレルノ
手書ノト云其方一方ノエラミ也是ハ哥ヲツイヨミツイテ書也エリ出スニハモ
レント云ヲバナイ也哥ヨミエリ出セバモレン本哥ヨミノナカヘモ手書分ヘモ
入レラレヌ也是迄一段也抄ニ点シテアル我一コレカラ又一段也モ己カジハ
也己ノガ能合点シタ事ヲ己ガ心ニ持テアルヲ包ズヅウノ云也女同土云ア
フ也アノ人藝無ヲドウデカウデト人ヲハルウ云也メハ助字也ヲトシ也キノド

クナ事多也脇カラ見テハイカウ笑止ニ思フ故也二段也親一アンメリ是迄三段
也深窓ニ養レマダ脇へ嫁セヌ娘也モテハ助字也唯アヤメ也イツキカシヅク也
〔○五丁ヲエラビモエラヒト書エラミトヨムエラミエテムトヨム也濁コトナ
ヒ也〕

【七三ウ】

深窓ハフカヒマドノ中ニカクシヲク者也ソノ先(サキ)ニ繁昌シテエリ先
ガ窓ノ中ニコモリアル様也ソレハヨソへ見エヌ故片端也角(カド)アル者
デ云バ四角アル者ヲ一ツミル様也琴ヒク哥ヨムト云一カドヲ聞也哥ヨムゲ
ナ程ニ容儀サゾヨカラント云也コレデ三段也形一〔空白〕是デ四段コレハ別
ノ事也是モ親ノ処ニナルムスメ也形一ハ形ノヨイ也打一ハヲダヤカナト云様
ナレドモホメルニ非ス俗ニ云オノカ也処ニヨリオホドキト云テヨイ事ニ云
ドモ是ハテヌルイ也年取テモ十四五ノ心デアルナンジヤ世事ナヒ故親ノモト
ニツレバマギルノ事ナヒ也ハカナキ一ハ哥ヨムノ琴ヒクノ絵ヲ書ノト云口チ
スサミ手ズサミスル也サツトシタ事也自一マキルノ事ナヒ故一藝云ヲユヘノ
シウニ仕覚ル事也見ル人一ソノ女メヲ見テバイシヤクシテナカウトシテ人
ニ縁ヅケント云人也ソノオホノカナチト足ラヌ事ハ云カクス也仲人ノクセ
也サテソフアルベイ事ノ一藝アル事也取ツクロイテ丁ド其通ノ事

〔○此後ノ一段即前段ノ一カドヲ聞傳事云意ハ怨ハ一段ニ非ヤ曰別段也トカ
ク云タラヌ様也見ニクイト古人モ云ハコレ也云ツメテナヒ故カイナイ様也コ
レヲ一ニシテハスマヌ事多出来也ソレ故ニ四段ト分ハ師説ニ従フノミ也トカ
ク品定ハスマヌ也聞エテハヲル也文章ノツノキ聞ニクキ也〕

〔○ハカナキ如何曰ヲモ立慥シツカリトシタ事デナイ也慰ゴトノキミ也セデ

叶又事デナヒハノキミ也

【七四才】

云也アチノ藝ノ通仲人マネテコンナ事アルト云也ソレシカソレシカハ人ノ云事合点スルガシカ也ソノ通ト云也学ビ出ス仲人口ヲソノ通ト云事也ソラニソラニチウテバソレシラレ又故ニクタサムハ兩説也下ストクタラスト也ナカ立ニダマサレヨビ取先◇(方)ヘユク也マコトニユクデ年月ヘル心アルモテハ(以)ノ字也ミモツテ行トゾクニ云様也何ヲ以テ仲人云立ル一ゲイバカリデ外ハ足ラヌハラウ也ウメキハ嗟嘆也アト云様也ヨイハ無トサタンスル也◇(コノ)ハツカシケレハモ二説也一説ニハ中将モ左様ナ事有リテダマサレ手クウト思召サンカト恥カシガル也又一説ハ源氏ハ貴人故ソソナサ、イナ事ニユキワタルト思召サンカト云也ソレヨサソウ也イト―中将ノ気色恥カシソウナ故ニ源氏モ(今)頭ノ中将ノ物語スルハ源氏ノ身ノ上ニ皆ノナケレドモヲノシモダマサル事アラン打ホ、エミテ其片―是源氏サスガミヤ也サンニナ事云ズ其一角ナヒト云事ナイ也其様ニハ

○五丁ウイトナベテハイトハ別ノ者也ソレ故ナベテトヨム也ヲシナベテト云時ハナメテトヨム也字ハナベト書也

【七四ウ】

スカサレマイト也イト―是カラ頭ノ中将詞也サバカリハソレ程也無藝ナ者ノソバハハスカサレヨルマイ也サバカリニアラン也ニアガナニナル也誰ガダマサレンニ也トルカタ―是カラ別也取処モナク一藝モナキモトヨリ知恵モ才覚モナク口ヲシイ也口オシキモ二説アルクチヲシイニテクサツテヲシイト口デ云モ惜(ヲシイ)ト二説也ユウハユタカナキミ也物ノヲ、イ心也ユウニヤサ

シイノ心也ズントハルイノトヨイノトハ数同コト也ゲウニハナヒ者也人ノ―シナハ貴人事也貴人ニ生レタ時ハ人ニ―召遣ハル人助ル処人也コノモテモ助字也イツキカシジカル故ワルイ事カクル、事多ヨイ事バカリ出也人イツキカシジク故ヨフ聞エル也中ノ―取ル方モナヒ口惜ト優ナルトハ数ヒトシカラ中段ノバニ至テハサマノアラント也人ノ心々◇(ト云)ハ妻ニシテヲル男ノ心也ヲノガシ、ハ女ノ事也男ノ心モ中通デハ見エ女ノ志サシ趣キモサマノ見エ善悪別ルベキ也惣体中ト云者ハ多イ者也哥デモ上手ハ少ナク下モ

○ヨイ哥ワルイ哥ハタレ見テモヨシハルシ中ナルハ五人三人ノ案通モステルアリイヤ上句ヨイト云ナリ下句ヨイト云フル段々評判ハ中也

【七五才】

少也哥ニ点スルニ上ノ句面白トテ点スルアリ下ノ句面白トテ点スルアリ又上ノ句下ノ句ヨケレドモ用ヌモアルサマノアル也是ヨイト男トル者アリ又女ノ心ニモ一藝ヨイアル也下ノズント下(、)藤ノバ処ニナレバ頭ノ中将モ貴人故下(シモ)ノスズニ至ハコトニ此方ノ耳ヘモ入ラヌ故シラヌ也クマハ物ノカクレクライ処也中将ハ残処ナクヨク知ルト也ユカシクテハ源氏ノ心也三ノ品々ハドウジイ也ドウシタノヲ三ノ品ニヲクベキゾ也モトノ品―ソノ三ノ品ト云ハンハ元ハ家ガラ宜イ人大納言中納言ト云様ナルガ身ハ―時節アシクテ時ニアハヌハ大納言中納言先ドノ家デモ大納言ニモエナラズ三位デ官ニエツカヌノタグイ也元ヨリ官位早ケレバ禄ナリ職アレハ人ノ用イ威勢アレドモ官位昇故二人ノ氣(ケ)モナヒ様ニアル也又一ニハ又―ナヲ人ハ平人也地下人也諸大夫家ノ様也大臣ノ家カラ取出テ出サレタ也カムダチメハ公卿ノ事也位ハ三位官ハ納言也元ハ諸大夫ヨリ立出人ナレドモ外ノ大臣ニカハラヌ様ニ

（○）下ノキサミノキザミ如何曰キザミハモトロウナリノコリヨリ云也段々アル故也ソレカク位ニモキザミヲ云也此六位ノキサミナレドモ位ニキザミナシ借テ云也

（○）私考曰凡人和訓タ、ヒト推古紀ナヲ人トハ直（タ、）（ナヲ）人也是ヲタ、ウドトモヨメリカシタチメトハ公卿也此段ハ種姓（スセウ）イヤシキヨクナリノホリタル公卿ヲナヲ人ノカシタチメトイフヨシ也光仁ノ御宇高倉ノ福信カ類ナルヘキカ伊物十段父ハナヲ人ニテ母ナン藤原也

【七五ウ】

思也我ハ◇（ト）大納言中納言ガホラスル也領元祿多故家ノ中ヲカザリ家モ外ニ劣ラヌト思也ソノソレハ沈テ人氣ナヒト成上トハドウデアラント云ヲ頭ノ中將ヘ源氏ノ尋也ヨイト云シルシハルイト云シルシ聞タイ也ケヂメノ訓ワカラヌ也結ハ音メハ訓故ケツメデハナイ也左ノ馬ノ頭―源氏ノヲ尋成処ヘ左ノ馬―ハ系図ニナシ此ヘ出ルバカリ也長雨ニ頭ノ中將物忌ニコモルヲ聞テトギセントテクル也ヨノ―兩人トモニスキモノハ風流者也トヲレハ通ズルキミ也心通達スルノ心也中將―源氏ノ頭ノ中將ヘ其ケチメ如何ワケントヲ尋成ニ頭ノ中將唯今ハ中將ナレドモ追付大臣ニナル人故ニ是ニ品定云シトムナイ也ソレ故コレヘ兩人ヲ出シテ作者ノ働也中將―コレ面白也兩人御キゲン伺ト云ヲクルニ待アグムヲソレ幸ナ者クルハヤウソレト云也待トル也四人ニナリ互ニコノ品定（ノ）ノ上中下云争也当代ノ式部ガ女

（○）ケヂメハ驗シ也訓ノ意ハシレズ

（○）私考曰左ノ馬ノカミ其職掌桐壺ノ卷ニ記シヌ藤式部ノ丞是ハ殿上ノ藏人ノ式部丞ナルヘシ

（○）待トリテハ哥ニモヨム詞也待聞タ処ヘ来ヲ待エタ心也待ウケテ也

【七六オ】

ノ事葬上ノ事云故ニ聞ニクイ也ナリノホレトモ―コレカラ十八問答也

《十月廿一日》

○ナリノボレトモ―十八問答ト云ヘドモ実ハ九問答也アドヲ入テ十八問答也実ハ九問答也大方ハ九ノ中六迄ハ馬ノカミ云下ニハ頭ノ中將一ハ藤式部也アドハ数二十八トイヘドモアドノ云事ナイ也チトヅ、相手ニナリアド打バカリ也問答ハ九カブ也前ニ源氏ト頭中將ト上中下三段ノ品ノ事云也源氏ノ頭中將ニ對シテ其三段ノ品ハ如何ト尋ニ頭ノ中將返答セデナラネドモ貴人故ニコレヘ左馬ノカミ出シテコレニ云ストシタ者也コレ聞左馬ノカミ品ヲ定也其中ニハ人ノ心々アレドモ品定トハ上品（ボン）中品（）下品（）人ノスゼウニヨツテノ人ノシナリナリノホレトモ―是ハ諸大夫家ト云様ノ地下ノ人也時ヨニアフ故或ハ昇進シテ殿上人（ビト）ニナリ又カン達メニナル也ナリノホレハ宰相ニモ中納言ニモナル也ナリハ成就ノセウ也

（○）アドハアド、テ人ノ問ニ答ヲアド打ト云也俗ニ返答ノコトヲ云也

（○）十八問答トイヘドモ馬ノカミ云処ハ十一カニ也サレトモコトヘ入レ十八也其コトヘトモミヘズタゞイフ様ナ事モアル也自身ニ数ヘテミヨ

【七六ウ】

サルベキスヂハソウアルベキスヂデナイ也スヂトハアノ人スヂヨフテアシウテト云事也姓ノジモヨム事也委（クハシク）云ハ尸（カバネ）ノ事也尸ト云ハ訓カハ骨也尸ト云ハ朝臣（アソシ）ノ真人（マウト）ノ連（ムラジ）ノ忌木（イミキ）ノ臣（ヲミ）ノトテ文武（モンム）ノ時ハノ尸立トモ後二十

三四ニナル今ハ朝臣ノ縣主（アガタヌシ）ナドノミ也古ハ連真人ト、ユケドモ今ハ朝臣ヨイ也上（カミ）カラ被レ下戸也ソレニ依リスゼウ別ケタ也戸ハカハホネニテ代々血脈貫通スル意也戸（カバ）ネモ姓ニ附テ源氏ハ朝臣被レ下加茂ハ縣主ト云様ニ家々姓ニヨリ戸被レ下故ニ戸モ姓モスズ也サハイヘドハ大納言中納言ニナレドモ世ノ人ノ思ルコトハナンボ大納言ニ成テモ本地下也アレハ大臣家ノ執權シタ人デト家ヨフナツテモ人ノ思ヒ入レアシイ也是モ顛倒ニ見テヨイ也サハイヘド世ノ人ノ思ヘルコトモ猶コト也ト顛倒スル也コトナリハ各別也本ヨリノ大納言中納言ノ様ニ思ヌ也又―是カラ又一種也前ノハナリ上リ也是カラハナリサガリ也又ト云ハナリ上（ノボ）レドモ

（○文武ノ時ノ戸ハ八也後多ナル也今堂上朝臣地下ニ加茂ノ縣主又宿祿（スクネ）アル也清原戸ハモウト也今大方朝臣ニナルナラン四姓皆朝臣也）

（○姓ハ前戸ハ後也姓戸皆スズ也）

（○タツギハ手次ノ訓敷曰テツイデ也惟便リト可レ知訓ハ扣アルニ非ズダバ了簡デ云也有常ハ時ニアハヌ人故官位シレニクイ也考ハ知ヌベシ）

（○オボヘトハ如何曰世ノオボヘ瑞フトテ人ノ思ヒ入レセ間カラノヲモハクハト云コト也）

【七七オ】

ト云ニ對シテ又也本ハ公卿デ曾祖父ノ時ハ大臣祖父（）ノ時ハ大納言ト云様也貴人ノ事ヲ止ンコトナヒト云止（ヤム）事ナイ貴人ノカウセント思召事ハヤマスニナル也口カラカウセヨト被仰ハソノ事ゼウジウスル故貴人ノ事ヲ止（ヤ）ン事（）ナヒト云也元大納言家ヤ小將ヲ先途（）ニシテアルニ官ニ從ヒ禄スクナヒ故世ニフル―官ニヨリ位モ早ナル官田位トテ相応アルニ今ハ少（スクナク）ナル也時ヨ―官位早クナルハ紀ノ有常ノ類也親ハ大納

言ナレドモ外戚故ニ大納言ニナレドモ惟高（コレタカ）親王出家ナル故弟惟仁（コレヒト）へ御威勢ツク也上（カミ）ハミカル故世上ハモ出ズ禄モ早クナル故人ノ思ヒナシモヲトロフル也心ハ―心ハ元ノ心ニシテ少シモ下輩ナ心持ネドモ禄少ナヒ故モチヒ也ワロビ―見苦人メワルイコト也モノモ入ルベイ処へ入レズ衣類モ人ノナカへ出ルニ見苦シク禄モエ出サズシテ家頼ナドモアシイ也トリ／＼ハナリ上リトナリ下リト取／＼ニ也コレ上品（ボン）トモ下品トモ云レヌ也

（○私考曰スクヤウトハ諸国ノ守介ニ任シテ其任国ニ下リテ国ノ間ノ事ヲシル是ヲ受領ト云太宰府陸奥出羽等ハ一任五ケ年其外ハ四ケ年ヲモテ遷替ノヨシ承和二年ノ格文ニ見エタリ又国ニクタラサル守介ヲ遙授トイフ又兼国ノ守介モアリコレラハ多権官ナルヘシ 職員令諸国ノ下ニ大上中下国ノ守介以下ノ職掌ヲ記ス）

【七七ウ】

ズアリヤウ―是カラ又一種也是モ中（ナカ）ノシナ事也ズリヤウハジユリヤウ也ズリヤウハウケ領ズル也守（カミ）介（スケ）丞（ゼウ）目（サクハン）位ヲウケ一國／＼ヲ守護スル也今ノ何ノ守ト云トハ違也一任四ケ年トテ一國ニ四年ヅ、也遠國ハ五ケ年也其勘定スメバ他國へ移リ又四年へテ外へ適（ユキ）又ユク七ケ国ノ受領トテ兎角勘定ヲモ也ソレアシケレバサセヌ也初ノガ從五位デ除爵スニケ国ハ正（）五位ニナル様ニナリ七ケ国デ京ヘモドレバ宰相ニナル也途デ勘定アシク引負アレバ京ヘカヘス也是ヲ前司（）ト云也先ノ国主故アシイ也シゾコナヒアル故事也前ノ司（ツカサ）トシテ外ノ事ニカケヌ也前司ト呼ルレバアシイ也先今ノ代官ノ様也一ツ分（）十六ニ割国主六ツ助四ツ丞三ツ史（サクハン）二分（ブン）也アト二ハ上（カミ）へ

上ル様也残米（ノコリマイ）ハ勸農ノ普請スルノ国ノ入用守介丞史ノヲル役
処帳面ノ墨筆紙杯ノモノ入りニスル様也人ノ国ノ事ニ其国ノノ事ニカ、
ヅラヒハカ、リ

（○国ノ遠近ノ分ハ令ニ出敷日五年ハツクシヤサツマヤ出羽ノ類也令ニ出ナ
ラン）

（○比ヲイ也ハ女トモヲ、ヒ時節ト云コト也ホドラヒジヤト云ハアシキ也此
セツジヤノ心也）

（○ヨリモハ如何日ソレヨリモコレマシナリ）

【七八才】

イトナミテ也経営シテ取タリ納（ヲサメ）タリスル也品定ハ從四位ト云様ニ
シナ定也又一國勤ハ從五位ニナリ二国ハ正五位ニナル様ニ其中ニハ段々不
同アル中一前ノナリ上トナリ下ヲナカノ品ニ置是モ中ノ品也ケハハ処ニヨリ
怪シフ也◇（是ハ）ゲスシウ也ナマノノ一是カラ又一種也ナマノノ一
ハ初ノナリ上リノ様也ナマノカン達メ也マダカタマラヌ様也ヤウノノ近比参
議ニナリ納言ニナル様也カン達メハ公卿ノ事也ヨリモハ元ハカン達メヨリハ
ト云事也非参議ノ四位ト云ハカン達メヨリハ一段早イ者也殿上人事也四位五
位ハ殿上人ノ列也非参議ト云ガ六ヶ敷也抄ノ頭書ニハ非参議ハ参議ニナラヌ
宰相デナヒ事云トナル程是ナレドモ此参議ヲ宰相ノ事トサシ付見ルハアシイ
也非参議ハ大臣デモ大納言中納言デモ大政治家へ出ル人ノ前官ニナルヲ非参議
ト云也非参議列ハ前（サキ）ノ大納言前ノ中納言皆非参議也宰相一人ト限ハ
アシイ也太政治家へ

（○中ハ大方ナカ也又ウチトヨムコトアレドモナカトヨムガ地バンナリ）

（○元ヨリノカンタチメハヨケレトモナマノノカン達メハナリ上リ也スレ
ハ非参議ノ四位カヨイト也非参議◇（ナド）ヨリ上ルナマノノカンタチメ
多也）

（○私考曰ナマノノトハ青キ心也下学集ニ青侍青女ト書テナマ侍ナマ女ト
点セリ是生ナリナル心也是段ハ種姓タカキ人ノ零落シテ官位イヤシク成タル
カ三位ニ成ノホリタルヲイフ也位上ニナヲ人ノカンタチメトイフヨリハ其品
タカシト云々）

【七八ウ】

出ハ宰相也参議イヤデナケレドモ非参議ヲ宰相トアテ付ハ非也令ニ大納言ノ
役義ノ事云トテ大納言ハ諸事ヲ参議スカミ大臣ニ對シテ大臣トトモニ天下ノ
諸ノ事ヲマジハリハカル也中納言ノ勤処同事也大臣モ大納言モ皆参議也前ノ
大臣前ノ大中納言皆非参議也此非参議ノ四位ハソレデハナイ也ハ抄ニアル
通未タ参議ニエナラヌ太政治家へエ入ラヌ人也太政治家へ出ハ参議也出又故非参
議也四位ヲ左衛門ノカミ右衛門（エモン）ノカミ左兵衛ノカミ右兵（ヘウエ）
衛ノカミ宮内卿大藏卿刑部卿太宰（ダザイ）ノ第貳（ダイニ）或文章博士（モ
ンゼウハカセ）皆非参議也太政治家へ出政取ハカラハヌ人故此人々四位ナル非
参議ト云也一タビ大中納言ニナリ下ヘモドルト非参議也ハ頭ヨリエユカズ
ニナル也公卿ニエナラヌノ人也是ニ花鳥餘情ノ御（コ）本ニハ非参議ノ三四
位トアル三位ニナレドモヤハリエ宰相ニナラヌ事也三位ノ淵（フチ）ト云事
アルカミカラアシイハ三位也下モカラモエ宰相ニナラヌ故三位ニシテラク也
花鳥ノ三四位モ

（○又曰非参議ノ四位トハ公達家ノ人四位ノ時ニ必参議ニ任シ玉フヘクシテ
未任シ玉ハサル間ヲイヘリ此時ハナマノノカンタチメヨリ位階ノ下藤ニテ

次座タルヘケレトヤカテ四位ノマヽニテ参議ニナリ玉ヒ程ナク中納言從三位ニ任授セラレテヨリ大納言ニスヽミ大臣ニ将任シ玉フカユヘニ非参議ノ四位ヲ称美セラル彼士ノ上達部ハ六位ヨリ稍久シテ後ニ参議ニナリ参議ノ勞二十年ヲ経テ或ハ中納言拜任セラルヽ人モアリ多ハ参議ヨリ直ニ散二位ニ叙シ或ハ三位ヨリ散二位ニ叙セラルヽモアリ此間ニ非参議ノ四位ノ昇進ハヤキニコエラレテ下藤ト成玉フカユヘニナマノ上達部ヨリ非参議ノ四位ト其ヨシアシノ品ヲイヘリソノ非参議ノ号ハ太政官ノ事ニマシハリハカルニアラストノ意也公卿補任ニ前官ノ大臣以下三位以上ヲ非参議トイフトオナシ非参議ノ四位ヨリ昇進ノ次第左ノコトシト云也

【七九オ】

三位ニ成左衛門ノカミ右衛門ノカミ或宮内卿デアル也サレトモ青表紙ノ類非参議ノ四位トアリ四位デモ宰相ニナレバ公卿ニ入ル三位ハ猶也非参議ノ四位デモ宰相ニナラヌ人也モトノ是ハ元ノ家ヨイ也ヨケレドモエ昇ラズニラル也段々ヲ下リ祖父ノ時大納言ト云ガ四位デモナラズ元根ザシヨイ故富貴也ロクアレバ富キ其ト云也元種姓ヨイ也祖父ハ大納言父ハ参議デモアル也ヤスラカニ前ノ心ハ心トシテコトタラスト違物アル故ヤスラカハ自由ニナル也イトカハラカハサツハリトシタ事也カハラカト云和訓ハカハイタ也ウルヲヒアレバジリノシムサイ也サツハリトシテハカハイテアル様也ナリヤノヤハ疑歟曰ステヤト云者也ナマノカン達メヨリハ此方イトカハラカ也ノキミ也此ヤ多者也ナニ心モナキ也家ノ福有ナ故ハタハ助字也ナカンメルマヽニハ細(コマカニ)云バナクアルマヽニ也俣ハ助字也ハブカズハ万事皆略セ又也マバユキハ福有ニマカセ威勢アル故マムキニハ向(ムキ)ニクイ様也モテハ以(イ)ノ字也イツキカシヅク也非参議デモ大勢ノ

【七九ウ】

人遣フ故ニ也抄ニ明石ノ上ニアテヽ云也ナル程ソシナ者也父ハ入道シテヒガミ者ニナリフル其類也宮ノ又一ツ也是モ又フト出テ中品ノ人也桐壺ノ更衣ノ類也出テ思ヒモヨラヌ御寵愛ウケ家モ時ニ取テ思ヒカケズ榮アル也多クアク也クアガカニナル也是迄十段(十段)ノ一段也スヘデノ惡ム是アドノウケ也源氏ノ云ハ非参議ノ三四位トモカナリ上リノナマカン達メ成下リテ心ハ心トシテ事タラズヨリ非参議ノ家ノネザシヨイ内ニ物ノアルガカハラカデヨイト云故源氏ノ被仰ハナリ上リモニギハシイ故ヨイ也成下リハモトスセウヨケレドモフウキニナヒ故アシイ論ソウナト被仰也助字也是迄ウケ答ノ二段也コト人ノ中將何モ源氏ノ詞ニ引ソヘアレドモコレハ取立テヽナンジヤ問答ノ事仰ヌ也源氏ノコト評番シテスベテト被仰ハ下凡ノ者ノ云様ナ事被仰トロデモワルク云故問答ニハカヽラヌ事也モトノモノモ云ズ』是迄三段目也是モ馬ノ頭ノ詞也其次ニイデヤ合セツヽ』是迄四段目ナリカミノアドノ様ナ者也モトノ是モ馬ノ頭ノ論也元ガレキノ也

○師曰下ニ一タビ大中納言ニナリアトヘモトルト非参議也ト云ハ是源氏ノ非参議ノ三四位ト云処ヘ出コトニ非ズ是ハ別ノ事也コレモ非参議トハ云事也先大納言テモ大臣三公テモ先ノハ非参議也トカク太政官ヘ出ヌハ非参議也コレハ岷江テモスマヌ也職原ノ事也

○岷江入楚曰スベテノ箋云上件ノ評論貴人モ零落ノ家ヲ引出シ中ノ品ニ置ク或ハ又家中ノ不足ナキ家ノ娘ヲハ貴ぶニ仍彼詞ニアタリテ源ノ批判ノ詞也

【八〇オ】

或天子ノヲ女メ撰家ノヲ女ノタグイ也元レキノナル上ニ又時ニモ世ニモア

フ也打アヒハ元ノシナト時ヨトアフ也両方トモハンゼウナ事也ヤンコトヨイ衆ノ事也左様ナレキ／＼デ而モ時ニアフ人々ノ内々ナイ／＼ノモテナシノケハイハケシキ也ヤウスト見ヨ藝能モエセズ哥モエヨマズ無調法ナト云様也サフニモ一サラニ云レヌ也サラハ別シテ也ソフハ云レヌ也ナニヲシテ一ナニヲシテ其様ニ無調法ニハライ出ルゾ人ハ大勢付テアリレキ／＼ナルニナニヲシテフカイセウナト也是ヨイ中ノ上品ノアシイ也ウチアヒテ一元ノ品（シナ）モレキ／＼也時ヨモサカンニハン昌スル也打アヒテハ前ト同事也時ニアヒスゼウヨイガ打アフ上ヘニスグレタランハ藝能スグレル也コトハリトハソレハソノハズ◇（ノコト）也ヨイ衆ハモノ自由ニナルコト也人一大勢ツキアリ教ル人モアル故ソフアルベキ也ナンジヤ珍（メツラ）シイニ非スヨイ衆ハ其ハヅ也心一心驚コトナイ也ナニカシカ一ナニカシハ我事也ソフタイ何某ト書人ノ名シレヌ時ニナニガシトイヘドモ源氏ニハ我カ事ヲナニガシト云也

（○コト人ノ一又曰私云是ハニギハ、シキヨイヒタツルニハアラネドモ先色々ノ人ノ上ヲ申テ見ルニ其分別ナル人ノイハンヤウニ心取ス仰ラル、ト中将ノイフ詞也）

（○兼道按下段ノ講辨ニ下凡ノモノ、云様ニトソシルトハ恐ハアタラン仍岷江ノ私考ヲ引考ベシ）

【八〇ウ】

此問答ニモサキニモナニカシト云事アル也ソレガシナニカシ皆我事也中々私ドモ及フ事ニ非ス宮ノ撰家ノハ私ドモノ見ル事聞事ニ非ズ上品ノ上セウ也サテト是カラ一種也サテハ上（カミ）承ソフアツテ也上（カミ）ガ上（カミ）ハ聞モ見モ及レヌ也ヨイナカデハルイ事云也是ヨリワルイ処デヨイカ出ヲ云也山里ナドニナル処也人シラヌ処ア、バ、レ、ハ、ア、レ、タ、ル、也、バ、ハ、入、レ、字、也、ム、グ、ラ、ヨ

モギハアレタ家デ云付クサバラニハムグラヨモギ生故ニ云也左様ナ家ニウルハシイ女アルトモ思ハヌニカハイラシイ女アル也ムグラトヂルト云エンノ詞也殊ニ門ト云字アル也左様ナハ見バヘスル故キモツブレル故ヒトシヲ能見エル也彼思（ヲモ）ホヘズ心チマドイニケリト伊物ニアル様也京ナカデミレバソフナケレドモ古郷（フルサト）デミル故ヒツクリトスル故ヒトシヲヨク見エルドウシテコンナ処ニナルゾト思トハクヒ違テアル也思ヒノ外ナ処ニアル故名前ニ心トマル也コレラ中段ノワルイ処カラヨイ人出也父ノコレカラ又一種也或ハ父モ年ヨリ物ムツカシクキタナゲニ肥サラバウマレニナンノヨイ女メアランニト云也フトリスギハムク／＼スルキタナイ也セウトハセハアニ也

（○七丁ウサラニモ云スハヨイ衆ハ人大勢付テアルニアシキハ言語同断ノ事ト也サラニ云ニタラヌト也サラニハコトサラニ也）

（○イタクハイタウトヨム也十ノ者九ハ和ニウトヨムベシ処ニヨリイタクト云タキ処モアレトモ或目ナレト尽タ様ニト云立也）

（○八丁ヲムツカシハムサイ事ニ通コト如何曰然リムツカシイハイヤナ事ニミテヨイ也）

【八一オ】

ヲトハ弟也セヲトナレトモ字ニ書ハセウト、書ウトヲト音通也セウトハ兄弟也兄弟ノ顔モニクゲニイヤラシイ也ソレニウルハシイ女メノ兄弟アラントハ思ヌ也此方カラ思ヒヤルカクベツナ女アルマイ也彼ヨリ思フトハ違テイトイトウ高フ思ヒ止テアル也ハカナク一ハ琴ヒキ手書様也ユヘ／＼シウサモアリソウニスル也カタカドニテモ一カタハシキ、テ書タ者ヲ見琴ヲキ、ナドスル也スクレテ一源氏ノ頭ノ中将ノヲレキ／＼ノ少シモキズナヒヲト云エラミニ

ハアフマジケレドモ前ノ様ナ父ノ年老―思ヒノ外ナ故ニサル方ニテト云也是
一説也又スグレタ貴人ノエラミノ御本妻ニハナルマイカサル者ニシテ手カケ
ニシテヲク様ノ事ハト云也式部―其坐ニナル藤式部ニアテ、云マヘニモイト
聞ニクキコトヲカクト云ハ当代ノ事云故也ハ正フ一生ニナル人ノ事云也セ
ウトノ顔―ト云ハ左馬ノ頭式部ガ妹ノ事聞テヲル故ニ云也式部ガ方ニ覺エア
ル故ニ我妹ノ―也思ヒテハ左馬ノ頭思テ也ヤノ字ニツ疑カサナル様ナレドモ
上ヘノヤハ左馬頭殿ノ式部ヲ疑也下ノヤハ式部ガ馬ノ頭ノ心推量シテ云也同
シ疑ノ様ナレドモ別事也

【八一ウ】

我身ニ當ル事故物モ云ズタマツテヲル也ノ玉フハ高イアイシライ也同ハイナ
レドモ中将ハ四位相當也式部ハ殿上セヌ也六位ノ藏人デ殿上スル故格式違者
ソレ故ノ玉フト云也イデヤ―イデヤハホツコノ初也上(カミ)ノ品ト云ヲ云
ハン為ニ云也源氏ハ宮様也御内所北ノ政(マン)処ハ左大臣ノ女メ也葵上ヲ
心ニ叶ヌ故ヲ心ニ叶ガフリニクソフナト也ゲハチト疑キミ也源氏ハソフ思召
ソウナ也白キ―アマレ品定デカタイ故云(イハ)デモ大事ナヒ源氏ノ装束ヲ
云也初アマ夜ニ頭ノ中将クル時ニ云ベキナレドモ一ヌキ氣ヌク為休メル為
ニ云也白キ御ゾハソフタイセウ束ノ下(シタ)ニハ衣(キヌ)ヲ着ス夏モ冬
モ白也夏ハスゞシ冬ハネル者也是ハスゞシ也ソハ衣ト云字ヲ、ソゾト云也ナ
ヨ、カハ和ナ事也ナナシ(ノウシ)ト云者四月カラ九月ハ花田(ハナノ)トテ青
也シヤデスル也十月カラ三月ハ白也春冬ハ白也地アツイ也ウラハリ紫或花田
ト云コト也下ニキヌト云者着ソノ下(シタ)ニ下重(シタカサネ)キル紋
アル者也其上ニ直衣(ノウシ)也通例ノウシハ直衣ト書ヨイ衆ノ処ニトノキ
スルヲ宿直ト云ヤラデモ宿直トツゞケ云也セフ束ニ宿衣(シユクエ)直衣
(ノウシ)ト

〇八丁ウ中将ハ五位カ職原可考何ニテモ源ハ宮也各別也
〇花田ハ花色也
〇直衣ハネラヌ紗テスルヤ曰ネツタ紗也今日ノシヤノ日ヲリノ様也
〇下ノ衣(キヌ)ハ此御衣ト云ナルヤ曰然リ
〇宿衣ト直衣ト別也宿衣ハヨルキル直衣ハヒルト別々者ナレトモ通シテキ
ルナリヨルハ宿ヒハ直ト云故別々者也
〇宿衣トハ云ズ是ヲ衣冠ト云也同事也ノウシハ直衣也宿衣ト仕立モキタ処
モ同者也キヌノ色違也

【八二オ】

云アルノウシニ對シテ云也源氏繪カク衣冠ハ宿衣也儀式デ参内スルハ束帶也
袖ハネ大刀ハク也宿衣ヲトノキニ行ハ四位黒五位赤ト云様ナ位相応ノ袍ヲ着
指貫(サシヌキ)着ハ衣冠也束帶ハハカマ也宿衣ハ常ニ云ハコレヲ衣冠ノ
ト云也直衣(ノウシ)ハソレニ對シテ云也ノウシハ袍ト仕立同ジ事也宿衣ハ
ヨルキルノウシハヒルノ様ナレトモヨルモノウシキルヒルモ宿衣キルヨルヒ
ルナイ也更互ニ云也ノウシノ時ハ指貫下(シタ)ニキル也ノウシ奉公ト云ハ
指貫ヲキズ下(シタ)ニハカマキル也ノウシデ束帶スル事アル也御衣(ヲ、
ソゾ)ノ上ニ下重キルベキニコヨヒハキヌ也白キ御衣キルシブンハアツイ時
故ニ也一説ハノウシバカリハ下モノハカマ指貫キヌト云ソレハ甚也殿上ノ間
ハ指貫モ召シテアル也シトケ―下重キヌ故シドケナク心安シテアル也シド
ケナクハ四度(シト)ノケト云事也四(ヨ)タビ天子ノヲ米勘定スルケト云
事アルシトケナクハ四タビノ勘定ナイ也シトケアレバキツハリトサレ用立事
也ツレナヒヲシドケナイト云事アルソレ借(カリ)ドジグシスルヲシト

（○衣冠ハ一位二位定也東帯モ衣冠モ同色也ノウシハソレト同シテ色ガ夏秋ハ花田春冬ハ白也ノウシモ衣冠モサシヌキキル也ノウシ奉公ハサシヌキキズ下タニハカマキル也布袴ト書也ノウシデ東帯スルガノウシハウコ也御衣（ヲ、シヅ）ノ上ニ下カサネキルニコヨヒハキヌ也ノウシハウコハ儀式ニホカ着ヌ也東帯ノカハリニシタ者也）

（○私考曰ナヲシハ直衣也各目ナフシトヨムナラヒナリ其裁縫ノ躰常ノ位袍ノコトシ只衣袍ヲ着用シテ東帯ナラサルヲ宿衣トモ衣冠トモ云宿衣直衣トモニトノ半衣ニシテ雑袍トイフ是也雑袍ハ宣下ナケレハ君ノ御前へ着セサル也爰ニ云ル直衣ハ夏ノナヲシナルヘシ夏ハ大（一）文色ハ二（二）藍（フタアヒ）「以赤青ノ花染レ之」次ニ花田ヨリ次第ニウスクナシテ宿老ノ後ハ白也冬ノウシノコト未摘ノ卷ニ出）

【八二ウ】

ケナイト云事アル也ヒモハ其直衣ノ或袍ノ狩衣ノト云ハ雨羽織ノ様ニ胸ノ方ヘカハリ雨バヲリノヒモサス様ニ右ノ肩デハメボタンニシテヒモヲサス入（イレ）ヒモト云ソレサ、ヌ也ソヒフシハ脇足（ケウソク）様ニヨリカ、リアル様也御ホカケ―火ニウツルゴウスノ事也イト、―平生ヨリハイト、也平生ウルハシク見エルガ左様ニシトケナクアレバ猶ヨイ也女―両説也我女ニ●（ナリ）テ見バト云ト女ニシテ見バト云ト也此―上品ノ上ヲヨク出シテスゼウヨク時ニアイ藝能タル女ヲアハシテモタルテイ也サマ、―コレソノ間也大方ノ―是五段目也大方大テイセ間テイニシテ見タ時ニハ宜ゾト云様ニシテ見也然ハ我モノニシテ本妻ニシテト云テセンギスレバヨソカラ見テハクルシフナヒト思ガワガ者ニシテハ難アル也取、ニナンアル故ヲ、クアル也クアカニナル也エ思ヒ定ムマジ也ナンハ助字也定ムマジクアリケル也クアカ也オノコ―是カラタトヘヲ以テ云也ワガ者ニスルトテハ定ニクイハ男子ノカミ

天子へ御奉公スルニハカ、シイキツトシテ天下ノカタメトナル撰政闕白ノルイ也一言イフバンゼントカタマル人也マコトノ撰政ノキリヤウ闕白ノキリヤウ

（○又曰ヒモノ事直衣ニモ位袍ニモ処々アリト云也）

【八三オ】

宰相ノ実ノ器量アマリ出サンニハ難―ナカ、ソレハナヒ者也ソノ人メツタニアル者ニ非ズサレド―ジヤト云テモソフアレドモ也ナンボケレ者取出アルトテモ也一人―天下ノ事ヲナンボケレ者デモ一人シテハト、カズ目及ヌ也政コトシテシラレヌ事也政ハ体也マツリゴチデコチハコト也タチツテト通トモコトト云テ政スルニナル也政事モ体也政ゴチデ活字ニナル働（ハタラク）也チトヒネルデワザニナル也上―上ノ撰政闕白ハ大納言中納言宰相ノホサウケルヨリ下モ百官公卿カミ被仰トカシコマリシテ勤故天下治也コトヒロキニ―天下ノ事故コトヒロキ故カタツマル事ナイ也大納言中納言宰相モ手伝（テツドフ）故チトヅ、クツログ也セバキ―天下ハヒロイ故ソレニ對シテセバイ也撰家デモ大臣ノ家デモセマイ也アルジハ家アルジデ妻也天下ノ事ハカレコレヘユヅリ合ス也三人ヨレハ文殊ノ知恵ト云様也モチアフテユク也セマイ家ハ其様ニ大勢ノ人ナヒ故キツトシテ了簡スル女デナケレバナラヌ也大事家中（ウチ）ニハ大分アル者也トアレバ―是ハ古イ哥也

（○八丁ウナヲシハノウシトヨム也）

【八三ウ】

古今ノ俳諧ノ部ニアル也「ソヘニトテトスレハカ、リカクスレハアナイヒシ

ラスアフサキルサニト云哥アルソヘニトテトハモノ合点シテ其様ニセウズトテ也上(ウヘ)ノソハ其ノ心也トスルナリスルハアチラヘシコチラヘスル也トシテミレハ右ノ方ヘシテミレバカ、リ左ヘナツテキカクスレバトヘナル也右デスレバ左ヘナリ左デスレバ右ヘナルト云様也カカレバカ、リト云テカクスレバト云ヲ云ノコシテアル也字タラヌ様也カクシテアル也ア、ナハ、ナア也イヒシラズハコンナ事云事エセヌ也ヲ、サ、サハ行也キルサハ来也向ヘヤツテミレバ来リ来レハ往也モトル也ソレヲ引付ヲトスル処ヨケレバカクスル処アシクユク処ヨケレバクル処アシイ也ヨイ処アレバ大ナキヅアル女ノ事也ナノメニナノメハ十分タラウ事ニ非スナ、ハナレ也十ノ者七八分ト云訓也七八分大概ニシテアレナレバカンニンハナルト云様ナ人サヘスクナイ也スキノ、其七八分デサヘカンニンシテヲカント思人少ナヒニスキノ、中々好色ガマシイアレコレノ女見モノズキデスルニ非ススサ、ミハ

〈○ソヘニトテハソノヤウニトテ也〉

【八四オ】

ナグサミ也アレヲモ見コレヲモ見クラベテミルコノミニアラネド也ヒトヘニカノアレコレノ女ヲ見アツメンクラベテト云モノズキナラネドモヒトヘニ本妻トスルヲ也ヨルベハ本妻也我本妻ニスルカラハ我カラ入レテヲ直ス事ナヒヲ也此方カラ手ヲ入レズソウ明ナ能家ヲ治ル也ソナハナイ也コチカラ教ヘ立ハアレドモコチカラヲ直ス事ナク自然トアチカラ持テアルハナイ也一生妻ニモテハ定リナイ也此ニ隔句アル也スキノ、シキ心ノスサミニテ人ノフリサマヲアマタ見アハセンノコノミナラネドト云トノ字ヲコノミナラネド心ニカナフヤウモヤトエリソメツル人ノトツゞケル是ヲ考ヘヨソフナケレバコノミナラネドト云トノジ治ルマジカナラスシモトトカク本妻ハ定メニクイ

故必我カラ入レズニアラミ扱デナクトモ見初メカラフトシタ縁デユキ通バソノナジミヲフビンニ思ヒ持コタヘル也脇カラミレバ男モ実(シツ)

〈○ヒトヘニヨリ処ナク迄ハ心ニカナフヲ説ケルヤ曰然リ一ツノ文ナリ〉

【八四ウ】

寧ナ人ト見ヘソフアレバモチコタヘラル女モドウヤラ無調法ニ見エテモアノ夫(ヲトコ)持コタヘルカラハサゾヨイ処アルラントヲシハカル也ナ、カハ清デカトヨメバソウハ云ト誰カソノ様ニカンニンシテアルマイト也コレヨイ也又ナニガハ先程ノナニガシガ也ソレヨリ前ノヨイカ也任シテ持コタヘルハアルマイ也世ノ是ヨリ改端云也私心ニサヘ往届コトナイ也ユカシイ人ナケレバ上(カミ)ニモサゾアルマイト云心フクム也君ノ私フゼイサヘ心ニ及ネバ源氏ヤ中将ノカミナキ貴人立テバト我ニ對シテ云也ドウシテヨロシイ女ヲ配偶ニハナサレウゾ也処セク是ハヨイ衆ハ鼻ヒル事モ人咄シカウデドウデト取ハヤス故ヒロイ処モセマウナル様也又左馬カミナドハドウシテモ人シラヌ故ニヒロイ也我ラダニ無(ナイ)ノニ君立(キンタチ)ノカミナキト轉倒也処セク思フ給ヘタダニナヒノニキン立ノヲ、ン扱ニハ、タグヒ給ハコト打カヘシテヨイ也形コレカラ又一色ノ女也形ハウルハシイヨイ女也而モ若ヤカ也ヲノガシ、ハ女同士ヨル也

〈○公ダチハキンントツメルヤ且常ニ公達ト云トハ此処ハ違ヤ曰公達ハ十ガ九ハキンダチ也処ニヨリキミタチトヨム也此ハキン(一一)タチ(、)トヨム也〉

〈○私考曰公達トハ或一世二世ノ源氏ノ子孫或執柄ノ息ノ種姓正シク昇進ノ道零落ナキヲ云〉

【八五才】

心高フ止ル也高フ止レハ身モケツ白ニナリメツタナ夫モ持ヌ也一色フミ
コレ又一人也フミ書トテモオホトカハオ、ヨウ也コトハ詞エラミ賤イ詞書ヌ
也文(フミ)書テモ書直ステ書事イヤウタシナム人ナリスミツキハスミツギ
也スミツグナレドモスミツキトヨムヨミクセ也ハスミ次事ニ非ズ状ノ書様
文体ヲ云也スミツキデ即フミカク事也ホノカニハナビカウトモナビカヌト
モセズヲトコニモノ思ハス也又コレ又一人也或フミナドヲコシテタイ面セ
シトテ往ニ哉ハ願ノ哉也見テシ哉トユケバト略スル也モノ思ハセ心尽サセン
トイジワルクモタセブリスル也コシラヘツ也ワツカナルコレカラ又一ツ也
近フヨツテワヅカナナル声ノ聞エルミスゴシ几帳ゴシノ処ヘ往也人ヲ以テマイ
ランゴザレト云ヨセルニ也イキノモノ云モ小聲ニ云イ、キラヌタシナム女
也コトスクナコエヒク、詞ズクナ也左様ニタシナム女故平生身持アダナヤ
ラ好色ナヤラシラヌ也好色

〈十丁ヲ〉

〈○スベナクハ如何日セン方ナヒガスヘナク也マタセハヲトコニマタスナリ
ケルカト思ドモコヌ也〉

〈十丁ヲ〉

〈○息ノ下ニ引イレ如何日モノカズ云ズサ、ヤク様ナルハイキノウチニカク
レル様也〉

【八五ウ】

カクシテミセヌ也ナヨヒカコレナヨヒカ轉倒也アマリナサケニヒキコモ
ラレテナヨヒカニ女シトミレバト聞ネバ聞エヌ也其様ニフミ書ドモコトエリ

シテスミツキ宜ミセモノ云ドモ息ノ下(シ)タニヒキイレスル故餘情ト云者
フカウスル故ニヨセイニ引コメラレワルイ処ミエヌ也ヨセイニ引コメラレ心
立ニワルイ処引込ラレアル故ナヨシタ女トミレハ也シハ助字也トリナ
セバ我者トシテ手ニ取テミレバアダシイ也心易フナルニ從ヒアシクナ
ル色コノミナド出来クル也コレヲコレ女シモト云ナンツクベキト云ナン也
初ノナント云テ先デ段々難カゾヘル事先デミエスナルアシキモアラント云事
モアレドモ此ノナンハ難義也此フミカケドモホノカニ声モヒクシ是ヲ初ノナ
ン義ナ見ニクイ事トスベシト云事ト聞ユコトガ是カラ過不及ノ説也過ト足
ラヌヲ以又中ヲ説三ヲ立説コレ法華ニモシテ書空假中(クゲチウ)三諦(タ
イ)ニシテ必竟ヨイ事ヲ云也此ハ過不及ナラベ説也コトガナカニハアルガ中
ニ也ヲ、ゼイ女アルナカニ也ナノメハ七ハイ分也ナノメ

〈○アマリ情ニヒキコメラレノ心如何日ヒキコメラレテ句ヲ切餘情ニヒキ
コメラレテサテ取ナシテミレバアダメク也〉

〈○十丁ウハジメハ第一ノ心歎曰然リ〉

〈○コトガ中ノコトハ抄ニ異ト出如何日アシ、アルガナカニ也〉

〈○アハレハ如何憂歎愍ミ歎曰情ノユキ届ノキミ也〉

【八六才】

ナルマジキハ七八分ヨリスギヨイ方也ウシロミヲトコモリ立シ立出ス也装
(セウ)束コシラヘヨソへ出取ツクラウ様也ウイムゼウヲ知リカウシテハド
ウセウ束ハドウトシル也シリコレ過也デスキタト云様ナ者也ソナハアマ
レ物ノ道理ヲ知り過ルト◇(チト)夫ヲシクキミアル者也其上ハカナキツキ
テ花ノ時紅葉ノ時ニモ哥ヨムモ琴ヒクモアジヨウヤルソレ程ニヲトコウシ
ロミル方シリスキトアマル類ナレバ哥ヨミ琴ヲヒク様ナナサケアリオカシ

キハコトヒキ哥ヨム類也内治バソウシタコト哥ハナクテモ也又モフ哥琴ハ
 ナクテモナレドモ又ナクテハノ事是ヨリ下ニ云也初メハ男ヨクウシロミモノ
 アハレシリ過故ニヲカシキハ風流也風流ナ事ハナクテモト思ドモ又シツ／＼
 シクシテ世(セ)タイ大事トスル也耳ハ耳ノ上ヘカミハセラク也平生頭ニ
 クシ入レヌ様也ヒサウナキヒン相ナ也キハ付字也アブナアブナキノト云
 様也又ビソウナキト云説アル者也ビハウツクシイソウハ人ノソウ也コレアシ
 ハヒソウヨイ也家ハ女ボノ事也ナゼ

(○マメ／＼シキノ訓如何曰実テイ顔シテアル也訓ハシラス)

【八六ウ】

云ゾナレバカノ論語ニ邦君ノ妻(メ)君コレヲ称シテ夫人ト云夫人称シテ小
 童(メ)ト云トアル小童是也離騒経(メ)ニ夫コレヲ家ト云フ人ノ夫ノ字也
 フハ人ノ女ボノ事也カニニ和*本●ニイエドウジト付アル也人ノ女房ノ事ヲ
 家ト云也上(カミ)方デハ人ノ女ボノ事ヲ家(イエ)様ト云也家ト云ト小
 童(メ)ト取アハシテ家童子也トチラカラミテモ女ボ也ヒトヘニ万事打ヤメ
 打カ、リテ男ノ後口見ルセタイセンニシテヲル也朝夕是カラ男ノ朝夕ニ
 内ヲ出入シテ御奉公ニ禁中ヘ出也表ヘ出ヲ禁中ヘユケバ百官ニツキ合他処
 ヘユキ朋友ニモツキアフ也オホヤケハ参内ノ事也私ハ朋友ノツキアイ也ヨキ
 アシキセ事ノコトニツキ公事私事ニツキヨイ事アシキ事目ニモ耳ニモ止
 也ナンボソウシタ善悪ノ事アレドモマネハマヘモ出マネシテミセル也アツ
 タ形ヲシテミセル也ドウモマネフ様ナヒトアルマイ也近他人ニ云ハン様ナ
 ヒ者近テミンヒトハ◇(我)妻ノ事也善ハナセバ尤トキ、セン

(○私考曰イエトウシハ己カ妻ヲ卑下シテ家負(トジ)トイヘル意ニヤ家

童子ノ注モアレトモ得カタシ負(トジ)ヲ或ハ刀自(トジ)トモシルセリ兩
 ヤウカヨハシテヨコナマリナランカ和名抄負「俗作ニ刀自」刘向列女傳
 云古語老母為負ト順按謂老母為負字從目也今訛以貝為自歟和名度之
 (トジ)

【八七オ】

悪キ、アフ也左様ナ者ニ◇(悪イ事)カタリ事聞スレハコナタ道理ジヤトカ
 ラ附テケレル也善ヲ聞(ヲキ)アクモ聞ガ也ヨイ事ニハエマレハルイ事ニ
 ハ涙グムモキツウナミダ流ニ非ス少涙フクム也公ハキン中ナレドモコレハセ
 間ノ事ニシテヨライキトヲル事也ヨイ人ナリシ様アシイト云也◇(ハウカイ
 吝氣ト云様ナ事也)ナニ、カハ此女耳ハサミガチナレバナンノ云ニ及ヌト
 云也打シリムケテヲル也人シレヌキン中デモ私処デモ私事ヲハナス人ナ
 ヒ故我ヒトリ思ヒ笑テヲル也アハレハ嗟嘆也公バラタ、シクノ心デセ間イキ
 トホル故サテモト思也ソレヲ夫ノ心タン息スルヲモシラズ何事ゾトアハ／＼
 シクカル／＼シク云バサシハ女サシ向ヒラル也カウシテ女ノセタイバカリ
 大事ニシテセ間ヲシラヌハ如何ト云也此ウチニ文ノテンドウアル也公私ノ人
 ノタ、ズマキヨキアシキコトノメニモ耳ニモトマルアリサマヲヨキ事ニハ打
 モエマレアシキ事ハ涙モサシグミ若ハフカナキ公バラタ、シクアルヲ心一ツ
 ニ思ヒアマルコト多アルヲ女ドンナ故ナニヲカ聞セ

【八七ウ】

ント打ソフカレテ近テ見ムヒトノキ、ワギ思ヒシルベヤラムニカタクモアハ
 セバヤト思ヘドモナニ、カハキヤセント思ヘハ打ソフカレテト又此ヘ持テイ
 也カタリモアハセラレテカラ人シレヌ思ヒイデ笑モセラレ哀トモワチヒトリ
 ゴタル、也初ノ打モエマレ涙モサシクミ公バラタ、シキモウトキ人ニハカタ

ラレヌ故女ボニカタラントスレドモ初ノウチ笑ヒ又涙ノサシクム事ヲ女ボニ云ハントスレドモカタラレヌ故ニ打ソムカレテ也初ノ打悪ムト同事也打ソムカレテ笑モセラレトクル也哀トハサタン也タゞコレ又一種也タゞ脇ヒラミズ一向ニコメキハ大(オヽ)様ニモノ和ナ女ヲトシタリカクシタリ引ツクロイヲミザラン見テヨカラン也ミザラント切◇(トモ)ヲモヘドモトアマサネバ先ヘツゞカヌ也モノ和ナ故ニ一切ノ事エスマイカト思ヒ又外ノ男ニ引バナビカンカトモ思也ソフシテモノ和ナ女ハサテモハソレデモ也カハイラシイ処アル故ニ也立―他国デモユク也用事云ヤル也云ヤルト持テオク節ニ也云ヤリヲリフシトハツゞカヌ也オリ―

〔〇十丁ウヨキアシキヲ下ノエムトナミダグムニカケル也〕

【八八才】

又イハリノソメタチヌイノト云様ナ事哥ノ琴ノト云事デモ也我自身ニ了簡ナラヌ人ニ談合セネバナラヌ人也サルベキコトヲモイヒヤリトオリフシニシイデンワザノアダコトニモマメコトニモトニ我ト思ヒウル事ナクガ両方ヘカヘルサルヘキ事云ヤルトオリフシニシイデンワザモ我心一ツテナラヌト也我心デハ両方ウケル也フカキ―我(ワガ)一分デハユカヌ故フカヒ処ヘハ心エユキ届ヌ也ソレデハナンボカハイラシウテモナラン也初ノマメ／＼シキモアシケレドモコレデモ事タラヌ也常ハ―是カラ又一種也初ハモノ和ナレトモ事タラン也常ハフキリヤウ也エマ正面ニ向ヌ也此方ニモ向ヌ也アマレシウ着ニナヒ女也容儀コソアシケレナニガシテモ出来バヘスル也初ハモノ和ナレドモアシイ処アル是ハアシケレドモ又取処アルクマナキ―左馬ノ頭ノ残処ナク云モ定メカナル也イタク―タンソクシテ打ウメクキミ也如何トモセヌキミ也今ハ―是中道也今云中道ヘヲト

【八八ウ】

ス也ト角ドウ定テミテモ定メラレヌ故今ハ上ボン下ボンノ品(シナ)ノコトニモヨラズ形ノセンナクニモヨラズイト―ネチケガマシイハ倭人ト書ネチケビトヽヨム也モトハネヂレルカラ出ル訓也口デモノ云バ心モマツスグニナヒマ直ニナヒハネヂレル也品モ形モ云マイ心ノネチケガマシイ事ナケレバ也キリヨウモ大体ナレバヨイト云様也心ガ実貞(ジツテイ)ニ也ヨルベハ本妻也ソレヲツキノ―本妻トスルニ極メヲク也アマリノト心ガ実貞ニサヘアリ静ニアレバ其上ノアマリソノヨノユヘヨシハヨウス宜也猶又心バヘモ風流ナ事ソヘシハナキ也下地モノマメヤカナ上(ウヘ)ニユヘヨシ心バヘヨケレバ余分ノヨイ故ニ悦ニ思ヒ少―チト不足ナ事アレドモアナガチニ求メ加ヘマイ也ウシロヤスクハウシロメタイニタイシテ也ウシロメタクハ心モトナイ也ソレニ対シテ云也ソノノドヤカノナラバ上ハベノ風流ナ哥ヨム琴ヒクノト云ハナサケハ風流也ソレハコチラカラシコミタラバナラント也

〔〇ウシロヤスクハ心易キ歟曰アンドナキミ也ウシロメタイト対スル詞ナリウシログライハウシロメタイト同ヤ曰然リ〕

【八九才】

〔十月廿七日〕

△艶ニ―初二段々ウシロミヲヨクスル上ヘニゲイノウアリハカナキ花紅葉見モ過タラン事ヲ云又アマレセタイ大事ニスルモナンノ相談モナランソレハ口惜也又和ナルモツキノウテラレバナレドモ他処ヘイテモ用事云ヲコスニエ埒(ラチ)アケマイト云又姓スゼウノ事モ云マイ心静ニマメヤカナラト云是中道也是カラ又アマレ和カスギタル中道ヲ云也一種也エンハ優*艶也エンニヤ

サシイ也其様ニ和ナ人ハ必モノハズル故ウラミ夫脇心アルヲ恨云タイ事アリソノ外怨アレドモソレヲ怨アルヤラナヒヤラシレヌ様ニシテアル也シツトモ云ズコト外聞エヌト云又也ミシラヌハハ氣付ヌテイ也忍ハカンニンノニシノ字也ウヘハツツレナクハ不変ト書ヘンゼズ也ウヘハ平生ノ顔デアル也ツレナヒヲセ間ノ人ドウ欲ナ事ニ云ハ非也ツツレナヒハ変セヌ事也ソレカラムゴイ心モ出ハスル也ミサホモツレナイ也不変ト書ツレナヒトヨム松ノ杉ノニ雪霜カレドモ色カハラヌヲ松ノミサホ杉ノミサホト云也心ノ怨

【八九ウ】

アレドモ上ヘデハソソナウラミナヒ様ニシテアル心一ハイニ思ヒアマレバドコゾデハ出ル也イハン一ツニアマル故シ方デセデナラン故ニスゴキ言ノ葉ハヲソロシゲナ遺言(ユイゴン)スル脇心ノアルノ手前ヘシムケアシイト此怨ドコヘユカンゾト云是一種也アレナル一又アトデミレバ涙コボル、様ナ哥モヨミヲク也コ、ヲ去ハツヅ(ラ)ケレドモ立去ト云様ノ哥也忍一シノブハアトデコヒ忍ブキミ也五月(サツキ)雨(アメ)ホドシノバルト俗ニ云様也コヒ忍バンカタミハサマ、アラン此デハネナンドアルソレステヲク様ノ事也フカキ一ソフシテ置顔ハナレル顔ニ對シテ深キ山里ナリ京近邊ノ山里(ニ)ヘユク也世バナレモ京ハナレル也和尔(ワニ)堅田ノ方難波(ナニハ)ヘ往也ハヒハ心ナヒ也唯ニゲカクレル(心)也初ノスゴキ言ノ葉ガ一人ノシ様也アレナル哥ヲヨミヲキモ又一人也忍ハルベキカタミヲト、メテフカキ山里世バナレタル海ヅラナドニハヒカクレルモ亦一人也三ヲ三ニシテミル一人ニシテ深キ山里一ニ非ズ或ハスゴキ一或ハアレナル一或ハシノバルヘイネドモステヲク様也三ハ別々ニミルコト也

(○十二丁云ハンカタナクハスコキ言ノ葉ニカケ強ク云ヤ又上下ヲ二ニ見ヤ

恒按(アンズルニ)一句ニ串也)

(○十二丁ウコヒ忍ブハ慕フコト也)

(○和尔ハ堅田ト並ブ也堅田ハ近江也)

(○カシハ如何日心ナシ)

【九〇オ】

ワラハニ侍シ時一是ハ馬ノ頭ノ未童(ニ)子デアル時分唯今云様ノ子形見ニ残シ置アレハレナ哥ヲヨミ出立ル古イ物語アルトミユ伊勢ニ「出テ、イナバト女ソフ云哥ヨミ業平ニ置出イヌル其類ノ物語アルナリ女房ハ馬ノ頭ニ事ル女ボウ也云ベイ事云ズ立去ハ心一心フカキ事ト小(コ)心(ニ)ニ思也小(ニ)心ニハ涙ナガス也今成人シテソノ事立反リ思バイト一其夫ノ心ドウアルヤラ見届ズ云ベイ事云テソノ上デコソアルニソレ云ズ事サラニ作り物語ニシタ様ナ事也実ナ事デナヒ也サ、ハ下地ニ(モノ)アル上ヘニアル様ナ事也殊ニ更ニ也心ザシ一男ハ男ノ事故少々忍ビアルキシタリ或ハ外ニ通テモノノ女ニ実ナヒニ非ズク、(ア)カニツヅマル也ミルメノ前ニ少々脇心アツテ通様ナ覚ナ事アツテモ人ノ心ハ夫ノ心也夫ノフカヒ心末々迄夫婦ニナラント云様ナ心ヲシランカラノニゲ故ハソノ様ニヲドセバ夫ノ心直ランカト思也コレ愚ナ事也心ヲモ一ソフシテアレバ夫ノ心カワランカ又我ヲ尋クレバ弥シン切ナト

【九〇ウ】

夫ノ心ミントス長キ一急ニ尋出バヨケレドモエ尋ネ出ス事アルマイ者ニ非也イト一イト氣ノ毒ナ事也心一是カラ又前ニニゲカクレハスルコレハカクレテアル処ヘ往(イ)テヲ前ノガ尤也ダンナ殿(ドノ)ノシ様アシイトホメル人フルヒヤウシニノリアノ者モソウ思ソフナワレモ立反リ夫ノ家ヘ立反ラント

アハレ進也ヤガテソノマ、也思一ニナラント思ヒ立時分ハ我心ニモ心ユケ
 様ニ思也ゲン俗セントモ思又也モスムニ非ズスメル様ニ思也世ニ立反リゲ
 ン俗セント思又也イテ一是カラソコヘミマイニクル京者也前ノ反達見動ニ来
 イデハハツ語◇(ノ詞)也アナカナシヲ云ハン為也アハア、ナアカナシイ
 也私モ悲也ハタハ助字也如レ此思召シテ也アヒ一相知レル者ガ来リ弔(トム
 ラウ)也ヒタスラニ一是カラ夫ノ事也女ガイヤトモ思又ヲトコ也女ノ心ニ全
 イヤトモ思又ヲトコ也尼ニナルト云コト聞夫モ肝ツブシテ涙ヲトス也ソコデ
 夫涙オトス体ヲ尼ニナル人ト一処ニ仕フ人々也フルゴダチハ女ノ通称也古フ
 家ニ召使フ女中也ダンナノヲ志ハ

(○)礼経ハ後(ゴ)達ハ后ノミト見ユ通シテ云ヤ日后ニ不レ限フルゴタチト
 云也私考曰フルコタチハ年ヨリタル女子也女子ヲゴタチトイヘルハ男子ニ先
 タ、又義也神代卷八洲起原ノ段ヲ引也陽神(オカミ)不レ悦曰吾ハ是男子(マ
 スラヲ也)理當(コトワリ)ニ先^ツ唱^ツ如^ツ何^ツ婦人(タヲヤメノ)反^ツ先^ツ言^ツ乎云
 タ

【九一オ】

左様ニニナル様ナ事デナヒニママヘノニニナルヲ聞テ涙コボスヲ心ノコリ
 アルニ左様ニアタラヲ身ヲ尼ニナルト云也自一ソコデ一旦ニニナルハナンド
 モソウ云ヲ聞心デクヤシク思テラレバヨケレドモ還俗シタイ故ニ我不レ覺ヒ
 タイ一也古ノ尼ハ惣ガウノ様ニシテヒタイソリヤル也道(一)心ノ心ヲアヘ
 テシハタス事ナヒ也ヒタイヒソメ悲ミ面へ出ル兒(カタチ)也忍一涙カニ
 ンスレドモ人目忍ビカニンスレドモ後立ソフ云故ニソレカラ後悔ノ心ヲリ
 〳〵出ル也エネンジ一カニニシタ也立カヘリ悔シクヒヨシナ事シタト思也
 仏モ一仏ハ六明(メウ)六通故ニニナルヲ後悔スルトシル也中々一ニニナル

ヨリ却テナラヌ方ヨイト云也濁一ハ俗中ニナルコト也五濁(ジヨク)悪世(ア
 クセ)トテ此ヨハ濁タ世ト仏説ニ云俗ニナルヲ濁ト云也俗ニナルヨリナマウ
 カミニ浮ハ濁(ニゴリ)ニ對シテ云也ゴジヨク悪世ニ沈ト云ニナレバ少浮
 様ナ故ニナマ一也ナマ〳〵シ浮ムエカタマラヌ心也イツソ俗ニ居テ後世(ゴ
 セ)ボ提願バソレ得ドウスル心モアランニ
 (○)三明(メウ)六通也三明ハ六通ノ中也
 (○)五濁悪世(シヨクアクセ)ハ西各各自ニ出也(函一)

【九一ウ】

ナマウカビニヨリ道心シテ俗ノ心アレバワルイ也アシキ道ハ地獄ト云様サン
 ジ也タエヌ一ハ過去ノスクセ也タエヌハツノスクセ也ソレフカク急ニ追人
 (ヲツテ)カケ急ニ呼カヘス也ツレテ戻テモ其事折々思ヒ出ハウラメシイ心
 夫婦ニ成テモアラザランヤアルト也アシクモ一少々アシヒ事アルトモカニ忍
 シヨキコトハモトヨリ也相ソヒテトシタ節(フシ)アリ角アル刻(キザミ)
 ニヨリ也古哥ニ依テ云也ミスクシ一了簡シテトアランオリモカ、ラン刻ニモ
 見スクシテアランナカコソ契一是ソシユクセノ契フカク脇目ニ見テモアハレ
 也是隔句也契フカクアハレナラメト云我モ人モト云テハヒヨツト出タ我モ人
 モ也ハ絶ヌスクセ浅カラデーアラザランヤ我モ人モ也呼カヘシテ元ノ如ク
 ナカ直レドモウラメシキフシナカラサランヤ一旦ソフアレバ夫ハ女心モトナ
 ヒ伊勢物語ニ「忘ルラント思フ心ノウタガヒニアリシヨリケニモノゾカナシ
 キ又女我ヲ忘(空白)ト云哥ノ様也我ハ夫也人ハ女也ハ男ノ方カラ云ハ我
 カ夫ニナリ

(○)スクセノ訓如何恒按宿世ノ略也

【九二オ】

人ガヲナコニナレドモ女ノ方ニシテミレバ我ハ女也人ハヲツト也中(ナカ)
直テモ互ニ心元ナヒ女ト思ヒ女ハ我一且出ル故ニアノ様ナ顔モミエルカト互
ニ疑也ウシロメタイハ心元ナヒ也ウシロ見タイ様也互ニ心ヲカシイナン先ノ
様ニハナヒ故ニフシアラザランヤ我人モト移也又—是カラ又一種ノ人也又
一種ニナ◇(ノ)メハナノ者七ヲ云也男ノ心ガ脇ノ女ニウツラウ又ヲツトノ
心女ニソマルガウスクナル也ソノ心ヨイ也ケ色—ケ色ニアラハシテ面ヘハラ
立ヲミセル也ソムクハヲツトソムキ出テイヌル様ハ・タハ助字也ヲ・コハ愚痴ガ
マシイ事云也ワレシタリ顔ニス也男ノ心ハ少シカハル心アレドモミ初—ヲツ
トイヤニナルトモナジミシガフビンナト思也ソレハソレデ本妻ニシテ立者ニ
シテヲクベキ也サル方ノ—ハ本妻ノヨスガニ也或ハ本妻デナクバソレハソレ
ニシテ立テイテヤル也ソフアルハヅナルニ気色バミテ夫ソムキ故ヲイナン
トスル左様ナランソウナ女ノアラ—シイ心アレバ夫ウツロイカ、ル故ニ折
ヲ幸ニナカ絶ル也タジロキハ動コト也

○十三丁ウナノ者七迄ウツラウノギ歟ナ、メハ七ヨリ出訓ヤ日然リサレド
モ七ニ限ラズ日西ニ斜トテ七分ニハ非ズ

○ヲコノ訓如何日シラズ員原註アル也諺解ニ出世間通用ノ詞ヲ釈スル書也
○十四丁ヲタジロキノ訓如何日シラズタチシリゾクナラン

【九二ウ】

物ノ動カヌヲタジロカヌト云動コト也ソウドウナ事也スベテ—是カラ中道云
也初ハ和スギ怨云ベキモ云ズニゲカクレルカル—シイヲ云是ハ夫ノウツロ
イカ、ルヲシラズアレ吝気スギルヲ云是ハ前ハ過不及ヲ云此ハ中道云也ク
ゲ中ノ三立モ中道ニヲチル万ノ事—ナダラカハ平等(ベウトウ)也平心也モ

ノゲウサンニナリヲントウニスル也エンズルハ怨也怨ムベイ事アレバソレヲ
ホノメカス也ホノメカスハスコシチラリト云也ホハ火ノ訓也火ガチラリト見
レハクラガリニ少シノ火デモ出バ早(ハヤ)ミエル様也スコシ也ウラム—又
恨云ベイスヂナルモノク—シフハラ立(ダ)シウ云又也コレハ前ニ◇(十
三丁ヲ)エンニモノハヂシテウラミイフベキコトヲモミシラヌサマニシノヒ
テト云カエンズベキコトヲバミシレルサマニホノメカシ●(ト)云ヲタメ直
シテ也マヘニナノメニウツロフカタアランヒトヲウラミテ気色バミソムカン
ハタヲコガマシカリナント云ニ對シテウラムベカランフシヲモニクカラズカ
スメナサバト云也其様ニ云テハ夫腹立故ニカスメナサバハカスメテ

【九三オ】

ウス—云也ソレニ付テハ夫ウツロフ心アルトモ外心アツテモアハレ出来故
脇心モ止也多ハ夫ノ心モミル人ノシカケニヨリ脇心モヤミイヤジヤト思フ心
モ止也アマリ—是モ古ノヨミハミヲ助字ニ見ハナチトヨムゲナレドモミ(見)
ハナ(放)チカヨイ也ムゲハ下(シタ)モナヒト書ズンドハルイコト也アマ
レ下(シタ)モナヒ様ニユルベ見放也脇心アツテモ忍アルキスルモカモハ
又也夫ノ心ニシテハカハイラシイ様ニ心易フ思ドモ自ラアナル也ソレカラ
脇心モヤマズアランカ也ツナガヌ—ツナガズニ置船ハドコヘユカンヤラシレ
ヌ也吝気嫉妬モ云ベイ処云ネバツナカヌ船ノ様ニアチラヘユラレコチラヘユ
ラレ定ラヌ也タメシト云バナンゾ前ニ故事アル様ナレドモ強テツナガヌ船ニ
故事アラン様ナイ也是ハ繫(ツナガ)ヌ船ノ様ナレ古語ハアル也泛乎(ヘン
トシテ)若三不繫之舟—ト前漢ノ賈誼力傳ニアル又文選ニモ賈誼ガ文アレド
モ此デソレヤルニモ非スアヤナシハヤリタイナイムヤクナ事也時ハ—ソウド
ハナヒカ也コレ迄六段目也中将—是ガ六段ウナヅクデトヒ答ノアイ返答ノ

【九三ウ】

心故ニ六段也サシアタリテ―此指アタリカラ末へ七段也◇(十五丁ヲ左)ア
ヘシラヒキ玉ヘリ是迄七段也指アタリ―是カラ頭ノ中将ノ詞也指アタリハ當
分今眼前ニ也オカシハ笑事ニ非ズ面白風流ナト氣ニ入也元ヨリフビンニ思氣
ニ入タ人也タノモシ―指當テ風流ナトモ思ヒフビンナトモ思ニタノモシ―ハ
人袖引バナビク也コレハルイ一大事ノ事也我心―トハ左様ナ頼モシゲナヒキ
ズカヒナ女ナレドモ男キツトシテ左様ナ事サセヌ也左様ナ不埒ナ事ナヒ様ニ
シテユカバ必竟ハ心直ル様ニサシ直シテミ様ト思ドモソレソフハナラン也ナ
ゼナレバ左様ナ心底アレバニクフモアル故ソノ様ニ指直事ハタレモエスマイ
也トモカクモ―是カラ又一種也トニモ角ニモカノ男ト女トノ間ニ節(フシ)
々出来心違也ノンドリトヲダヤカニ心シヅメ忍ハカシ忍スル也是ヨリ外ニマ
ス事アルマイ也我―頭貳部(ノ中将)ガ我妹ハナドソウシタ人也恨云ベイ事
モカシ忍シテヲル人也我―ハ此定メニアリ人ト思コレモ源氏ニキカセタク思
也君ノ―源氏ガネムリテヲル此ネムリニ両説也トモ角モ

【九四オ】

―ヲノシノ御本妻ノ事故ワザトネムルト云説アル実ニ御ネムリト見ユ先ニ君
モメサマシ給ふト云事アルソレ答シテ此ハ実ニネムルトミル事也左様ニノド
ヤカニミ忍バンヨリ外ニマスコトアルマジカリケリト源氏ニアテ、云テ見テ
モ源氏相手ニナラヌ也サウ、シクハサビ、シイ也心―心イタマシク思也
ハテ氣ノ毒ナト思也馬ノ頭―左ノ馬ノ頭一切事ソノ夜ノ物語ノ判者也ハカセ
ハ学()者ノ事也博達ノ士ト云事也博フ学文シタ人ノ事ナレドモ是ハナン
デモノ事云也文章博士(モンゼウハカセ)陰陽(ランミヤウ)博士ト云通ア
ルドレデモガク者事也ヒ、ラ、キ、キ、タ、リ、ハ、ヒ、エ、鳥()ト云鳥我ホコルト羽(ハ
ネ)ヒロゲヲルト云也ヒ、ラ、キ、ハ、ヒ、ラ、キ、也ヒエ鳥ノハネヒロゲル様ニ馬ノ

頭シテヲル也中将―左馬ノ頭ハ物語ヒ、ラ、キ、テ、アル故頭ノ中将今一段モ藤式
部ガ此段ドウシテヨイゾ初様ニトアランオリモカ、ラン刻ミヲモ見スグシタ
ラン中コソ契フカクアハレナラメソレガヨイト云又此ニトモ角モ違フベキフ
シアランヲ一切ノ事ノドヤカニミ忍バンヨリ外マス

〈○サビ、ヲサウ、ト云如何サビ、ノ心ナランサビシイ事也〉
〈○ヒエ鳥ハヒヨ鳥ノ事歟曰ソレナラン鴨ト書コレヒエドリ也〉

【九四ウ】

コトアルマジト云ガマタ其外ニアルカトジツト待テヲル也万のこと―◇(十
七丁ウ)エ忍ビトゞメズナンアリケル是迄八段也万―中将ノ此理聞ハテント
思也アシライヨツテトハレル也馬ノ頭ノ万其道理ヲ万物ニヨソヘシレ也木ノ
道ノ工ハ大工番匠ノタグイ也一切ノ諸道具ヲ作事也心ニ―心一ハイ也リンジ
―時ニ臨デノモテアソビ也當時ナレバ菊合(キクアハセ)ノ其菊ノ箱ト云様
ニ昔カラノ規矩(キク)ナイ者也煙草盆スルニ部屋タバコ盆トテ引出多棚多
様也ソバヅキ―左様ナハソバヅキハカタソバナ事也物ノユガミタ事ヲカタソ
バト云カタソバへ附タ様也ザレバミハ左*道()也今云シヤレタ事也ヒト
風流ナハデナ事也面白作立ゲニカウアラント也ツイニ見ナレヌ故今メカシイ
也オカシハ面白也大事―芸是カラ大切ナ者ニシテ誠ニキツトシテウルハシフ
家ノ道具ト云ルイ也デウドハ道具ノ事也家ノ飾リトモスル格式アル寸法ナン
寸ニシテ数(カズ)イクツアルト右ヘモ左ヘモウゴカサレヌ也初ノ今風ノ事
ハツイ新シイト尋ズル故目移思ドモ儀式定ル物ハ

【九五オ】

上手デナケレバ見ザメシテハグ、シテ見ラレヌ也又繪ノ処ニ―又是カラ繪

ノ事デ云也エ処トハソフタイ禁中ニエ処ト云処アル古ハエ工(ダク)ミノ司サト云アル平城天皇ノ時其(内匠)寮(タクミリヤウ)へ併(アハ)シテ今ハエ処ハ其(内匠)ノヒ官ニナリフル諸国ノエノ上手召ヨセテ御用ノ時トカ、ス今ハ左様ナ事ナヒ也エノカラニヨリ官モライアル也多クアレド也クアカニスル也スミガキニ古ヘハソフタイ堂上方ノエハスミエナイ也此スミガキハ下エ也下エ上手カ、ネバ上エノ細工ナラヌ也ツギ、毎年々召出シテ位ヤル去年クルモ今年クルモノ様ニワカレヌ也其様ニキツト別レヌガカ、レドハカクハアレド也分リニクウハアレド也人ノカクノ通ナレドモ見ワケ様アル也ホウライノ山ハ仙人ノヲル処蓬萊方丈エイ州トテ三ノシマ也是ハ海底ニアル有様デ近クユケバナヒト云事也アル事ヤラナヒ事ヤラ誰ミタ者モナイ也アラ海ノ一或ハ大海アライウミニアルイカレルハシヤチホコクジラノ類是モ人ノ見及ヌ也カラ国ノ一カラニアル虎ノソノ外象ノ類

〔○私考曰木ノミチノタクミハ廣ク良匠成ヘシ〕

〔○同ゑところハ畫師ノ集ル処也西宮記ニハ式乾門ノ内東ノ腋御書所ノ南トアリ拾芥抄ニハ建春門ノウチ東ノ腋御書所ノ北ト見エタリイツレヲヨシトセルヤ又時代ニヨリテ其処カハルヤシラズ令條ニハ畫工司アリテ繪ノ事彩色ナドヲ掌トラシム其後令外ニ内匠寮ヲ置レテヨリ畫工司彼寮ニアハセ玉ヘリ然トモ後世ニ至テ内匠寮モ亦名ノミアリテ実ナキカ故ニ更ニ繪処ヲ定給ふか其ハジメヲシラス〕

【九五ウ】

今ハ象ハ人見テアレドモ古ハナヒ又獅子ノ類也元ヨリ鬼(ヲニ)ハ見タ者アラウ様ナイオドロ、オドロクバカリスザマシク書タ也心一ハイニカケバヒトキハ一出来タト思ドモジキニ似タカシラヌ也ジキニハ似ズアラネド也サ

ゾ似マイト思也ソレハ虎ジヤ蓬萊ジヤト云テスム也ヨノ常ノ一是カラ実事也世ノ常平生テイタ、ズマヒハ立スガタ也コノ水ナドイカウ書ニクイ事ジヤゲナ也人ノカウシタ家ノ類ゲニ、ゲナル程尤ヨフ似タト思様ニ家杯風流ニ大様ニ書ナス也静、和ダ処ノツシリト書也スクヨカ、ケンソ也ケンソニナヒ山也山モ險粗ナ山ハ書ヨリソフナヒガ書ニクイ事ソウ也コブカク、左様ナ山ニ木(コ)立ヲ、ク人ハナレ木ブカクハ木ノ色ウスウミユル様ニ書也抄ニアル様ニ金岡ハ山ヲ十五重ニ書其孫廣高ハ五重ニホカエカ、又ト云金岡ハエノ上手ト古来云也ケ近トハ人ゲ近也人ノヨクシルマガキノウチノ草花ノテイ也上手ハ、左様ナ処ヲ上手ハ勢各別ニニツトリト

〔○十六丁ヲナツカシイノ訓如何曰ナレルノキミ也ユカシイハユキタイ也〕

〔○ヤハラビト云違如何曰ビトハ形容ノ様也イナカビタト云ルイ也〕

【九六オ】

書也ワル者ハ下手(ヘタ)也上手ノ様ニハ及ヌ処ヲ、イ也是マヘニ云通見エ分レズカクハアレドモ蓬萊ノ形ノ様ナルノハマギレキツトシテ家山ナドハ上手デナケレバナラヌ故ワカレルト也手、是カラ又一種也偕又手蹟カクトテイカウ手蹟藝古シ込ニ非ズヒラリシヤラリト心入レヒンシヤント達者ニ書テミセル点長テモ大事ナヒニカク也ソコハカト、ハカハ助字也ヨウスラシク書ナス也チヨツトミレバキツトシテ角(カド)アツテウルハシクヤウスヨク見エレドモ猶、ソフハアレドモ筆道正シテ少シモザレバム様ニカ、ヌ也彼点長ニハシリ書トナラベテミテハウハツラヲトル様ニミユル筆消テ、マケン様ニミユル也モ一ド両方ツキ合シテミレバカノ点長ノハシリガキハ見ザメスル故ナラベテミレバジチニ書(カク)ニユル也ハカナキ、エ書クモノ書ト云ナンノ取ジメナヒ事デサヘソレ也マシテ況ヤ大事ノ一家(ケ)治ル女也人ノ心カ風

流當世様ニシテアラ朴(イ)カウシタ風姿ヲケシキト云ナリミルメノ客躰
作りミルメノマヘニナサケハ風流也ソレラ本妻

【九六ウ】

ニハエ頼ムマイ也ソノ初―是カラソノ初ハ昔ノ事也我カ前カド、云コト也
ハ此品定ノ卷ハ法華ノ二十八品ニナラウ法華ハ法譬因ト三タイ也初ハ偏説ヲ
マク直ニ説中(ナカ)ハ長者衣(エ)裏宝珠ノタトヘ杯末ハ化(ケ)城喻品
ナト因縁ヲ説也ソレニナライ初ハ女ノ品(シナ)ヲマク直ニ書ク法タイ也ナ
カ比ハエノ事文章ノ事ヲ云也ヲクニハ各其身ノ上ノ事因縁ノ事ヲ云也
是初カ
ラ其心持デ書也各身ノ上(ウヘ)ノ事頭ノ中将モ馬ノ頭モ云也君モ―先程ノ
ネムルト云処ニ君―ト云詞ウケテミル也咄改ル故ニ源氏モ目サマシテ聞ント
近フヨル也中将―尤ナ事ト思也シンシテハ信カウ也ホウヅヘツキ左馬ノ頭ニ
近ジツトキカントスノリノ師―ホツヒインニ模(モ)スル故ニ法ノ―ト云也
仏法事説也セ間ノ有(ウ)ゐ轉變ヲ説様也ヲカシハ俗ニ云ヲカシイ也子細ラ
シク馬ノ頭スルハヲカシイ事也カ、ル―カクアル席ニハ各面々ノムツゴトハ
カリスる也各女トノムツビ親ミ也是迄カタイ也コレカラ和ナ也コレヨリ

【九七オ】

九段也此段長也

《十一月朔 十七丁ヲ》

△はやう―

カ、ル―初ニハマク直ニ女ノ上品中品下品ノ三段ヲ云中比ハエノ道テノ道木
ノ道ノ三色ノタトヘヲ以云是カラ身ニ面々アル因縁ヲ云法タイヲ云ヒユヲ云
因縁ヲ云法華ノ三タイニ当ル是カラ因縁ヲ云也カ、ル時節ナレバムツコトハ
ムツマジイ詞也面々心カハシタ女ト云コトナレバ此ラデハ云又事ナレドモカ

ウシテ時ニハ云也馬ノ頭云也ハヤウハムカシト云事也古今(コキン)ニハヤ
ク云テシ事ハワスレズト云事アルマヘカド云タ事ハワスレマイト云事也昔ケ
イヤクシテ云也昔マヘカド、云コト也左馬ノ頭(カミ)ハ相當五位也ソレヨ
リ以前六位デモアル時也上ロウ下()ロウノ臘(ロウ)ハ元法(ホツ)中
ノ字也ヒツキヤウ年々ツムヲ云年ロウ足又ヲ下ロウト云ロウハ年ロウ也フビ
ント思フ女アツタト也聞―様ニトハ前ニ云タ処ノ◇(十一丁ウ)常ハスコシ
ソバ／＼

《○ロウノ心如何恒按ロウノコト徒然諸抄大成ニ委》

【九七ウ】

シク心ヅキナキ人ノト云タグイ也アマレ容儀スグレヌ也聞―ハマヘ云様ニ也
マ帆(ヲ)トハ元帆カラ出ル事也追(ヲイ)手ウケマツスグニハシルハマホ
也ヒラキウケハシルハ片(カタ)ホ也疵ナイガマヲ也中分ナルハマヲノ様也
タトヘ云也元帆ノ事ナレドモヨムハヲトヨム也ドコ取テ難ナヒト云ヤウギデ
モナヒト云コト也下ロウデ若中ハスキ心チハ好色心アルウチハ也此人ヲ必竟
ノ本妻ニシテ一生ノ配偶ニハト思コト也ヨルベト云ハ云バ一切ノ相談々合バ
シラ也前カドモ云古女ハ女ノモトヘユキ通事故思ヒ便トハ思フテアル衣セウ
デモシテモラウ事也サウ／＼シクハサビシイ也エン取テモ心ニノラン故サビ
シイ也トカクトシタリ角シタリシテマキレアルキ忍ビアルキスル外ニ通フ
女アル也モノ―エシハウラミル也嫉妬ノ心アル也其様ニマギレアルクハ吝氣
スル也イタクシテ心ニ付又也ツキナフ也心ニ付又也容義アシクシツトキビシ
ク云故也イト―カ、ラデハカクアラデ也ヲウ様ニアレバ也ライラカナラマ

【九八才】

シカハヨカラシニソウシテ置シニト也エンニユルシナフ一友達ノ処ヘヨバナシニ行モ云也ウルサクテハイヤナ事也処ニヨリ先ニモアルウルサイハケツカウナウルハシイ事ニモ遣テアルウルノ字モトウルヲウ也ウルヲフ者ハムサイ也モノニヨリウルヲイテヨイ事アル故ヨイ事ニモウルイ事ニモ遣テアルカク一カクノ如ク我下及デ物ノカズニモアラヌミヲナゼニアノ様ニ親切ニ思ヒシツトハキビシク思ゾト心一ニクルシミフビンナト思也シネンニ一自然ニドコトモナフ心ヲ治テ脇ノ通モナフナル様ニナル此ガイトユルシナク疑ヒ侍シモウルサクテト有テカクカズナラヌ身ヲトハツバカヌ也イトユルシナク一ウルサクテト心ニ持テアマレキビシク吝気スルモキノドク也カクハナゼニカク数ナラヌ身ヲミモハナタデナドカクシモ思フラント心グルシキオリノモ侍リテト此テトウルサクテトテヲニヲ一ニシテユルシナヒモキノドク也自然ニ心一也ソフナケレバ前ノ疑ヒ侍シモウルサクテトテノ字

【九八ウ】

ヲサマリ処ナイ也此女ノ一カノ女ノモ様アリサマヲ云也ソノヨウス本ヨリ思ヒ一トハカニモ叶ヌ事アルカウシテ衣服ナケレバナラヌト云ニカラニ及ヌ事アル也此人ハ女ガ指テ馬ノ頭ヲ云女ニナリカハリ云也女ガトテゾ此馬ノ頭ノ為ニハナキテヨ一ハ此デ云ハドフモナヒ手ヲフリテミル様也ヲクレ一マヘノ思ヒ至ラザルハテノ至ラヌ也此ヲクレ一ハ同様ナ事ナレドモ我チエデドフモナラヌ我シラヌ事モ馬ノ頭ノ為ニドンナ女ト思レマイトシラヌ事モ取ツクテイヲシテミル也力ヲ入レハゲンダ也トニ一トスルニモ角スルニモナニカニツケ一ハマメヤカニ信実ニウシロミ夫ノ事セハヤク也ツユニテモ一ツユモミジシモ夫ノ心ニ叶ヌ事ナヒ様ニ也モ哉ハ願也ナヲロオシクハミエント思ヒハゲミツ、此方隔句也トニカクニワケテモノマメヤカニウシロミツユニテモ心ニ

タガフコトハナクモ哉トカクノ如ハアルソレラス、メルカタト思ヒシカドハチトイキスギル也進メルトハツバキニクイ也是ガ先コ、デ句切心ニ◇(違レヌ也)

(○口オシクト書ウトヨムヤ曰然リ)

(○十七丁ウ此女ノアルヤウ進メルカタト思ヒシカド之ヨリ思ヒ至ラサルコトニモト入ルヤ曰然リ進ハシツトヘカケル也ヲトコノ為ニナルヲハ進トハ云レヌ也)

【九九才】

シ程ニ此方ノ為ニナル也進一ヲ前ヘ持テユク也嫉妬スルヲイキ過タコトト思ドモ之ヨリ思ヒイタラサリケルコトニモイカデコノ人ノタメニハトナキテヲ出シト入レル也此進一ハ前ノシツトノ事故ニ此ヘ入ラヌ也此女進一ナレドモ左馬ノ頭ノ為ニハナキテヲ出ント前ヘ入レル也トカクニ一チト出スギタ様ニ思ドモナビキハ風ニ柳ナビケル様ニナビキテ也ナヨビハナヨノスル也ナビクハ用也ナヨビハ体也ナヨビ故ナビク也和ナ故ナビク体ト用ト也ミクキ形一元ヨリ聞エサセツルヤウニ形ナドイトマホニモ侍ラザリシ故形スグレヌ也此人ニ一左馬ノ頭ニキクヤウアシイ故ミウトマレンカト力ヲ入レ容儀ツクラウ也ウトキ一他人ニハアレ程フキリヤウナ女ヲ馬ノ頭ノ本妻ニスルカトサミセン馬ノ頭面目ナク思ハンカト面フセハ面ヲフセル也ウツムク也夫ノ心ヲハバカリ愧テモテツケテト句ヲ切也是モテン倒也ミサホニモテツケテミナル、一トハツバキニクイ也ミクキ形ヲモ此人ニミヤウトマレント

【九九ウ】

ミサホニモテツケテワリナク思ヒツクロヒ也ワリナク一テモモテツケテモヲ

ル心モ―左様ニワリナクツクロウヤウスヲミナル、◇(マ、ニ)也心―ミナル、マ、ニ形モ取ツクラウ故ニ心モノモハ形ニカ、ルケシウハアヤシイト云字書テアルアヤシイ程ハルウハナカツタ也唯此―心モハルウハソノ様ニアシウハナケレドモ外コトナクタゞ也唯且ノ兩字餘残ヲカラズ也唯此シツト云コトバカリ馬ノ頭ノ心アレドナラヌ也ソノカミ―ソノ時ト云コト也カウ―カウハカクノ如クワレニナビク女ナレハワレニヲヂル也アナガチニシヒテ―イカデハ前ニモアルイカニモシテ也コリル様ニヲドサント也コラシテヲドシテヲカバ吝氣ノ方モ少ナヲラン此方ハリンキ也リンキセネバサカナサモ自(ヲ)止也マコトニ―夷(ジツ)ニ女ノ吝氣スルヲウイト思ヒケウカウ絶テコヌケ色ミセバカクバカリ我ニ順ヒナビク心ナレバソウ思ハヲモヒコリン也コト更ニ―名前ニイツモヨリ左様ニモノエンジネタミセバケウカウクマイソノ様ナ女アル者カトガイニ云呵(シカル)也レイノ―コチラ腹立様ニ云ニ

〔一〇〇オ〕
 (〇十八丁ヲサカナノ訓如何曰シラスサダカト同様也シツカリトシタコト也月ヲサヤカト云ハソフイハレネトモ訓ハ同者也)

〔一〇〇オ〕
 アンノ如ク怨ミル也カク―オゾマシハオソル、也オソロシイスザマシク也ヨミハヲゾト濁テヨイ也必竟オソマシク也カギリ―今ヲ限リト思バ重テ對面セジト思ハカク―朋友ノ処ヘユクモ参内スルモネタム也ソフナクバトフモナラシ也ユク先長フワレニ見エント思バ也ツラキ―少々脇心アルトモ男事故カン忍シテナノメニ―大ガイニシテヨイ也カ、ル―嫉妬ノ心ウセバコトノ外此方カラ大切ニ思ベキ人ナミ、―ソフアルナラバ少シ此方ヲトナビン也此時分馬ノ頭二十四五ノ時ト見ユ若年ノ事也又外ニ立並人ナヒ様二本妻ニセント也カシコク―知恵出シテシカルト思也我―キジヨニタケ、―シク云也イヒソシ

ハイヒコロスト云様也イヒコメル也酒ニキツウエハスヲ強(シヒ)コロスト云様也キビシク云事也女胸スエテカクゴシテ也ドウナトナサレヨ也スコシ―其万ノ官位モ浅ク年モ若也人ラシウハナヒナリソレハ元ヨリヲヤノ子故ツイニハ官位モ昇ラント思故ニノドカニ思ヒハユル

〔一〇〇ウ〕
 (〇十八丁ウイヒソノソハ如何曰殺ノ字也)〔〇官位ヲ浅ト云也〕

〔一〇〇ウ〕
 ヤカニ思也心ヲ痛メル事ハナヒ也ツラキ―忍アルキシテ夜毎ニイツ方ヘユクヤラシレヌヲカン忍シテ実貞ニナルヲ待ウト云テ年月ヲ―アヒナダノミハ抄ニカイナキ頼ト云ハソフデナイ也前モ云合ノ字也フソウ忠也其方ノ心底行末直ルベキニ非ズ不相応也ソレハ苦シヒ事也カタミニ―前ニ限リト思ハ―セヨト云故アチカラ限ト思ハバト云故コチカラモ互ニ也キザミハ漏刻カラヲコリ時ノ事コクト云キザミ也ネタゲニ―ネタマシク云也時ニ―元ヨリ馬ノ頭ハ腹立ニ非ドモヲドサン為ニコト更ニツレナヒ顔(カホ)シテ云也此デ互ニカタミニソムキヌベキ刻ニナンアルト云故実ニ馬ノ頭ハラ立也ニクゲナル―互ニニクソフナ事ヲ先ノ腹立事云也イヒハゲマシモ兩方カラカラ出シテハルイ事互ニアツコウスル也女―女モ腹ニスエカネル故立腹スルヲヲヨビト云ヲニ心ナイ也小ユビニ非ス唯指ノ事也小ユビト云ハ小指デモアランオドロ、―馬ノ頭ノ方カラ怨也カコツハ

〔一〇〇ウ〕
 (〇十九丁ヲ合ナキ頼歎曰不相応ナキミ也合也)〔〇十九丁ヲヨビノヲハ付字歎曰然リ外ニ小ユビノ事ヲ云事モアル也〕

【一〇一オ】

怨也カウシテ疵付バイヨ／＼惟サヘ官位ウスク年ビ若ナレバイヨ／＼マジ
 ラヒヨスベキニモ非ズ也ハヅカシメーハ恥辱与ヘタ也人メマジライセズニラ
 レバ官位進ベキ様ナヒ也世ヲ一是カラ出家遁世スルナド云也サラバソフア
 ラバ也其方ノ心底ソフアラバ是離別ノ初也此カノクヒ切ラル指カバメソコ
 ヲ別出也「手ヲオリテ指クヒ切ラルヲ手ヲオリテト云也表(ヲモテ)ハ指
 クヒ切ラル也ソコノ心ハ指食シテモノカゾヘル也ナン年イツカラト数ヘミレ
 バ段々其方年来シムケアシイワカゾヘミレバ此指クビ切バカリニ非ズシムケ
 アシイ事多故タトヘ今カクエンシテモエ怨ミマイ其方ノ嫉妬スル故也サスガ
 ニハ行(イ)テモドルテニハ也女思ヒ切テアレドモエンキラント云故ニツキ
 アテ縁切ラント思ドモサスガニ也アノ女ハツヨイ女ジャガサスガニ女ジャト
 云様也アトヘ引モトステニハ也「ウキフシヲ一馬ノ頭外心アツテ毎夜ヲラヌ
 ヲ心バカリデ数ヘテヲル也

【一〇一ウ】

此カゾヘキテハ馬ノ頭ノウキフシヲ也コヤハコレガ也此タビガ也君ガ手ヲ別
 ルベキ時ゾト也マコトニハ一イヒシロイ互ニ此方カラハコレヒトツヤハ君ガ
 ウキフシト云アチラカラハコヤ君ガ手ヲワカルベキオリト云アフ也ト云タレ
 ドモ馬ノ頭心ニ実貞ノ心ユヘ実ニ変ゼントモ思又也日比ト云ドモコラサン
 ト思故ビンギセヌ也セウソコハフミニ限事ニ非ス何ノ便リモセヌ也アクガレ
 一今ハ吝気セヌ故ニ心マ、ニアルク也臨時ノト云ガ元八幡岩清水(イハシ
 ミツ)ニアル三月也此ミゾレフル夜ト云タハハ賀茂ノ臨時ノマツリ也是ハ
 大分儀式アル事也調楽試楽トテ禁裏デナラシシテ行ガ調楽也調(デウ)楽ト
 云ハ非也ソレヲ試楽トモ云試ハコ、ロミル也試筆ノ試也ヲノシモ清涼殿ノ庭
 ニ倚子(イシ)ヲ立ソコニヲノシモコザリ公卿出ナランヲ見カヘレハ又楽ア

ル也此臨時ノ楽ハ宇多ノ天王ノ時ニ初ナリ古ハ八幡而已也宇多ノ天皇ノ御
 子(ミコ)ノ時ニ狩ニ出ニ神ノ賀茂ノ

〈○シロヒノ字如何曰ツキジロイト同ジツキアフノキミ也〉

〈○私考曰臨時ノ祭本文ニミソレフル夜トアレハ賀茂ノ臨時ノ祭ト聞エシ是
 十一月下ノ酉ノ日也兼ヲニ調楽試楽ハ御所ニテアリ調楽ハ管弦ノシラベノミ
 ニシテ舞ナシ試楽ハ本式當日ノ如クニ試ミノ舞樂也云々其祭ノ儀式ハ委江次
 第二見エタリ〉

〈○十九丁ウ賀茂ノ臨時祭ノ事何書ニ出ヤ曰公事根元ニアリ〉

【一〇二オ】

社人ニノリウツリテ此祭ヲセヨト云也宮ハ天子ノ位ニ付トモ思召又故ソレハ
 天子ヘ位セラレヨト云ナニブン思ヒ入レアツテ云也ト云テ神ハアガラセ玉フ
 也ソレヨリ帰り宮ハ天子ニナル也是ハ賀茂ノ臨時ノ宮也ミゾレ一是ハ心アテ
 アル延喜四年ノ時ニ此夜ミゾレアル也ソレヲ此ヘカク也夜フケテミソレキツ
 ウフル也雪マジリノ雨フル也是カレ一皆調楽スム故是モ彼モ也アガル、ハア
 トワト五音通故別ル、也其外ノ殿上人公卿モ若衆ハ皆忍処ヘ行也馬ノ頭立カ
 ヘリ思バ行処ナイ也指クヒノ女トハ縁切りナヒ也又ハ又也マダニ非ズ内ワタ
 リ一御用デハナクカヘリテ夜ルハウソサビシカラン也ケシキ一外ニ馬ノ頭心
 カヨハシタ通処少シケ色アル処也ソレハナジミナヒ故アマレサムクアルベキ
 也イカバ一ソコデ指クヒ切ル女ナント思テアル其ヨウスミタイ也雪一雪打ハ
 ライ禁中ヲ出ナマ一人一トト數キ高也人目ハルイ也爪一ハジルテイ也サリトモ
 一女セウソクセン

〈○アガル、ト濁ヤ曰然リ〉

【一〇二ウ】

トテ怨ルトテコヨヒ寒イ夜行バ日比ノ女ブサタスルト思フ怨モトケン也ソコ
 デ行テミルニ灯ヲカベノ方ヘ幽ニソムケテナヘタル衣ハ平生ノキヌ也キナレ
 タハレニセヌキヌ也アツゴエーモハレニセヌ也夜具ニスル為也アツコエタハ
 昼キラレヌ也綿多ク入レキルモノ夜(ヨル)ノ物也大ナルーコハフセゴ也香
 タクカゴ也引ー是ハ几帳ノ事也几帳ト云者ハヲロシテヲキ直ニ對面ナラヌ人
 ハ几帳隔タイ面スル故馬ノ頭ノ如キヲトコハコレ引アゲストハ入ル也コチ
 カラアゲヌ内ニアゲテアル也几帳ハケツカウナ者也表白ニ葵菊竹蝶ノ紋ヲ書
 裏ハ紫ニシテ十六重ノ菊ヲ織也百人一首ノ絵ニ小野ノ小町ノ処ニアル者也ケ
 ツカウニス衾具ハナヒ也ヒキアグー卷(マク)事也布事ニ非ズ几帳ニカケン
 ヲマク也アゲテ置引アケルモ面動ナ故引アゲル也コヨヒーコヨヒコント云待
 ヤウス也ソリヤコソ我ヲマツヨト心ニ奢也サウジミハー尋テミルニヲラヌ也
 然ルベイサモトラシイ女房トモノコリアルヲ

〈○几帳形ナリ可考〉

〈○廿丁ウサウジミ如何曰ヲナゴノ事也正身ト書妻也又妻デナクテモ目當ノ
 相テヲ云フナリ〉

〈○廿丁ウヨサリハヨ歟タサリ杯ノサリ歟曰イ勢ノ国立国ノ段カニアリ唯夜
 也サリハ心ナヒ也俗ニ爰ノ在郷ノ者ヨフサリト云也京ノ者ハ常ニモヨサリト
 云也〉

【一〇三オ】

ヤノ家ー親ノ方ヘ行テ此ニハヲラヌ也コンヤハルスト云也エンナルー優艶ナ
 ル哥モ別見エタレバワタセト云テヲクベキニソフナヒ也ケシキーコンヤヲ出

ナサレンカト思ドモ親ノ方ヘ行重テコヨナカ直ラント云状カイテアルナイ也
 イトールスデハアリ哥ハナシフミモカ、ズナレハイトヒタヤゴモリニー也ヒ
 タヤハベツタリ也一向ガヒタ也ヒタヤゴモリハ直家隠也一向ニ家ニ引込デヲ
 ル也手ザシセヌ事也ナサケー風流ナ事一向ナヒ也ナサケナクアリシカバ也ア
 ヘナキーコヨヒキタハ来タレドモ●(イ)ナネバナラヌ也アヘハハタス也サ
 ガナクー此方面白也凡人ノ情ハカウシタ者也常ニ思ネドモハズミテ行夜カウ
 アレバ平生嫉妬シテモ我ニアカレントテシタソウナト思也我ヲーアヤシウト
 テシタ事ソウ也女ヲウトメトテシタ事ソウ也ワレハ女ノ事也女ガ男ニウトミ
 テクレトテシタ事ソウ也サシモー平生ソフハミナダレドモコヨヒノ仕方モ
 チツト風流ニモアルベキニト心イタマシメル故ニ也コ、モ隔句也心ヤマシキ
 マ、ニ思ヒ侍シト

〈○廿丁ウアヘナキ心チシテサシモー心ヤマシキマ、ニ思侍シハサガナクユ
 ルシーアリケント子細ヲ先ヘ引タルヤ曰心ヤマシキマ、ニ平生ハソフハ思サ
 レトモ思タトアトヘ立カヘルナリ〉

【一〇三ウ】

何思ヤラ知レヌ也心ヤマシキマ、ニ思ヒ侍シハ我ヲウトミネト思フカタノ心
 ヤアリケント思ヒ付(ツク)也ソレカラナサケナイカ也キルヘキ者ーサテイ
 ツモノ処ヘイテミルニ馬ノ頭ノ著スルセウ東シテアル也平生ヨリハ心トメ染
 タトミニユ色アイト云仕立ト云カウアルベキト思也サスカニーワガミモ女ヲ指
 也馬ノ頭ノ見ステ、モ也衣頼ナドシテヲク也此様ニシテ女ノヲク故サリトモ
 ー其様ニコヨヒ来テモルスデ哥モフミモナクソフアルトモワレヲエ思ヒハナ
 ツマイ也思玉ヘテハ馬ノ頭ソフ思タ也トカクー中直ランカトフミヤリミル也
 ソムキモセズハナカ直ルマイトモ云ヌ也ソレイヤナ重テフミヲコスナイヤジ

ヤトモ云ヌ也尋一又ユキ方シレヌ様ニスルニ非スカ、ヤカシーゲフサンニ目ニ立様ニ状ヲコスナトモ云ヌ也カ、ヤクハゲフサンナ事ハ目ニ立カ、ヤク也甚ナリ相応ノ返答スル也エカゲンニ女返答シテ其返答ハアリシ通ウハ、スル心ナラバ也ナンハ助字也エカン忍シテアルマイ也心以テノドヤカニナラバ也尋様ナラバ

【一〇四オ】

中直リ相ミント云ヲコス也トハイヘドモナヲ我ヲタヘテ思ハズヤアラント馬ノ頭油断シテラク也今シバラクコラシテヤラント思也シカハ其通也ソノ方云通りニ也イタク一ハ引ハリアフ心也古イ哥也拾遺ニ「引ヨセハタ、ニハヨラデ春駒ノツナ引スルゾ名ハタツトキク恋ノ哥也馬ノ頭ヤツテ云也引ヨセテハタゞヨツテコヌ也馬ノクセデ引バアチヘヨル也コチヘ引アチヘ引バナハキレル也両方引ハリアヘバソノウチニ世間へ名立ゾト云ヒユノ哥也コ、ヘハ両方引ハルヲ借タ者也ト云テ両方ガヒツハル間ニ女イヤウ苦ニシテハカナフ死シタ也タハフレージヤレモナラン也是モ古今ノ哥也「アリヌヤト心見カテラアヒミネハタハフレニクキマテソ恋シキタハムレニシテミレハソフナラヌ逢ズニヲラレヌト也是モソレ借テ云也ヒトヘニヒトヘニ打頼ミ本妻ニセント思フハ是ヨリ外ニナヒ◇(ト思)也ハカナキ一ナンデモナヒザツトシタ哥ヨム

【一〇四ウ】

様ノ事カレイ事談合スルニモ也又公邊ノ事デモ談合シテミルニ◇(十丁ウ)前ニヒソウナキ家童子ト違サツハリラチアケル也立田姫トハ染張ノ事デモ中々立田姫ノニシキソメ出ス様ニ立田姫ト云テモツキナヒニ非ズツキアル也立田姫ハ秋ヲ主トル神也紅葉ヲソメル也織ヌフ事モ七タニヲトルマイ也其

方モ一立田姫七タハゲイノウノ方モ具足シタ也ウルサクハ前ト違ホムル事也イト一フビント思様ニナル也是迄九段也中将一イヒハ◇(廿一丁ウ)ヤシ給ふ是迄十段也頭ノ中将ノ被仰ハ其七タノ断ヌフ様ナ器用ナ処ニアヤカル事ハイソガヌ事也七タノ契ハ幾万劫(一)モ尽ヌ者也七タノ断ヌフ様ニナクトモ七タノ契ノ通ニアヤカラシタイト脇ヨリ云也此デタチヌフハ女ヲ指シテ云也ソノ様ナ女ニハ似タ者アルマイ也シクモノハ如ク也又其如クナル者ハアラジ也ハカナキ一此セ間ニアル花咲ハ紅葉カウヤウ

△サテ又一(二十一丁ウ左端)
扱又カラ◇(廿四丁ウ)カタクナ、ル名ヲモタテツベキモノ也トイマシム迄十一段也扱又トアルハ初メニ彼指喰ノ女ノ物語シテソフ有テ一種ノ物語故サテ也又ハコトヲ隔ル詞也別ノ事故也人モ一スゼウマサリ其人ノ生レ付モ風流ナト見ユ心バセユヘアリト云ガ毎々出ル口付ニクイ也万葉ニ風流ト書ユヘトヨム是ラ面白也ミエヌベクハマコトニミルニ非ズソフミル人モアラウ也誰ミ

【一〇五オ】

スルハト云天地ノ造化モオリフシノコトニヨリ春寒氣スレバ花ヲソク花ソフト付紅葉モ年ニヨリウスイ造化サヘ思ウ様ニナヒ也ハカナヒソフ化デサヘ出来不出来アレバ置ツユモ置バヘセヌ也天地ノ造化サヘソレナレバセ間モ思様ニアリ難也具足シタ女ハアリニクイ也イヒ一云興ジラレル也

《十一月七日》

△サテ又一(二十一丁ウ左端)

扱又カラ◇(廿四丁ウ)カタクナ、ル名ヲモタテツベキモノ也トイマシム迄十一段也扱又トアルハ初メニ彼指喰ノ女ノ物語シテソフ有テ一種ノ物語故サテ也又ハコトヲ隔ル詞也別ノ事故也人モ一スゼウマサリ其人ノ生レ付モ風流ナト見ユ心バセユヘアリト云ガ毎々出ル口付ニクイ也万葉ニ風流ト書ユヘトヨム是ラ面白也ミエヌベクハマコトニミルニ非ズソフミル人モアラウ也誰ミ

テモユヘアルト俗ニモ云様也打一哥ナド

【一〇五ウ】

ツイヨム也打ニ心ナヒ也ツイヨムニモモノ書ニモ筆バヤニカク也カイニモ心ナヒ也ツイチヨトヒクコトノツマヲト也手ツキト云ハ琴ナドニカ、リ口付ト云ハウタニカ、ル様ナ者也タド、シハタドルキミ也アブナフナヒ也ミキ、コトヒキ哥ヨムナド見聞ワタルワタルハ年月ワタル也ミルメモ、容儀モコトナヒハ事無也ホメル也哥合(ウタアハセ)ナドノ詞ニモ事ナクシテ宜キトハナンノ難ナク宜キ也ヤウギモナンノナンナヒ也コノ、指喰ノ女ヲ本妻トシテ置テ此女ヲ時々(、)カクロヘハカクシロイ也ユビ喰ノ女ニカクシテ通也コヨナク、其時分ハカクシテ折々通故心コス事ナク面白思也風流ナ女故甚心トマル也此人、指喰ノ女死シテハ死シテモノセン方ナヒ也アハレ、去者ハ日ニウトシ也ナンノカイナヒ也シバ、ハタビ、也指喰ハ死スル外ニシツトスル者ナヒ外ニ行処ナ(ク)ナル故也ヒタモノマイリミル内(ウチ)ニハシセンニ生付ノスキ心面へ見シル故イヤニナル也風

【一〇六オ】

流メキヒランヤラ覺事也女ノ色コノマシイ体(テイ)也ソレカラ打頼ミ指喰ノカハリニ本妻ニトハ思ヌ也カレ、ソレカラサイ、ユカヌ様ニナルナリ忍、マヘカドノ様ニ馬ノ頭ユカヌ故アチニ忍、ニ心通ズル夫出来也ラシデラシハ(半)、疑也少シ疑也ソフデアラント思程ノ事也(伊勢物語)夜ノミモアラザリケラシモウス、疑詞也神無月、比シモ十月比デ面白夜也禁裏ヲ退出スル也アル、タレニモセヨ馬ノ頭同ハイノ人也此車、馬ノ頭ノツテカヘル車也車ハ大ナル者デ五人モ三人モ相ノル者也此大納言ハシレニクケレドモ先馬ノ頭ノヲヤトミテラク事也ソレヨカラシテテナシニ大納言ノ家ト

云バヲヤラシイ也此今同道シテシ上人云也コヨヒ、コヨヒ空ヤク束シテワレマツ人アルマツラント思ハ怪シク心苦シイ也内ヨリ出大納言ノ家へ行ミチニソノ女アル也ハタハ助字也ヨギヌ、ヨケラレヌ路也カノ車カラ見ヤレバアルタル、ミエル也古来ノヨミハ

【一〇六ウ】

池ノ水カゲトヨム牡丹花ナドソレ也水カゲト云面白詞ト也哥ノ詞ニ非也折節ニ宇治十帖(、)ニ水カゲトアレドモ打ムケヨマレヌ也水カゲハナンゾ相手ナケレバ云レヌ也月ヲウケ云也カゲトヤドルト重複ニナル也水カゲヲミベキ月キヨフトアレバ重複ニナラヌ也カゲト云ヤドルト云バ上(ウヘ)デ水カゲハアシイ也月ノ事ニシテハ重複也ソレ故池ノ水ニカゲ見エテ也水ガチラリト見エル也月、水カゲミエテソレ二月ガヤドル也スギンモ、サスガブ風流也オリ、是ハ元ヨリ馬ノ頭ノ心カハシタ処也天上人ガコヨヒ人マツラン、心クルシキト云バソコヘヨル心ナケレドモサスガニ也一旦先へ行アトヘモドルテニハ也ヨラヌハズナレドモ月面白故ヨル也車ヨリ兩人オリル也モトヨリ、ハ抄ニ云上人ト女ト心通ソフナトイヘドモソレニ及タマヘニコヨヒ人マツラント云ハ一旦心通ノ故ニ心通シテト云也コレハソレニ非スコン夜カウト云約束ウス、シタソウ也此男、スゞロギハソゞロギテ也ソ、ロ立様也ヰツキ立様也(〇二十二丁ウ水ハ水ト句ヲ切ヤ曰然リ水カゲトヨム説昔アリタレドモアシイ也逍遙院殿時分ヨリ此コトワカル、也牡丹花ガ水カケトヨミタ也何分ミナレキ、也) (〇侍ヌカシノカシハ如何曰心ナシ処ニヨリ願ノ心アルトヘカシナドノカシソレ也コンナ処ノカシハ皆心ナキ也)

【一〇七オ】

門一内へ入門カラマナヒ廊下也スノコトハ竹エンノ事也宇治拾遺ニウシロノ
 エンニカヅマリキタリサテマイリタリ南ノスノコニサムラウ也初二エント云
 テ主人キタカト云バ後ニスノコニサムラウ也トアル竹エンノ事也トバカリハ
 チツトノマト云事也菊一此ハ十月カミナ月故菊モ末ニナルウツラフハ菊ハ冬
 ニ至ハ霜マケシテ白菊ハ四方ムラサキニナルキ菊モソレ也ソレ一サカリアル
 者也ウツロフト云ハ色ヘンズル也菊ハ其通ニウツロヒ色アザヤカ二月ニ映シ
 テミエルキホヘルハ争キミ也哀一天上人面白ガルハヅ也我心ニモアハレニ思
 也馬ノ頭心立フリスレドモ景氣ハナル程アハレニ思也フトコロナリケル笛一
 天上人ガフトコロニ持フヘ吹也カゲモ一サイバラノアスカイノ哥也飛鳥井ニ
 ヤドリハスヘシカゲ云ヨシミモヒモ寒シミマクサモヨシト云催馬楽(サイバ
 ラ)ノ哥アルソレヲアスカ井ニヤドリハスベシト云ニカ、リコン夜コヨヒヤ
 ドラント也影(カゲ)モヨシデヤドリ

〈○卅三丁ヲトバカリト云トノ心如何曰チヨトノコトシバシノコト也心ハシ
 レヌ也先ニトモズレバト云コトアルソレハヤ、トモズレバト云コト也〉

〈○梁塵秘抄トテアリ抄アル者也是ヲ註シタ梁塵愚按抄ト云アリ一條ノ禪閣
 ノ作也異按トアル也二冊五十張程アリ〉

〈○ミモモトハ如何曰水モ氷(ヒ)モ也ヒハ氷リ也〉

〈○抄ノ万里(マデ)ト濁ヤ曰ニゴル也今ハソソナ井ドナヒ也多ブソ今ヤシ
 キノウラニナリテアラン〉

【一〇七ウ】

ハスベシヲ舍也ツゞシリハツゞクル也ツゞ合スヲツゞルト云也キレノ、ニウ
 タウ也ヨクナル和ゴムトハ和ゴムニ能鳴調(ノウメイデウ)ト云アリヨクナ

ルシラベト云アル故トイヘドモ先ヨクナル也底ニハ能鳴調(、)ヲ含ナラン

シラベ一シラメトヨム也下地カラ調子モアハストミユクニリチノトアル
 律(リツ)ノシラベニシテアル也笛ニウルハシウ引合モ中々アヤシウハルウ
 ナイ也リチノシラヘハ一律ノ調べハ秋ノシラベ也催馬楽ニ呂律ワケタル也呂
 ハ春律ハ秋冬トシテアルカラデハ十二律ハ六律六呂也律ハ陽月也呂ガ陰ノ月
 也陽ガ律也日本ハ律ヲ陰ニ用也ドウシタ事ヤラシラレヌ也律ハ陰也秋冬也女
 モ陰也モノ和二静ニシラブル也スノ一スハミス也スダレノウチヨリ也今一此
 今メクト云ガ律ハ秋ノ調子同ジ陰分ノ調子故今メクト云一説ハ和琴(ワゴン)
 ハ二本ノ樂器也カラハフルイ也二本ハ今メク也コレヨイ也律ノシラベヲ今メ
 クト云テハ先デソウノコトハ一又今メカシクト云ニ指合也ハ和琴二本デ

〈○和琴ハ上手ノアル者ソウ也ムツカシイ者ソウ也神代ニハスガナリ弓六故
 イトモ六也今ノモヤハリ弓ノツルノ様也ネクバンノト高也〉

〈○卅三丁ウオリツキナカラズハソノ折ニツキナカラズヤ曰ソノオリ時節ニ
 ツキガナヒニ非ト也〉

【一〇八オ】

出来故トミテヨサソウ也和琴ハ日本デスル故事記ニ伊弉諾(イザナギ)伊弉
 (イザナ)冊(ミノ)尊ノジブンニ出来ト見ユサイ初ハスゲノオデヒクト也
 コト引テスガ、キト云也其後ハ弓六張也イトハ六筋也弓(ユミ)六張デシタ
 トミユ鴨ノ長明ノ無名抄ニ古イモノミレバ和琴ノ料(リヤウ)弓六張トアル
 ト云事見出ストアルスレバ弓デシタ也十月故アマリ寒フナヒ也ヨリナヒニ非
 ズ時節ソウ也トコ一初メニヲトコイタクスバロキテトアリコ、ニ男イタ
 クメデトアルヒヤウシニノル也初メニ門(カド)近キラウノスノコダツモ

ノニシリカケテトアリ後ニスノモトニアユミキテト云後ニミスノモトへ行也
庭ノ一庭ノ紅葉ミチノル也フミ分タアトナヒ也ねタマスハコヨイノ様ナ月
キヨイウルハシイニ夫其方ヘクベキ也我ハ其方思故ニクルト腹立サス也聞テ
天上人モ通フ男アルトウスノ知ル也アチラネタマシウ此方云コトネタマス
也天上人面白クウツロウ菊ヲルハ風流也「琴ノネモ」和琴

〔一〇八ウ〕
ノコトヲコト、云也ヤマトゴト故也コヨイハ月キヨイ也和琴上手故面白也エ
ナラヌハモノホメルコト也或ハイヒシラレモホメル事也エナラヌモ拵ヘラレ
又也ドウシテミテモナラン也云シラヌモ云ヲミテモ云シラレヌ也同事也ツレ
ナキカネテ心カハシテ人ノコヨイノ様ナ夜コヌハツレナイ也人カソウシタ
人デモ上手デモヒキトゞメンヤ我ナレバヨソクレトネタマヌ心也ワロカシメ
リトト云ハ哥アマシ出来ズト卑下ノ詞也今一聲ト句切也所望スル心也コヨイ
我兼兼ル夜ヒケバ各別聞人アル時ハ面白手ノコサズトヒケ也イタフジヤレ
カ、ル也女ヤウダイツクロウ也女ノ生レツキ好色ナヤウダイツクロウ女
也「木枯ニ」此女先コトノ上手也又哥ガ上手也天上人ガコヨヒノ様ナ夜ニコ
ヌハエ引トゞメヌヤト云ヲヤハリ天上人ニシテヨム也風モ吹笛モフク故似合
ス也コトノハト云ニ和ゴンヲヨミ入也左様ニ吹合ス天上人ヲエ引止ヌ也其方
ノ笛ハ上手此方ノコトハ無調法故エ引トゞメヌト也馬ノ頭イヨノ立腹スル

〔一〇九オ〕
ノ座鳳足延足絃門絃ノ納ノ名所アリ其名ハ誰モ知ヌヘシ又別ニ岩越トイフ
名所アリ是ハ柱（チ）ノ絃ノ上ヲイフ上東門院ニテ紫式部ノ付ラレシ名也又
左ノ手イトヲ磯邊トイヒ搔所ヲ渚（ナギサ）トイフヨシ楽道ノ故実ヲ書タ
ル抄ニ見エタリ和名抄云也江談二名イロノアリ

〔一〇九オ〕

ヲモシラズ又其時分ニ和琴ヲヒク馬ノ頭立腹モシラズ又也ソウノコトハ
今日アルコト是也倭琴（ヤマトゴト）ハワゴン也瑟ハ二十五絃或ハ五十絃琴
ハ七ケン也二本ニハ皆ナヒ也今ハ箏（サウ）也古ハキンモアル歟二十五絃ハ
猶ナヒ也バンシキ調ハ十月ノ調子也前ノハ十月ノ事ナレバ秋ノ残アル故律ノ
シラベ平声也平声ハ秋也コノデハ十月ノ調子ニシラブル五音ハ冬十二律ニ
弗（ワケ）十月ノ時ニ當ル也今ハ十月ノ事故也和ゴンヲ今メクト云ハ日本
ノガツ器故云トセネバ合ニクイ也カドノシク一カドアリテ上手ラシクヒク
也マバユキアマレケイジマンズル故チトカ、ヤク也マバユイ也タバ本妻
トナシニ時々通テ打カタラウ当分ノナグサミ者ニスルキン中デアレコレトツ
キ合アソビジャレテモソレハ風流ニムク面白也ソレハソノ通ニミル故コチモ
大様ナキデミル故ソレハソレデヨイ也本妻ト云テハソレデハアシイ也オカシ
ハ面白也時々馬ノ頭通テモサルハ本妻ニシテ一生ワスレヌ住

〔一〇九ウ〕
ノコトヲコト、云也ヤマトゴト故也コヨイハ月キヨイ也和琴上手故面白也エ
ナラヌハモノホメルコト也或ハイヒシラレモホメル事也エナラヌモ拵ヘラレ
又也ドウシテミテモナラン也云シラヌモ云ヲミテモ云シラレヌ也同事也ツレ
ナキカネテ心カハシテ人ノコヨイノ様ナ夜コヌハツレナイ也人カソウシタ
人デモ上手デモヒキトゞメンヤ我ナレバヨソクレトネタマヌ心也ワロカシメ
リトト云ハ哥アマシ出来ズト卑下ノ詞也今一聲ト句切也所望スル心也コヨイ
我兼兼ル夜ヒケバ各別聞人アル時ハ面白手ノコサズトヒケ也イタフジヤレ
カ、ル也女ヤウダイツクロウ也女ノ生レツキ好色ナヤウダイツクロウ女
也「木枯ニ」此女先コトノ上手也又哥ガ上手也天上人ガコヨヒノ様ナ夜ニコ
ヌハエ引トゞメヌヤト云ヲヤハリ天上人ニシテヨム也風モ吹笛モフク故似合
ス也コトノハト云ニ和ゴンヲヨミ入也左様ニ吹合ス天上人ヲエ引止ヌ也其方
ノ笛ハ上手此方ノコトハ無調法故エ引トゞメヌト也馬ノ頭イヨノ立腹スル

〔一〇九エ〕
処ニスルハ頼モシゲナヒ也外ニ心多故アマレ出スギルガイ自満スル故也其夜
ノ其夜ノ事ヲ云立ニシテソレカラタレソレニ心通スソフナト云（イフ）ソ

レカコツケル也此二ノ一ツノコトハ指喰ノ女ノ実テイナト此女ノアハ／＼シイト也若キ時ノ一嫉妬スレドモ此木枯（コカラシ）ノ女トサゲクラベミテハ若イ時ノ心ニサヘ思也此女ノ様ニデスギルハ合点ユカヌ女ト思也今ヨリ一若時サヘソレ也今ヨリ後ハ猶実テイナルヲト思ベキ也御心一ミ心ノマヽニハ源氏ガ頭ノ中将ニ對シテ各様ノオラバ一モラウ從ヒ易キ女也ヒロハバ一サハレバトケル者也カル／＼シヒ心ノ從ヒ易女也エンハヤサシヒ也アヘカナルハヒハズナモノ和也今一今ハソフ思召也今ハ左様ニ思召トモ也七一此七年ト云ニ馬ノ頭ハ源氏ニ七歳バカリノ兄デモアルヤト也櫛樟七年トテ一切ノ者七年シタニハカドミエ成木スルハセイ木スル故トイヘドモ是ハサラリト見テ今五六年セバシラントミテヨカラシナニカシカ一私ガ一踐者ノヲ諫

（○卅四丁ウマカリ如何曰マカルハ公ヨリ食ニマカルト云退コトナレドモユクコトモマカルト云マカリ出ト云モノヘマカリテト云モ弘ハユク事ヲ云也モドル事モマカルト云也コヽハユク事絶タ也）

【一一〇オ】

申也スキハ好色也タハメルハタハミ易人次第ニナル女也其様ナモノズキスル女ニハ必心ヲカレ御用心セヨ也アヤマチハ外ニ夫デモ拵ヘ左様ニアレハ下地ノ男ニ頑愚ノ名ヲ立サス也イマシム是迄十一段也中将一前ニ中将ウナヅクトアルソレニ對シテ例ノ也頭ノ中将ナル程尤ジヤ其方云通色コノミノアハ／＼シイハ相ミン人ノ名モ立ント也君一源氏少カタエミトハ思召ドモ御挨拶ムツカシサニカタエミテアル也サル一ソフトハ思召也イツ方一ドチラヘ云テミテモ人ノ事ニ當也一座ノ人ニモアタルキミワルイ事也ウチ一ボヤリトシテゴザル也オハサウスハヲハシマス也ソウズハ詞ノベルブンノ事也コレ迄十二段也中将一是カラ十三段也是カラ頭ノ中将ノ身上モノ語也イト一前カド忍デ

アフ也是ハ去年ノ事ニ當也サテモ一ソノ通デモマミエテヲラント思気色ノ女也ナカラウヘキ一ナガラヘ末トゲ本妻トモ思ヌ也ナレユクマヽニ一ソウ思召シテナレテアル中ニ

（○ヲハサウズハヲハスヲ詞ヲノベタ也）

【一一〇ウ】

フビンゲツク也是ニ顛倒アルハイト忍テミソメタリシ人ノサテモミツベカリシケハヒ□リシカハナカラウベキモノトシモ思玉ヘザリシカドハイト忍テミソメタリシ人ノナカラウベキモノトシモ思玉ヘザリシカドサテモミツベカリシケハヒナリシカハト隔句テンドウ也三句入レ違也タエ／＼一タエタリタエナンダリイタリイカナナダリ也サバカリ一此方カラナレユクマヽニソレ程ニナレバ女モ頼ム様ニナツタ也頼ムニツケテ一頼ムニツケテハ此方ソレ程親切ニセヌ故ニ也此ニ引哥アラウ事也見エヌ也拾遺ニ「思スハツレナキコトモツラカラジ頼メバ人ヲウラミツル哉此方カラ先ヲ思スバ先方ノツレナヒモナレトモ思マイ也此方カラ頼ム故ウラ◇（メ）シイ也ソレ故コヽニ頼一也ウラメシト思フハ女ガ思也心ナガラ一ハ此方ノ心ニモソフ思也此方トダエシテアル故ソウウラミント思也ミシラヌ一此方ニソフ思ドモアノ方ニハ怨ナヒ様ニシテアル也頭ノ中将久トダエシテアルモカクノ如ニタマサカニクル

【一一一オ】

人トモ思ヒテアラズ也此デ句切テハ聞エヌ也先ヘツゞケル也思ヒタラズタバ朝タニモテツケタランアリサマニ見エテト此デ句切也インダアトデ其人ノ事評判（バン）シテミル也朝夕ニ頭ノ中将ノコザル様ニシテアル也心一ソレカラ頭ノ中将ノヲ心ニイカニシテモナントモイタハシイト思召也此方ニトダエスレドモ朝夕アル様ニアイシラウ故ニ也ソレカラヲコリ頭ノ中将ノソコ

心キミハルイ故ドシ心ヲコシテニゲカクレンカト思故タノメハ約束也先カラ頼ミニサス事也オヤモ一是ハ先デ出ル夕顔也後ニ源氏ノ思ヒ者ニナル也夕顔ノヲヤ三位ノ中将死ナレタ故頼ミニナヒ故頭ノ中将ヲ此人コソ頼マントコトノツケ万事ニツケ思モカハイラシイ也ヤウ一カ様ニ女ノ心ノトヤカニ愁イハヌ故ヲダヤカ也コノミ給ふる一ト云ハ頭ノ中将ノ本妻前ノ弘(コ)キ殿ノ妹也右大臣ノ四(シ)ノ宮也ワタリハアタリ也ナサケナクハブ風流也◇(ガイナイ也)ウタテハ甚事

【一一一ウ】

云ヤル也其方頭ノ中将コザルゲナソフアレバ殺ント威勢ニ任テ云也サル一ソフアルベイ便宜アツテソレニツケ本妻ヨリ云ヤル也カスメ一ウスノ云也ソコニテヨレハ其方ノ為ニヨフアルマイルト云也後一夕顔インデ後聞也先立テ聞バソウスマイニ也サル一頭ノ中将ソウシタウイ心アルトモシラズ心ニハ夕顔事忘ニ非ズシテ状モヤラズ人モヤラズ久トダエテアル也ムゲニ一キツウ思ヒシヨレルハ本妻ヨリナサケナキコト云ヲクル故心細也ドウシテナン出来(デキン)ト心細也ソレヲ云ヌ性故心一デ思也オサナキ一玉カヅラノ内侍ト云子アル也思ヒ一夕顔ノ思ヒ煩テ撫子ノ花一其時節ニ撫子ノ花折頭ノ中将ノ方ヘヲコストテ未エ云ズカナシム也此ニ隔句アルムゲニ思ヒシホレテ心ボソカリケレバオサナキモノナドモアリシニトハツミカヌ也心細カリケレバ思ヒ煩テオサナキモノナドモアリシニ也オサナキ者ニ撫子ノ縁アル此オサナキ者ヲ云ハン為ニ撫子ヲ

【一一二オ】

ヲコス也サテソノソコデ頭ノ中将ノ涙グム故ヒトシホ面白事アラント思テ源氏ノトウ也イサヤトハイヤカハル事モナヒ也「山ガツノ一夕顔カラ頭ノ中

将ヘクル哥也初二思ヒ煩テハ本妻ノ方カラヲソロシヒ事ヲ云来頭ノ中将ノクレバソシナ事モ談合セント思ニトダエシテコヌ故ニ撫子ノ花ヲコシテヨム也山ガツハイヤシヒ者也夕顔ノ卑下シテ云也カキホ一人ノアク事ヲアラスト云也久ヲ出ナヒババアキ成久ナラン私ハアクトモ撫子ハヲ子也子(コ)ノ字ニナデサスルコ也草ノ名ヲカツテ哀ハカケヨ一露也思ヒ出アノ方カラ哥クル故ソレデ思ヒ出シタ也例一又例如クウラモナクアイシライ本妻ノ方カラソフ云来トモ云ヌ也心細フ和ナ性也ト云ドモ物思アル故ニドコトモナフアル也必アレタニモ非ズアレタル一虫□衆ル家ノケシキ也虫一虫ガナキシ此時分ハ秋故ノコト也虫ノネノ大分鳴其虫ノネニソフヲフスル程ニ涙コボレル也大分ノ虫ノ

【一一二ウ】

ナクニツリ合張合程ニ涙コボル、也キヲフハ争也昔一ヲサシテウツボノ俊蔭ガ女ノコトト云ハ入ラヌ事也ナニモセヨ昔物語トシテヲク也「咲マジル一此返哥ハアチヘイテシタ返哥也コチヘ状クレドモ返哥ハ夕顔ノモトヘイテスル也秋ノ事也トコ夏ハ夏カラ秋アル虫ト云バ先秋也桔梗モアリ女郎花モアリ萩モアルト云様也猶一床夏ニマサル者ハ無ト也床夏ト云ニヨリ女ノ事云也トコト云ニヨリ女ノ縁アル也大和一トハヲ子ノ事也玉カヅラノ事ヲノケテヲキノ事ハヲキ先チリヲダニスエジトゾ思フテ親ノ心トル也古今ニ「チリヲダニスヘジトゾ思フ咲シヨリイモト我ヌルトコ夏ノ花トアル也此事也床ハチリノタマル者也スヘジハチリヲクマイ也トコ夏ノ縁ニツケ其トコナツノ辺ニチリモヲクマヒト思也トコ夏ヲ我妻ジヤト思テネル也イモト我ト一処ニネルト云ハアシイ也古今(キン)ノ説ソフデナヒ也床ハ女ノ縁アル故我

【一一三才】

妻ニシテネルノ心古今ノ心也女メノ心ヲノケヲキ親ノ心ヲトル機嫌ヲ取也トウヤラモノ思ヒノテイ故也「打」夕顔ノ再返哥ニ時節秋故ソデヲ以払フ露シゲイ也此嵐ハ平生サヘ涙ナガスニ物思ヒスルニ御本妻ノ方カラヲソロシイ事云来ヲ詞ニ云又也頭ノ中将ノ心ヅカヌ也秋クル故秋クルトヨムトバカリ思也ハカナゲニコレラハ怨アルナレバ也本妻カラ云来ヲソロシイ事也サレトモ私ハ此ニエヲラヌトモ云又也秋モキニケリト哥ニハイヘドモナントモ云又也マメ／＼シンジツニキテクレヌトハ云又也マメ／＼シフハジツラシウ也涙ハ左様ニウチニキツト物思ヒアル故ナンボカクサントシテモ涙落也ソレサヘ涙落(ヲツ)ルト思ソレカトテ包マシクカクス也ツラキヲモ頭ノ中将ノトダエヲツライト頭ノ中将ニ思ハルサヘクルシイ也ソレサヘ夕顔ノ心ニクルシク思也心ヤスク又ナンノ事モナヒト思也ソレカラ又ユカヌ也アトモナク

【一一三ウ】

ドコヘイタカラカキケス様ニウセタ也ウセニシカトスムベキ也濁ハアシイ也カハ哉也マターマダイキテウキヨノナカニヲラバカツテムキナン義セント也サスラウハ流牢(ルラウ)也アハレト此方ニフビンヤト思故アハレト思故ニ煩(ウ)ズラハシケニナンギスルキノ毒ナト恨ルコトアラババカクノ如クユクエナクアコガラサスマイニ也アコガラハ意思事云也アニ心ナヒ也惟コガル、也恋ニコガル思ヒニコガル也火也ヒハ火也心尽シユガレルト云詞アル也コヨナキソフアラハ此様ニ久トダエセズサル本妻ニコソスマイジ一方ノヲヘヤト云様ニモシテ置義久マミエンニ也カノ玉カヅラノ内侍カハイラシイドウズ也今去年ノ秋カラナレドモ今ニエ聞ツケヌ也コレコソカノ前カド馬ノ頭ノエンニモノハヂシテ恨イフベキ事ヲモ見シラヌサマニ忍ヒテト

アル此女コソ馬ノ頭云ハカナヒ女也ツレナクテ女ガ不変(フ)ナ顔ヲシテナンノ怨モナヒ様ナ顔ガツレ

【一一四才】

ナイ也女ノカホへ出サズ此方怨ル様ニナヒ也此方ニハ嫉妬ニ不便(フビン)ニ思也片思同前ノ事也今此方ハ男ノ事故忘ル時分也カレハエ(思ヒ)忘レマイ也オリ／＼人ノサセヌ意思ヒ也我心カラスル事也是モ古今ニイキウシト云テ今カエリコト云詞也コノコガルモ物思ヒノフカヒ事也コレナンコレラガ行未久フ有テヲラレヌ女デアハ／＼シイ女故ドコゾデハ人ニダマサレ従フベキ女ゾ也

《廿七丁ウ 十一月十一日會》

△サレバ

此サレバカノサガナ物ヨリ十四段也(廿八丁ウ)式部方処ニゾ是ヨリ十五段也(廿八丁ウ)マダ文章ノ生是ヨリ十六段也サレバ是ヨリソウ／＼ヲ引クルメ三人ヲ引クルメ指喰木枯夕顔三人引クルメ馬ノ頭ノ評番也サレバハソウアレバ也口承テ其様二段々ヨイ処アレバワルイ処アリハルイ処アレバヨイ処アルサレバ也カノサガナ物ハ指喰シツトブカヒ女ニシテハサ

《○エタモツマシクトアルヲマジフトヨムヤ曰クモフモ苦カラズ此ラハフトヨム方ニテヨシ》

【一一四ウ】

ガナヒ也マメ／＼シウウシロミ夫ニソムカヌハ思出アルナレドモ指当ヲゼウジウソレヲミンニハ煩フ嫉妬シユ六ケ敷コトヲ云也ヨウセズハトハハルウセバアキトウナラン是モサガナイトガアル也コトノネカノ木枯ノ女ノ琴上手

手書事哥ヨム事上手也コトノネノト入レル異本付シテアルソレデハヨク聞エ
ルコトノネ進ミ上手デアツタト云ノナレドモ定家ノ本ニナヒ故ノケル也先コ
トノネウルハシク一カドアル也スギタル一是ハ色コノミデカレコレノ夫ニ心
通スツミアル也スキタルハ好色也此一是ハ頭ノ中将ノ物語ノ夕顔也何ヲ思カ
ラ心モトナヒ一ツ也又アマレヨハ／＼シク和ナ故ツイ思ハン方ニナビカンカ
ソレ故疑ヌ也イツレト一三人トモニスグレタ処アレドモ各キズアル故ナリヌ
ルコソト句ヲ切テステル世中一此世中ハヒロイ也ドノ女ミテモ取／＼ニキズ
アツテクラベグルシイ也是モ古イ哥アル拾遺ニアル忘也此一此三人ノヨイ処
スグリ具足スル也グシハ見ル也是ガハルイト云

（○アリナシヤノヤハ疑歎曰心ナヒ也）

（○拾遺何レノブニアルヤ曰恋ノブ也此へアフ歎合ヌ歎忘レタリ哥シレタレ
バシレルナリ）

（○ハヒハ付字歎曰付字也）

【一一五才】

テヨイ処バカリソロへ具セバ也物カゾヘルヲ一クサニクサ●●（ト云）是モ
カウシタ処ヨイアシイト難ズル也ソウシタ人ドコニアラン也吉祥天女ハタイ
シヤクノ女（メ）トアル端巖（ゴン）美廉也思ヒカケバ仏法クサクアラン
也吉祥天女ノ法行ハ身ニ淨衣（ジヤウエ）カケ淨室ニナルト云故也夫婦ノ事
ナレバヨビヒボトク事ナレバソレモキノ毒ナラン也ハ俳諧ニ云ナリ是ヨリ
十五段也式部一式部ハ藤（フヂ）式部也皆名云トモ式部未タ云又故也少ツ、
カタレ也何ゾヨフダイナ事アラント也下ガ一是ガ式部ガ返答也初ハ頭ノ中将
ガ云也下ガ下ノ一是ハ九品（クボン）デ云也上品（）ノ上品カラ下品ノ下
品也下ガ下ハハルイ事也ナンゼフナニ程ノ事アラン也ナデウコトモ処ニヨリ

違ドモコ、ハナニ程ノ事アラント云事也頭ノ中将ノマガホ立也云テモ云又故
マガホニナリヲソシトセムル也ナニコトヲ一ソコデ式部迷惑スル也然ハ何事
（）ヲ以テコキゲントラント也是カラ十六段也

（○吉祥天女ノ法真言家ニアリ）

（○クスシハクスミト抄ニアリ如何曰クス／＼シイナリ抄ヨシ某師ノヨミナ
リ）

（○ナゼフモ処ニヨリナントハネ難ズル心ニ用コトアリ此ハナハ何歎曰何程
ノコトカアラン也伊物ニナセウコトナキ人ノ女メニ通ヒケリト云ナセウ両説
ナリ何ガ和デヨイ也）

（○トリ抄ト違如何曰キゲンニ非キゲントルノイレル也ナニヲ云一ザノ興ヲ
トラウゾ也）

（○大納言高故大ナ言カラ式部大夫兼官ナリ式部ハ何デモ儒官ナリ中ナ言カ
ラモ兼官スルナリ宰相テモ兼官スルナリ）

【一一五ウ】

マダ文章ノ生カラ◇（卅丁ウ）シヅ／＼ト申セハ是迄十六段也マダ一未タ式
部年若ニシテ文章生也今ハ式部ノ丞（）ニナリアル式部ハ皆儒官也式部大
夫ハ儒学ノ事司ル式部ノ大夫ハ大納言カラ兼官也儒者引マハス也文（モン）
章（）生ハ大学寮へ入り文章博士（モンシヤウハカセ）ニツキ学文スル廿
人アル学文章ノ上ニツキミガク也五経ノ中デモ易一部ミガキノレデ及第（）
セントシ三傳ヲミガイテソレヲ以アチノ召待テアル人二十人アル也式部年若
ニシテ文章生ニナル也長フ云バ文章得業（ガウ）生ト云官也其時分ニ才覺ア
ル女ノタメシヲ見タ也カノ一前カドニ馬ノ頭云ハ◇（十丁ウ）朝夕ノ出入ニ
ツケテモ公私ノ人ノタ、ズマキヨキアシキコトノメニモミ耳ニモトマルア

リサマヲウトキ人ニワザトウチマネバンヤハト云ソレヲ承カノ馬ノ頭ノ云ケ
ン公事ヲモ―世ニトハセ間ニ住スル心也相談シテカレニ思ヒメグラサス方
モ才知オクカラオク迄至テアリ

（○モンゼウノ生（セウ）ト云者廿人アルソレヲ式部ガ引マハシテアル者也）

（○此賢キ女ハモンゼウノ時デアル時ノ師匠ノ女也）

（○廿八丁ヲソレハアルハカセノ―ト云ソレハ式部歟曰ソレトハソノ女ハト
云コトナリ）

（○日スベテクチアカスベクナン―何事モ式部ニロヲアカセズ云シト云コト
ヤ曰コレハ式部ニカケテヨシセ間ハヒロイコトナリ）

（○ハカセ（／＼）トヨマズハカセ（一一）トヨムナリ）

（○アルハカセ―ハソノ物語スル女ハ私ノアルハカセノ本―ト云コトナリ式
部ガユク也此主シハ即師匠也）

【一一六才】

心ヨクツク也心至テキ付也ザヘハ才知也文学也ナマ／＼ノ―マダナマナリナ
ハカセ也ヤウ／＼昨日今日文章博士ニナルハナマ／＼ノハカセ也スベテ―
式部ガ文章得業生ノ時学文ノ事論シテミルニ中々クチ―也ソレハ―ソノ女ハ
アル文章得業生ノ時分アルハカセノモトヘ学文スルトテユク也主シノ方ニ女
メアルトキク也ハカセノモトニ女アルト聞也序ニフミヤル也ヤ―其ヤウス
ヲ親キ、テ盃―是ハ頭書ニモ出白氏文集ノ秦中ノ吟ニ主人―カウアリト云其
詩ノ心也富貴ナ人ノ女メハ嫁スルコト早也親ノ富貴鼻ニカケ夫ヲ輕ズル也又
貧家ノ女ハ我貧家ニコリル故婦テハナラヌト姑ニ孝スルソレヲ博士云テ聞ス
也我―二ツノ道ト云ガフウカ女トヒンカノ女トノ道理也哥ウトハ詩ガ本文故
詩ノ心デウタウト云也聞エゴチハコレ云聞エゴトスル也政ゴチスルカラ出ル

訓也ヲサ／＼―ト親父（ヲヤチ）云ドモ其

（○ハカナキハタバアハシイ也カリソメノト云コト也）

（○卅ハウ聞エゴチハ云ゴトヲシタト云コト也ゴチハ如（ゴト）シ也ゴチハ
云ニクイ也弁ニノセニクヒ也政ゴチハ政ゴトシ夜ゴチハ夜ゴトシコレモ弁ツ
ケニクヒナリ政ヲスルヲ政ゴチタマフト云ナリ政シ玉フノ心ナリ）

（○哥ヨミテ逢ハ哥垣ト云也後朝ノフミハ三日メノ朝歟毎朝三日ヤル也ユ
クモ三日ユカネハ先ニ承知セヌ也）

（○イトアハレハコチヨリアハレム也カハイフビンナト思類アチヨリスル也
思ヒウシロミハアチヨリナリ）

【一一六ウ】

様ニ心ニ叶ヌ故□ツ／＼ユカヌ也長事ナレドモ凡古ノ堂上方ノ人ノ女メ妻ニ
スルガ初ヨリヨビ入レズ中_上立ヲ以艶書（）遣スエンジヨハ二枚重ノウス
ヤウ也此之デモヨイ女アレバアソコ此カラ云入ル様ニフミ方々ヨリクルヲ親
見テタレソレハ官昇ケレドモ年若也出世セン是ハ官高ケレドモ年ヨルソレヨ
リ是ニ返事セヨト云ソレヨリ通初ル也ソレヲ哥垣ト云也三日ツヅケ通フ翌日
後朝ノフミヤル也三日目ノ晚親知タニシテ對面ス部屋ズミノ中ハシウトノ方
カラ衣セウナドシテヤリアノ方ニ部屋出来テアノ方デ養立也天子モソレ也撰
家ノ女デモ親王方ノ女デモ六位ノ藏人遣花鳥ノ使ト云也段々引出物アリ此
デオヤキ、付テハ對面ノ以後ノコト也初二ハカナキ常ニイヒヨリテ侍シハ親
出ル様ナレドモ返答シテ通テ後ノコト也ムコニ取後ノコト也ヲヤ云コト也カ
ノ―モノ習フ師匠故ヲヤノ方ノ心ニハバカリエンリヨスル故師匠ノエンアル
故イヤナレドモ

（○私考曰◇（廿八丁ヲ）頭ノ君ハ藏人ノ頭也君トハウヤマヒノ詞也但コ、ニイヘルハ頭ノ中将也猶頭中将ハ嵯峨天皇ノ弘仁元年ニハジメ玉ヒテ殿上ノ事ヲ掌ラシム公卿補任巨勢ノ野足ノ朝臣弘仁元年三月十日補藏人頭ニ于レ時左近衛中将正四位下）

（○同文章生トハ入學ノ學生ノ中器量アルヲ大学寮ニテ擬文章生ニ補シタルウヘニ式部省ニテ又試ラル詩賦ヲ能作り得タルヲ及第シテ文章生ニ補ス是ヲ進士トモ又ハ貢士トモ云或御前ニ於テ勅預テモテ試タマフ事モアリト也職員令ノ集解天平二年三月廿七日格云文章生二十人簡取雜任及白丁聰慧不レ須限二年多少也延喜式部省式曰凡擬文章生者春秋二仲日試之試畢晚文章博士及儒士二三人省共判定其等第奏聞即補之）

【一一七才】

エステヌ也カ、ツラヒハカ、ツテアル也イト―女ガ元ヨリ學者ノ女メ也ノシモ學者故ニ男ノ事ヲ衣セウノ事デモウシロミ學文モ進也ネサメ―ネサメノモノ語モ式部ノ學文勸事云也天子ヘハカウ事ヘヨトヲシヘル也イト―チヨツト見舞ノ状ヲコスモカナト云者マゼスモジガチニ書也是モセウソコ文ニモイトキヨゲニカンナト云モノト打返シテ聞也ムベク―尤シフ文筆カク也自―師匠ノテマヘソソジコノ女ニモノ習故自然ニエタエヌ也其―其女ヲ師匠ニシテワズカナル―ソフタイ詩ノ事ヲカナモノニハフミノト云是モ詩ノコト也詩ニ蜂腰体ト云テヨイ詩ノコト云コトアレドモ是ハ哥ヲコシヨレ哥ト云詩ニハホウヤウ体トテナカホソイヲ嫌トソレトイヘドモキウクツ也コシヨレ哥カラ出ル也哥カラ移ル詞トミテヨイ也今―式部ノ丞カ此官ニナレドモ今ニ其恩エ忘レヌ也ナツカシキ―

（○詩ノ蜂腰体ハ善惡トモニ云ヤ曰シラズ書テアルベシ）

（○私考引ニ考課令ニ試進士ニコトヲ委述タリ）

【一一七ウ】

恩ハ忘レネドモナツカシイモノ様ナ妻ト頼ンニハ也サイシノシハ付字也熟字故也兄ノ事モ兄弟ト云弟ノ事モ兄弟ト云様也ナツカシイ妻也學才ナヒ先ノ者笑ウ様ナ事云書テハ恥シウナルベキ也マイテ―マシテ也私ラフゼイサヘソレ也マシテイトイトシト五韻通也マシテ源氏ヤ頭ノ中将杯也ソソナ學モン立スルシタ、カハ丈夫ナキミ也ハカナシ―是ハ女ト云者ハ左様ニ學才ナフテモクルシウナイ也男ノ心ニハカナヒ口オシヒト思ドモカツハ付字也只我心ニツキハカナヒ女ジヤロオシヒ女ジヤト思ドモ過去ノインネンアレバ我心ニ付也侍ルメレバト句ヲ切也オノコ―ヲノコデサヘモ學者デナヒ者モ侍ルナレバ況女ハ入ラン也シモニカラアル也ヲノコサヘモナンノ才知ナヒ者アルニ況女ハト也此●ハカナシ―ミツ、モ二師説アレドモキコエニクイ也今云ハ抄ノ通ナリノコリヲ―カク學者バナシスル故アト云ハセントテサテノ面白風

（○無才ノ人ハ式部自云ヤ下ニ侍シトアレハ然ルヘキ敷下モヘノウツリ後ト聞エス如何曰カクモンナヒ者ハト云コト故世間ヘカ、リテ先吾事也）

（○スクセヒク方―メレバタゞ我心ニ―ツバクヤ曰然リ）

（○ナマワロヲナマワルトヨムヤ曰然リ）

（○廿九丁ウ我心ノ我男女ノ二説アル也師説ハ男子也男子ヨイ也此タゞ我心ニツキドチヘシテモ短也コレスミニクヒ処也）

【一一八才】

流ナト也心ハ―ダマシテ云ハサント云心ハエタ也得心也ハナノ―ノシモ笑タケレドモジツトコラヘハナノアタリオゴメキテカタル也サテソウシタ女ナル

ヲイト―久フブサタシテソノ近ヘユク序アル故云ヨル也常住ヲルヘヤニハラ
 ラヌ也心―ハ◇(少シ) 式部ガ腹立也彼ノマヘ行几帳ナトヘダテ直ニアハヌ也
 フウフノアイシライデナヒ故キゲンアシイ也フスブル―俗ニ云クスベル也久
 トタエスル故スネルト思テオコ―ハアホウラシイ事スルト思也知恵ナヒ事ヲ
 オコガマシト云也又―又コレハヨイシホジヤ是カラ引ントモ思也コノ―サカ
 シ人()ハコノ女ノ才知アル人也ハタハ助字也中々カル／＼シウシツトス
 ル人ニ非ス世ノ―是ハ用事デモアルカ公私ノ事ニ紛レコヌナラントシツトセ
 ヌ也声モ―クチバヤニ云也月―此月比一両月也フビヤウハ是モ風ノ病氣ト腹
 ノ病氣ト両説ナレドモハラヨイ也腹下ル也ゴクネチハ

〔一〇八ウ〕
 (○スカヒハスカスヤ訓如何曰人スカスト云ソレ也ダマスコト也太平記ニサ
 ガミ大房ヲスカス事ト云コトアル也又竹川ノ巻ニスカスト云コトアル也)

(○ワタリハアタリトヨムヤ曰ヨムハワタリ心ハアタリ也)

(○ラゴメクハ動メクヤ曰ウゴク也ウトヲトハ通也)

(○カツ見ツ、カツハ少シ也)

(○ヲノコシモ―ハ女ハ六ケ敷男ハナンノ子細ナヒ者ト云コト也)

【一一八ウ】

大熟菜ト云コト也サウヤクハサウヤクト云説アレドモニ、ク也ニ、クサウヤ
 クニ入事ナヒ也延喜式ノ草菜ノ下(シタ)ニ八十一種ノ草菜六十餘種ノ処ニ
 ニ、ク◇(ノコト)無也延喜式ノ内膳式ニ天子ヘ草()菜奉ルト云中ニア
 ルナノルイアゲル中ニヒルモマゼクアルゾウヤク也春ノ中四月ハアヲデ其俣
 アゲ五月ヨリ乾(ホ)シテアゲルコト也フ病故是ヲ用也ザウヤクト云元ザウ
 菜也真クサイ故エタイ面セヌ也マノアタリ―直ニヲメニカ、ラズトモソフア
 ルヘイナニナクトモ用事アラバ入用ノ初アラバ拵ヘント也イト―シン実ニム

ベ／＼シフ云也式部ケフサメルタバ―ナルホド承ヲク用事頼ント云テデルア
 マレ返事ミジカクコレハキゲンアシクサビ／＼シク思也足バヤニ式部ニゲル
 故大ニ云ネバ聞エヌ也コハ高二云也キ、―ソコテ立腹シタ様ニアルモキノ毒
 也シバシ―立ヤスラウテモクサイ故ニ―ゲニ―アチカラ此カタ云ユヘソノニ
 ホヒ花ヤカニバツト匂也シリメヲミ走り出也

〔一〇九ウ〕
 (○ヲコガマシノ訓如何曰シラス何分グチナコト也篤信ヲコノ註アリ忘レタ
 リ諺ノ草ト云モノニ俗語ノ註シテアリ)

【一一九ウ】

一〇サ、カニノ―是ハ彼ソトヲリ姫ノ「我セコガクベキヨヒ也サ、カニノ蜘蛛
 ノフルマヒカネテシルシモト云哥本ニシテヨム也サゾ我クルト云事ハ蜘蛛ノシ
 ルベデモタバカラシルベキ也シルキハイチジルキ也ヒルマ―ヒルト云ハニ、
 クノ事ヲヒルト云也ヒルマトハニ、クノ事ヲ晝祝ノヒルニカケル也我コンヤ
 クルト云ハシレタハヒルハスグセトハソレハ曲モナイ也アヤナサハアヤハモ
 ンノ事也ソレハ面白ナヒ紋モナヒ事也イカナル―是ハドウシタ事付デヨセマ
 イト云事ヤ也云モハタサズニケル也女―ワイカケテ也「逢コトノ―毎夜ゴサ
 リテ日々夜ヲ隔テ逢フナカナラバヒルマモ―是モ晝トヒルト両方ヘカケル
 也昼デモ恥ズルコト無ト云面也又ヒルタバテモソレナレバ恥カシクナケレド
 モタマ／＼クル故ハスガシイ也マバユイハハズカシイ也サスガニ―学者故カ
 タイ人ナレドモ哥ナト口トク早也シヅ／＼ハ静カニ也君―源氏ヤ頭ノ中将ア
 マリケウサメル事故ナブルト思也ソラ―

【一二〇ウ】

大ナ偽云ト笑也イヅコノノ聞エヌ也ニ也ニシテ見ル也オイラカハ静也静ニ思

ト向テアル様ナランソシナ女アルマイ也ムクハソロシイコト也蠹ト書ム
グメクトヨム春ハチツシテ虫動也動カヌ処ムゴ／＼スレバキミアシイ也ムグ
メクヨリ出訓也ヲソロシイ女也イハン云様モナヒフ届スルトシカル式部
ヨミハアハメトヨミ心ハハバミ也ソシナ事ナトハバム也少モチツトヨヒ事
アラバ云ヘト也コレヨリト被仰ドモ是ヨリヨイ事アル者カト云テ居ル也
モ下ルト云説アレドモ此物語ノバ立ベキニ非ズ云テ居(ヲル)也スベテ
オリヌ迄十七段也此スベテ男モ女モヨリ十八段也是カラカイ東テ馬ノ頭ノ評
番也スベテ引クルメ評番ニ馬ノ頭ガヲシナベテ男モ女モワル者ハトハ才知
少イ人也モノニヲトル者也ハヅカニ我知タ事云知タ自満也我知タト云コト人
ニシラセタイ也イトオシハ笑止ナ事也三史此三史五経カラ女ノコト也初ハ
男女ト云也コレカラ女也女トシテ三

〔一〇〕オイラカニハ抄ト違如何曰ジツトシテト云心也ソレ故抄ノマコトニト云
通也静ニ脇ヒラミズジツテイノキミ也横笛ノ卷ニタゞオイラカニ死ニ玉ヘト
云コトアリヒボウリンキシテ云コトアル也タゞ小言(コゴト)云ズト死(シ
ネ)ト云様也

〔一一〕ハバミハ如何曰心ハアワシテ也淡シイ也ヨミハアバメ也アワメハアハ
シイ也シツカリト心ニ入レヌ也者ガ念ガイラヌトシカルコト也

【一二〇オ】

ハ史記前漢後漢五経ハ元ヨリ五経也女子トシテソノ様ナ歴史ノ經書ノト云ヲ
明メアイギヤウノキヤウヲ抄ニ敬(ケイ)ノ字書テアルアシイ也敬ノ字入
ルコトニ非ズ形也俗ニ云アイソウナイ也アイノ形ナヒ也アイノ形アイソモコ
ソモナヒ也カアイラシイ事ナリ却コヅラニクカラン也ナトカハ女ト名付ルカ
ラハセ間ニアル事ノ公ケ私シ事ニ付テム下ニ也女ト名付ハネカラシラヌ事

アランヤトアトカラ入レテミル也ワザト三史五経ナライ学ネドモチト女デモ
カドアリ才知アレバ耳ニモセ間ノ事承合テチト才知アル女ハ耳ニモ目ニモ
トマル事アツテコウシヤツカンワザト学ネドモヨイ也サルマ、ニハハ三史
五経ヲ覚タマ、ニ也外ニ学文アルニソウシタカタイ事ナヒ女同士ニ也半十
ノ者六モ七モカタイ也字書(カ)ク也カキスクメタルハ云スクメルノ人ヲス
クメルノト云モンジズクメニスル也モトスクヤカカラ出ル訓也ソレヲミルニ
付ア、ナア此女

〔一三〕アイギヤウハ敬ノ字ハアシイ也形ノ字也アイノアル人相也相ト同事也ア
ノ人ハアイソウラシイト云ト同事也ケイノジハヨスギル女ウヤマフト云テハ
支コト(ヲ)イ也

〔一四〕女ト云ハンカラニナドカハアランヤト入レテミルヤ曰ナレト男ト云者ガ
ト云ニ対シテ云也ナント人ト生レテハト云キミ也女ヲアシクミテハコ、ハス
マヌ也

〔一五〕カシハ如何曰心ナシ

【一二〇ウ】

カウシタコトアラスバ也タヲヤカハ和ニタヲ／＼也心チ心ニハ一*筆トカ
ケドモ一筆トヨム心デ書ドモ自(ヲ)コチニヨムトハカハリ一*筆トヨ
ム也コト更各別ニ才知自満スル様デハキノドク也ジマンスルヤウニ見ユル也
コレハ是ハ上ロウニモ下ロウニモアルコト也哥一哥ヨミニ限ラズ一切ノ事
我ゲイ長トソノ長ゲイヲ面ニシテソレニマツハレソレヲ鼻ニカケンセ間ニア
ル事也出ルニモ哥引込ニモ哥也ヲカシキ風流面白故事古語ナドワザト取入也
故事モ趣向ノマワリニヨリ味ヨリ入テコソヨイ也初ヨリワザトソレヲヨマン
トハラミヲル也スサマシキトハコチライソガシク哥処々心ヨランニ似タコト

也物一モノノシイイヤラシイワルイ事也◇(カヘシ)返シセネバブ風流
 ニ見ユルセフト思バ急事アル是哥ニマツハル害也◇(エセサラン人ハ)元
 ヨリエセネバフソウ也ナシギセン也サルベキソフアルベイミセチエ也五
 月ノミセチエ也五月五日ニ早天ノセチエナレバ早く取也早くユキ人数アハセ
 タク思也ナノ五月ノコト故アヤメト云ドモ底ノ心ハアヤカ

〔○私考曰五月ノセチ本朝其始分明ナラス推古天皇十九年廿年共ニ五月五日
 ニ菜・獵ノコトアリ菖蒲ノ濫觴被成ケルヤ皇極天皇元年五月五日騎射ノ事始
 レリ云也〕

〔○同九日ノエントハ重陽ノ宴也嵯峨天皇ノ御宇ニ始ル天皇南殿ニ出御ナリ
 テ内弁外弁慶事ヲ弁備セラル文人博士召シテ各韻字ヲサグリ詩ヲ作文臺ノ
 上ニテ誦スル也三献アリテ氷魚ヲ玉フ云々〕

【二一〇】

ラメヤラワカラヌ也ニシキデ云バ鳥花ヲルハアヤ也ソノ間地也前後ワカラン
 ヲ五月ノコト故アヤメト書面白也エナラヌハアヤメ也アヤメハ根ヲ賞玩
 也長イ根ヲ引カケ也エナラヌハホメル也アヤメノヨイヲヨミカケル也ア
 ヤメハ引故ソレニヨリネト云ヲ哥也ヨミカケルヲ引カケルト云也九日ノエン
 ニ又九月ノ重陽ノエンニ也カミノ御酒宴也先哥処デハナヒ也此カタイハカ
 タイ和ノカタイニ非ズ詩ハ哥ヨリシニクヒ也ソノ詩ヲアンシテヲヌバ也イ
 ツモ重陽ハ禁裏ヘ行題被下詩作ナリソコヘ返哥サセントテ哥ヨミカケル也
 菊ノ露一是モエナラヌヲ引カケノ對(ツイ)也菊ノ露ヲカコチヨセタルハ
 菊ノ哥ヨミソレヲカコツケニシテ哥ヨミカケン也ツキナキコチラ急(イソ)
 ガシイ也哥ノ段デナヒ時節ノイトナミニサシ合シテ持(モテ)クル也サナラ
 テモト云ハソウシタバデナクトモアトデ見セタラバ也後ニ其哥ミレバアヤ

メノネモ菊ノ露モ

〔○正月朔ヨリ一日ノヲケモノニ配当スルハ如何日附會ナコト也知レヌ也〕

〔○正月元日七日十四日ヲ三セチエト云也〕

〔○卅二丁ヲシヅメトハ如何日心ヲチツカヌキ也〕

〔○卅二丁ヲツキナキ營ミトハ如何日ソノバ処ヘツキアハヌ也詩ヲアンシテ
 ヲルニ哥ナドヲ詩ニ取ハツキナキ処也イトナミハソノ時ノ詩ヲアンズルコト
 歟曰然リ〕

〔○サナラデモハソノバテナシニ出タラヨカラソノキミ也自(ヲ)トハ地バ
 ソノ哥ハヨイニト云コト也〕

【二一一】

面白也アンベカリケルハアルベカリケル也ソノ五月ノ節会重陽ノ宴イソガ
 シイ也ツキナヒ也中々(ナカノ)ハ却テ也アマレ哥ジ満哥ニマツハレテト
 無風流ニ思也ミサヘセヌ也万ノ事万端ノ事ニ付ナドカウシタ時分ニカウ
 シタ事セウゾ也ナドカハソウセウゾト云事也ミセタ人ニハナドカハサテモ
 ハソノ通ニ也ナゼニ此時分ニカウシタ事スルゾ也時ノソノ時節ノミハカ
 ライモエセヌ心デハ也ヨシバミヨシカクゲニシナサケハ風流メカザランヨ
 リ遙ニ見易(ミヤスイ)也ナサケタチトハ今云ヲトコ達スルノナサケ達スル
 ノト云ナニダテスルノダテ也スヘテ是カラ上品(ボン)ノ事也我シルコト
 モシラヌ類ニシテヲル也云タイ事アルモ一ツ云云タイフシノアツテモ
 先ソコハ云ズニナル也君ハコレハ源氏也源氏ノ思召ハ人独ハ是ハ藤壺也
 是モ中道ノ人也コレハタラズ事ノタル人也スキズタラヌコトナヒノコト也
 是藤壺サシテ源氏ノ心ニ此藤壺ハタランコトナリ又

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

ハテ／＼ハ―雨夜(アマヤノ) 品定モドチラヘカタ付トモナクアヤシキ物語ニナリ其夜明タ也カラウシテ―◇(一丁ウ) 前ニナガ雨ハレマナキ比トアル五月雨故フリツゞキイツハレウトモ見エヌニカラウシテトハ辛苦ノ辛也辛苦ナ(シテ)ヤウ／＼ハレル也日ノ気色モト云モノ字ニヲ、ンモノ忌ニコモリタマヘントアルソノ物忌モアク也カク―玉フモハカクヲ物忌ニ久コモレドモ

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

ハテ／＼ハ―雨夜(アマヤノ) 品定モドチラヘカタ付トモナクアヤシキ物語ニナリ其夜明タ也カラウシテ―◇(一丁ウ) 前ニナガ雨ハレマナキ比トアル五月雨故フリツゞキイツハレウトモ見エヌニカラウシテトハ辛苦ノ辛也辛苦ナ(シテ)ヤウ／＼ハレル也日ノ気色モト云モノ字ニヲ、ンモノ忌ニコモリタマヘントアルソノ物忌モアク也カク―玉フモハカクヲ物忌ニ久コモレドモ

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

【一二二ウ】

ヲモノ忌アク如此久キ也中ニヲコモリモ大殿―オトノハ大臣ト書(カク)字也左大臣ノ事ナレドモ此デ大トノト云ハヲヤゴニモカ、リ葵上ニモカケルドコデモ大トノ／＼トアルハ父ゴノ事ナレドモ葵上ニモ半カケル事也アマレ笑止ナ故退出シテ左大臣殿ヘゴザル也大方ノ―左大臣殿ノ家ノケ色アイヤウ

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

スソコラノモヤウ人ノ―葵上ノ御ヤウダイ也ケザヤカハハツキリトシテ也ヨイ所故ドコニ事タラヌ事ナクリツハニアルアザヤカ也ケタカクハキ人故葵上ケ高也乱―キ人故ゲウキ正也猶―ナヲハ下地ニモウズ高実人(ジツヒト)ジヤマメ人ジヤト思アルソレニ猶前ノ物語ニト角マメ／＼シイト云故ニコレコソハ―馬ノ頭式部ノマメ人ニトリ出ニハコレガ当ラント思召也ナル程実テイナ人ニ家持スニハコノルイヨカラント思召也カ、ハナガラ也アマリ―コレモキ人ノ御ヤウダイデアマレキツトシタ体也トカクケウギ正クカリニモ妄ガハシフナヒ故

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

【一二三オ】

心トケヌ様也ハヅカシ―恥カシゲニモノカズ云ヌキ人ノ体也サウ／＼―アマレキツト立ゲウギ立故ニ源氏モヲ心サビシイ也中納言―此中ナ言ノ君中務ナト(ノト)云ガ皆葵上ニ召ツカハレル女中也女房衆也皆源氏ノ心シリ也後ニハ源氏ノ心通ズル人故ヲキニ入ナリヲシナメ平生デハナヒ若イスグレタ女中也少シ知タ事被仰也アツサニ―五月雨ノハレタアトハコト外アツイ者也アツサトアル故六月ノ事ト云説アレドモヤハリ五月ト見テヨイ也五月デモサミダレハレルアトハアツイ者也セウゾクノヒモデモトキ少シゲウギミダステイ也召遣ス内ノ女中良ムコ君ジヤミルカイアル頼モシイト思也オト、モ―大事ノムコ君故シウト殿早ヘヤヘゴザル也ウチトケ―源氏ノアツサニ―トアル打トケセウゾクノヒホトクテイ故ニ御木丁―木丁ハ先日立返衣桁ノ様ニシテアヤ二重ニ打カケ人ニ対面ノ時直ニアハヌ為コンナ時ニ立置也

△大方ノケ色―(卅三丁ヲ)

ハ打トケガタイ也消コ、ロアルナリ)

(○私考曰中納言ノ君是上臈ノ女房ノ召名也君トソヘタルハ将姓ヨキ人ヲウヤマヒテイヘル也中務トハ中臈ノ中小上臈カケタル名也各召名ノ格式ニシテ官名ニハ非ザル也)

【一二三ウ】

三尺ノ木丁五尺ノキ帳七尺ノ几帳モアルコンナ時ハ随分大ナヲ立見エヌ様ニシテ物語スル也物語ヲキ丁ゴシニスル也アツサ一木丁ゴシナレドモ面動也人アレバ寝コロビモナラヌ故顔シカメル様也ソバニ附女中笑也ヲト、ハ知ヌ也アナ一ハア、ナアカマハカシマシヒ也聞ユルゾト被仰サマ脇足取ヨセソレニヨリカ、リ物語シテアルイト一ヨイ衆故ヲ心易自由ナヲ身持ジヤ也左大臣殿コザレドモサハガシハ心安ウミ持ジヤト也クラクナル程ニ一日ノクレニナルニシタガヒカノ近衆人々云ハコヨヒノ一ノ方角フタガリ也中神(ナカガミ)ハ天一神ト云カミ也星ノ精也是ガ四方ニ五日ツ、坐ヲシメテアルソノ間ノ辰巳丑寅未申杯ニ六日アル也四方ノ五日デ廿日間ノエトニ六日デ合シテ廿四日也廿四日間八方マワリアル也ソレスメバ天上へ上ル也曆(コヨミ)ニ天一天上トアル天一神ガ天上シテ云コト也此間ハ方角ノタ、リ無也東ニ五日南ニ五日ト云様ニ其方へハ向テユカヌ也其方へユキ宿シヤドガヘナドスルコトセヌ也今

(○私考曰木丁三尺ノ几帳四尺ノ几帳アリ帷夏ハ大文(ダイモン)ノス、シ繪ヲカク冬ハ織物或ニ重織物或織物ニ繪アリ三尺ノ几帳ハ帷四(ヨノ)幅或細シテ五幅アルモアリ長五尺三寸五分紐四筋濃蘇芳白繪蝶鳥長廿帷ノ定四尺ノ几帳ハ帷五幅或六幅モアリ幅別(コトニ)紐アリ長サ帷ノ定也イツレモ裏アリ帷ノ上方ニウハサシノイトアリ其餘リヲ左右ノ裾へ長く出シテア

ケ卷ニシテ下ル也帷ノ表裏ノ間ニ中倍(ナカベ)アリ夏ハ白ス、シ又紐ノソトニハ幅別ニ物見ヲアクル也私考引類聚雜要抄且几帳ノ表裏ノ図ヲ載ス余家ニ几帳ノ雛形アリ)

【一二四オ】

ハソソナ事取失セネドモ古ハカタ違シテ方角ヘユカヌ也日ハ極リミズ又方違シテ殿上スルト云様ナ事アル也方角ニヨリテハタ、リアルト也近習ノ人コヨヒ此ニ宿スルコトナルマイト云也中神長(ナガ)神ニ説アリ抄ニ金櫃経云天一立ニ中央ニ為三十二将定吉凶ト也十二将神ト哥アリ聞エヌ也中央ニ立故中神()也又長神ハ同処ニ五日六日久フ長アル故長神ト云中神()ヨイソウ也禁中ヨリ左大臣殿へ行ハ天一神ノ方ヘ當ル故也内ハ禁中也サカシハナル程ソウジヤト脇ヨリ云テアル也レイモ一イツモ天神ノ方ヘハ忌ト脇カラ云(イ、)テアル也二条院一源氏ノヲ里ヘ帰モ同キ也中カラハ天一神ノ方ヘ當ル故二条院ヘモヲ帰ナラヌ也イト一ユウベヲキアカサ(カス)故コヨヒネタイ也早フネタイト云也イト一此ニ宿シテハ左様ナサレテハヨフナヒト脇ヨリアレコレ云也キノ守一又近衆云ハキノ守ハ是モ近衆デソコニナル人也中河ト云ハ今京ノ寺町通也

(○卅三ウナリヤノヤハ如何曰ステヤ也)
(○抄ニアル十二将ハ神カ十二アル也)

【一二四ウ】

是ヲ中河ト云ハ加茂川ハ東ニアル東川也桂(カツラ)川ハ西ニアル故西川()ト云是ハ中(ナカ)ニアル也寺町通ニアル也夏ナリ五月雨ノ水セキ入レ冷ト也イト一源氏ノヲ付ニナル程ソレヨカラシキ故門ヨリ車ヨ

リヲリルハヨフナヒ心安処ヨカラント也忍―源氏ノ心カヨハスミソカ処ハアルベケレドモ久―久キ也中ニコザリ程ヘテタマサカ葵上ノ方ヘコザリ方違方角違スルトテヲノシノ忍アルキ弗(ノ方)ヘ行ハ笑止ニ思召也キノ守ニ然ハ紀ノ守方ヘユカント直ニ被仰紀ノ守カシコマツテアル御前(コゼン)退テ朋輩ニ云ハ伊豫ノ守ハ紀ノ守ノ殿ニハ親也只今伊豫ノ国ヘ行テアル也留主也チトツ、シム事アツテ妻来テアル也女房ハ紀ノ守ガケイ母也女房来テアレバ下地サヘ狭ニ又女来テアレバナメゲハ無礼也人ノイキ過タ者ヲナメルト云也伊物ニイトナメシケレド、アル也雜兵入込アレバ上(カミ)ヘ對シテ無礼ナ事アラント云也御前デハキ人ノ被仰事故カシコマリ下ニハ朋輩トトモニナゲク也聞―次ノ間デクヤムヲキ、テ

也
 (○十二将神也コレ道家ノ事歟曰然リ是モアラガハレヌ也鬼門ヘ行ハ死ヌル也)

(○卅四ウ伊ヨノ守ノ家ハ京ニアルヤ曰勿論也)

(○ツ、シムコトアリテ妻来ハ如何曰我家也本宅ニ怪事アツテヲラ◇(レ)

又故此下ヤシキヘキタ也本宅ニ怪事ナクテモ尋事デクマイニ非ズ古ハコンナ事アル今ハナヒ事也)

【一二五才】

其人近ガヨカラント直ニ被仰也女―女ノナヒ旅ネハモノスゴカランカソレヨカラウセマクバ其几帳ノ後ロノ方ニ置テクレ也ゲニ―紀ノ守下ニナゲ、トモ朋輩トモニヨカラントキノ守ノケヲキ紀ノ守ルスヘ早ク拵ヘト云ヤル也イト―源氏ノ忍ビヤカニゲウサンニナヒ処ヲハヤウヲ草臥ナサレアル故先ヘイテモアイサツセヌ処ト云様也大臣殿ヘ方(カタ)違ナサル事云ズヌケテ御(ヲ)供モ親イ者少々デヲ出也カミ―ソコデキノ守ガ急ナ事也取アハサレヌト迷惑

ガレトモハウバイトモ云セヌ也シン殿ノ―先達テ◇(ゴ)近習ノ人行テキノ守ガシン殿ハヲモザシキ也ハラヒ―ヨツテ急テ掃除シ取ノケル也カリソメノ―コザ処拵也水―此比水セキ入レテトアルソノ泉水ノ水ノ流レ様ノシユ向面白也其水ヲ入レル入レ様ヨイ也イナカ―イナカメカシウ柴垣ナドシテ風流ニス前裁―ウヘ込ヲモ心トゞメ味ヨクウユル也水氣故カノ水ノアタリ風冷也未夏故ハツキリト松虫鈴虫トモ

(○私考曰シン殿ハ寢殿ナリ是本式ノコトヲ取行ヘル処也寢殿用宸宇者非也江次第ノ抄貞信公ノ東三条ノ第(イエ)ノ処ニ寢殿ノ東西各有「對屋」云々)

【一二五ウ】

聞エズクジノト夏ノ虫ハ云テアル者也螢―面白景氣也ヲカシキ風流ナ事也人々―ヲトモノ人々ワタドノトハ廊下也下ヨリ泉水流レ出ル様ニシテアル也イヅミハナガレ也下ヨリワキ出ニ非ス泉(イヅミ)涓(ケン)々トシテ水始テ流トアル流ノ事也主―紀ノ守モナニカ御馳走ニトアルク也サカナ―サイバラノ詞也タマダレノトアルコユルギニトアル本文ヲコユルキノ急(イソギ)トツカウコレラ面白遣様也君ハ―亭主ハサハギマワル其間ニ君ハトンドリトソコカシコ見彼品定ニ中ノ品キヤトキ◇(六丁ウ)ズリヤウト云テ人ノ国ニカ、ヅラヒテ中ノシナノケシウハアラヌエリ出ツベキコロホヒ也ト云ヲヲ心ニ思召スキノ守ノイヨノ守ノハ皆ズリヤウト云者也思ヒ―ハカノイヨノ守ガ妻女也源氏ヨリ先達テ此ヘ来テアル此人ノ父ハ中納言也エモンノ守聞タ也其人堅固ノ時ハ天子ヘ出サント思死シテ後ハソフエセズヤウノジユ領ノ妻ニナル也ユカシクテ―源氏モヤウスユカシイ也耳―ナンゾ云歟

(○卅五ヲ程也如何曰ヲカシキ位ジヤト云コト也時節ニ非スバ処ニ非ス面白

位ニ虫鳴也)

○サイバラノ詞ノ意如何曰イモトヤハ女房トツレ立ユクナラン註ミルベキ也今モウタフヤ曰朗詠コソ侍ラネサイバラハ守ウタウ也地下ニモ樂人ハウタウ也)

【一二六オ】

聞エルカトテ耳止メキク也衣ノ一耳一ニ聞エル也ハラ／＼ハ今云バク／＼ト云事也夏ハスバシナレドモ板引(イタビキ)トテ板ニ張付ノリコハウシテハリ付ソレ故キル故ハリ／＼ナルソノ事也紀ノ守ガ妻ニ付女中ノキヌノ声又笑フ聲也源氏ノヲ出トテヒソマリカヘレドモサスガニ又笑也コトサラヒ一ハワザト忍ブ様ニミユルガ猶ハルイト云様也カウシ一カウシト云者ハ四角ニ組アツクスル敬臺寺ノ塔ノ中ニアル也カウシハ内ヘアゲル也薨(シトミ)ハソトヘアゲル也格子ハナカニ寸四方程ニクミ内ヨリ紙デハルソトカラモ内ヘハ入ラレヌ様ニス格子ハアゲル也明(アケ)ルトハ云ヌ也寢殿ハ南向也源氏ハ寢殿ノ東オモテニキ玉フトアル面ハ南源氏ハ東也空蟬ハ奥(オク)也唐紙シ切ノ処ニナル也北ノ方ノ格子アゲアルニ音スルニ女ノ方ノカウシアゲアシイト云也ムツカルハシカル也火一ソコデアツウハアレドモ紀ノ守シカル故カウシヲヲロス内ニ火トモス◇(ガ)サウジノ紙ゴ

○薨ハ此ニハナシ京ニハアリヤ曰ナシ堂上方ノ下ヤシキニハアラン此ノ武家デ云チント云ハシトミノ様也上ヘツキアゲル者也薨コレシトミ也)

【一二六ウ】

シニ火アリトミユヤラ一ハソロリト云事也和ノキミ也ヲトハト五音通ス和也静ニ行也内ノヨウスミユルカトノゾケトモスキマナヒハズ也是ハ源氏ノノ

ゾク処ハ唐紙也アチラハ紙ヘウツレドモ源氏ノゾク処ハカラ紙ゴシ故ミエヌ聞ニアチノ聲聞エル也此近一南ハ表也客ナドウケル肅(書)院也東ニモクチアル也此母屋(モヤ)ハ本ヤ也母ト書人ノヲル処也ヲモヤ也東ハキヤクヤ表也打一女ドモノ物語スルヲ聞ハ源氏ノヲ身ノ上云ソウ也イト一女ドモ云ハキツウマメダチハジチシテ立テマダキハ早也ヤムゴトナヒ左大臣ノ女ノムコニナリヨスガ一ゴ内所也ヤウヤク十六歳ノヲ年故忍ビアルキノサイ中也キツトシテ御本妻アル故サゾヲサビシカラント也サレド一ソウハアレドソウナルベイクマ／＼(ハ)ニハ也クマハカクレル也ヒマ／＼スキマヲ考テ折々ハ忍ビアルキナサルト評バンシテアルオホス一是ハ前モ出藤壺ノ女御ノ事也藤壺ト蜜通ノ事心ニカ、ル故先一源氏ノヲ身ノ上ノ評バンスル故若フジツボノ事シルヤ

○字ハ書院ナレドモ云処ハシヨエント云ヨミクセナリ)

○私考曰モヤハ母屋ナリ或身屋本屋トモシルセリ同シ事ナリソレ母屋ハ寢殿ノ中央ニシテ廂ヨリ内ヲイヘリ又廂ノ外ヲ簀子(スノコ)トイフ「板敷ノナリ」俗ニエンカハトイフ)

【一二七オ】

シラバ如何ト思召也ソコラデイ、モラシタヲ聞付タラン時イカ様ニアランナンド、此ニ心アマル也コト一サノミカハル事云カト思召ドモイハヌ故ソコ引也式部卿一又外ノ物語スルヲ聞バ式部卿ノ宮ハ源氏ノ為ニハヨジゴ也其姫君朝顔ノ姫宮トテ齊院也源氏ノヲ為ニハイトコ也是ハ朝顔進ゼラル哥ノ事ヲヒヤウバンシテアル也ホウハ方也四角ナ者ユガム也四角ユカメバサマ／＼ナ者ニナル也又ホ、ハ略ノ字ノキミ也ソレヨサソウ也哥(ウタ)ノ物語也テニハナド源氏ノヨムトハ違也其哥ハ「見シオリノ露忘ラレヌ朝顔花(ノハナ)ノ

サカリハ過ヤシヌラン此末ニアル哥也クツロキー人ノ聞モシラズワレ打クツ
ロギ哥ー也ト云哥ハ權ノ哥ニ限ラズソノ外ノ哥ヲモ云テアル也アチデ哥ノ事
ヒタト云也左様ニ哥ヲジユスルトモミタラバ見ヲトリセント也此様ナ客ノ時
ニ哥ズスルモ哥自滿ト見ユ宜カラヌ事也カミーソコデカミ御前へ出也夏ノコ
ト也ヤリ水へ灯ロウカケソへー也御ーキ人故上(アガ)リ

〔一〇〕又曰式部卿ノ宮是親王ノ式部卿ニ任シ玉フナリ此卿ニハ多第一ノ親王ヲ
任セラル人臣ノ任例モ邂逅ニアレトモ通規ニアラサルヨシナリ職掌ハ職員令
ニ見エタリ

〔一〇〕ヨイ衆ハ内ヨリ弁当持タルヤ

〔一〇〕卅六ウマイルハ下ヨリ食デモアゲル事也

【一二七ウ】

物ハ左大臣殿ノ里ヨリ持クル也紀ノ守上ルハ菓子バカリ也マイレリハ奉ル也
トバリー是モサイバラノ哥也ハイヘンハーカセヨケント云哥也其心ハイヘン
ハワガ家也トバリハ今云マクノ様ナ者◇(カケテアル)也大君ハ天子ノヲ
子孫ゴナド也ムコニセント云事アル是ガトバリヲカケ大君ムコニセント云
事アルソレハコヨイドウスルゾト源氏ヲタハムレ也ソウシタ心遣ナクバソレ
ハブ弛走ナラント也ナニヨケレトモト云モサイバラノ哥也ミサカナハナニヨ
ケント云哥也源氏ハトバリ丁モイカニソハト云テサイバラノ心ヲ以ドウシテ
ヨカラント云ハ女ノコトヤラ肴ノ事ヤラシレヌ様ニハツト云テアル也ハシツ
カターハ東ノ方也正面ノ東ノハシノオマシ也オマシハ御座(ゴザ)也カリナ
ルーカリノヲネマ出来テオホトノコモル也此ニオホトノゴモルト云ハマダオ
ホトノゴモラヌ也必竟ノコト云也オホトノゴモラヌ先ノ事コレヨリ先ニ出也
是モオホトノコモルノウケ故人々モシヅマリヌト云也マダソウナヒ也主ノ子

ドモー紀ノ守ノ子ドモ也

〔一〇〕メザマシイハ如何日立腹ノキミアル也訓ハ目スザマシイ也ハラ立タキミ
也

【一二八オ】

オカシゲハウツクシゲ也ワラハナルー紀ノ守ノ子ニワラハ殿上シテ殿上デ見
モアル也小兒デ殿上スルモアル也ソレ也伊豫ノスケー紀ノ守ガ弟也ソレモミ
エル也アマター紀ノ守ノ子ヤ弟ガアマタアルアテハキ人ノキノ字ヲヨム也其
ウチデモヤウスヨクウヤ／＼シク見エテ十二ー此十二三バカリナルハ空蟬ノ
弟デ前ニモ◇(云)中納言デ右衛門(エモン)ノ督(カミ)カネル人ノ子也

紀ノ守ナドヨリヨヒ人故ソノ生付アテハカ也イヅレガナレドモヨミアシイ故
イヅレカトヨム也大勢出ル故問也紀ノ守答ハ是ハ◇(中ナ言デ)エモンノカ
ミヲカネル人也故(コ)ハ死ヌル人云也史記又漢書ニモ出人(ヒト)ノシヌ
ルヲ物故(ブツコ)ト云佛家ニハモツコト云新モツコト云也死ダ者ハ物ノフ
ルウナリ役ニ立ヌ心也説アレドモソレヨイ也スエノ子ハ末子(バツシ)也カ
ナシーハ伊勢ニモイトカナシウシ玉フトアル可愛(カアイ)ガル也エモンノ
カミノ末子也カアイガル者十二三ノ子ノ事也オサナキーマダオサナヒ時ニ父
エモンノカミニヲクレル也

〔一〇〕私考曰童殿上ハイマダ元服セスシテ殿上ノ簡ニツクワイフ也昔ハ人ノ種
姓サダマラヌ故ニ父ハ地下ニテモコトニヨク職ニ付テ殿上セルモ時ニシタカ
フ也

〔一〇〕又曰故ト死者ヲサメイフノ祢也右衛門督ハ左衛門督ト同シク宮門ヲカネ

ル職也令條ヲ定玉ヒシ時ハ左右ノワカチナク只衛門府ナリシカ嵯峨天皇ノ御宇ヨリ左右ヲワカチヲカレテ或中納言參議ノ兼官トシ或非參議「散二三ノ位ヲイフ」ノ人モ任セラル、ナリ右衛門ト書テ只エモントヨムナラヒナリ延喜式ヲ引了考」

【一二八ウ】

姉ハ紀ノ守ノヲヤウツセミ也ウツセミハアネ故其エンニ引カレテカイホウニアヅカリアル也ザエ十二三ナレドモ才知サヘ付ソウ也アヤシウワルウ見エヌ体故ト也殿上サシテ御(ゴ)奉公ニトモ思ドモスカ、ハ早フニサツソクニハエ出サヌ也猶年不如意故殿上ヘ出シテモセウ束ナド急ニ出来ヌカ、リウト故也哀ノコトヤトアルハ中納言ノエモンノカミカネル人ノ女デモト天子ヘモ献上セント思ニヤウヤク受領ノ人ノ妻ニナル故アハレノコトヤ也此十二三ノ子ハ先デ小(コ)君(ノ)ト云是也モウトハ其方也其方ガマ、母カト云テ問也左様デコザルト御返答申也ニゲ一似タケモナヒヲヤ也空セミハ若也其方ノヲヤニシテハニタケモナヒ也紀ノ守ニハ過分ニスギタヲヤト云ハアシヒ也中ナ言ノ女故ソウ云ハアシヒ也源氏ハ位ナヒノ人ニシテアル其方ヨリ家マサルト云ハアシヒ也年若故ニカク被仰也上ニモ一上ハ源氏ノヲヤゴ也彼女メノ事ハ天子モヲ聞ナサレ禁中ヘモ御奉

（○物故ノ説漢書史記師古ガ説アリニ説アル也物ハ勿レノ心又物ハナヒノ心ト云也ミナアシ、）

（○私考曰マウドハ真、人ナリ此和訓ハマコトウト、イヘル意ナリシカルニ今ノ世ニマツト、ヨメルハ最不審也真、人(マウト)片假名点付タルウ、ヲツニ誤タルヤカクノコトキノ類アリ史(サウクハン)ヲサツクハント誤タルニ

同シキ歎抑真、人ノ氏、(カハ)骨ハ天武天皇ノ御宇ニハ第一ノカハネニ定玉ヒシヲ後世藤原ノ朝臣繁鼎(栄)ニオコリテヨリ自(ヲ)第二ノ尸トナリキ真、人ノ人モ或ハ朝臣(アソン)ニ申改ラル、ヤウニナレリ借コ、ニマウト、イヘルハ下ニアソントイヘルト同シ心ニイヘリ異邦モ亦祢美ノ号ニ某真、*人ト用ヒシ例アリ莊子ヲ南華真人ト云類アリ云々」

【一二九オ】

公ニ出シタイト奏聞スル事アル故也イカニ一其女メハドウナルゾトイツゾヤヲウハサアルト也世コソ一源氏ノヨノナカハ定メナヒ者也親ハ中納言ナルニ伊豫ノ守ノ妻ニナルハ世ノ定メナキ也オヨスケハヲトナシウセ間ノ事觀シテ被仰故也フイニ一フリヨニ手前ノママ母ニナルト也世中一紀ノ守ノ世ノナカハソフコソアル者也今モ昔モ定事ナヒハ女ハ高家ヨリ卑家ヘ嫁シ卑家ヨリ立身スル也侍ラネノネモヲサマリニクヒ様ナ也コソヲ承ル也サノミコソト云ヲ承ル也隔句ノ心也ナカニ一男女トモ同シ事ナレドモナカンヅク女一スクセハ過去(クハコ)ナレドモ此様ニ女ノスクセト云ハ女ノ一生也スクセニヨリ一生定ル故コンゼウノ事モスクセ、ト遣アル也ウカヒ一浮雲ノ様也定ラヌ者也伊予一又源氏問ハナント父ノ伊予ノ守ハ空蟬ヲ奔走スルカ親ハレキ、也殊(コト)ニ若(ワカヒ)故ニ主君ノ様ニ思カトコレモタハムレ也イカ、ハ一抄ニヲシ出シテシウト云ンハ源氏ノ

【一二九ウ】

御前ニテハ憚アル故ニ私ノトイフトアルソフデナヒ也イカバハソフハ存ズマイ也若者也エモンノ守テ中納言ノ女メ故内々ハ主(シウ)ト思テアルト也ソフナケレバ下ニ私ノ主トコソハ思ヒテ侍メルト云也スキ、一其様ニ大切ニスルハ好色ガマシイ事ジャトナニガシハ私也私初メケナイノ者モ承引セヌト

ヲヤヲ少シソシル也サリトモソフアリトモ其方ドモソフ云テモ其方立ノツ
キノアル様ナ好色ナ人也今メキハ當流メク其方ニ油断セヌハズト是モタハム
レ也カノ介―此序ニカノ介ハキノ守ガ父伊予ノ介也イトヨシアル風流ナルト
序ニヲ物語也コノヲヤハテニハ也イツ方―是カラ女ノイツ方ニフセリアルト
ヲ尋也女ナトモハ皆シモヤヘヲロシテ也シモヤハ長ヤト云様也内セウコトタ
ラヌ故皆々末シモヤヘモエ行マヒ也エヒ―源氏ノゴケ来皆酔テエ動ヌ也竹エ
ンナドニコケテネタ也君ハ―ギヨシンナリ処ニ入

（○卅七丁ウイカハハトハヲシ出シテ君トハソソゼズ私ノ主トハ内々ノ主ト
コソハ也）

【一三〇オ】

ドモ彼藤壺ノ事ヲ心ニカハル故エネヌ也徒―御一人ネルハ是ハ徒ブシト思召
也ヲ氣スミネラレヌ也コノ―源氏ノヲイデナサルシ切也此ソウシハカラカミ
也ナン障也カラカミ障子也ソフタイコンナ者ニセウジノトアルハ十二八九
ハ軟障トテカラカミ也明リセウジハ明障子トアル惟ソウシト云ハカラカミ也
人ノ―人ノヲル様ナケ色聞エル也コナタヤ―其方角也其方ヤ空蟬カクレアノ
方角ニネテアルナラント思召也アハレヤ―エモンノカミノ女メデ伊予ノ介ノ
女ホニナルハアハレ也若身分デ年ヨリノ妻ニナル故也ネ処ヨリオキカラカミ
ノソバヘヨリナンゾ云ヤト聞也アリツル―十二三トアル小君（―）ト云也モ
ノ承ル也其姉ノ空蟬ノ云付事ヲアハト聞テアル也イツクニ―姉云付ドモ火ハ
ホノカナ故イツクニゴザルト問也カレタ細イカハイラシイ聲也姉ノ空蟬ノ聲
デコハニアルト也マラウトハヒンカクノ賓也マレビト也

【一三〇ウ】

ソレツバメテマラウトハ也源氏ノコザル処々我ネル処ハ近カラント思ニ中々
遠ゾウシヤ也ケドヲカリ―ケハケ色也ケシキ遠也ネナガラ弟ヘ云也ネタ聲ハ
シダラクニ聞エル也弟ノ聲ト姉ノ聲ト能ニル也カノ空蟬ハ姉也姉ナレドモ此
デ妹ト云ハ女ハアネデモ弟ヲ兄（アニ）ノ様ニスル也古今ノ序ニモ（空白）
ト書系図ニハ男ノ子サキヘ書女ハアトニ書故ニ妹ブンニ云此モソノ通也小君
ガ答ニ東ノヒサシニギヨシンナルト也ヲトニ―小君ガ物語アネニスルハヲト
ニ聞源氏ノミアリサマミルニゲニウツクシイミアリサマトコ聲ニナリ云也ヒ
ル―空蟬ノヒルナレバノゾヒテミンニヨル故ミラレヌトネムタケニ―ヨルノ
者デモ引カツグソレカラネル也ネタウ―源氏ノヲ心ニモチツト問ヘカシト思
召也隔句也ネタウ心トバメテモ―トハツバカヌ也ネタウト句切也ネタウアヂ
キナウオボス也問ヌヲネタム心也アヂキナフ

（○私考曰中将トイフルハ中藤格ナル女房ノ呼名ナリ）

【一三一オ】

ネタク思召也小君云ハ私ハハシヘヨリネント也小君アナクルシトハヨイヨリ
御前ヘ出走リマハリ草臥也女君―カラカミノコチラニテ御推量也カラカミキ
ハ也スヂカヒハ源氏ハ東ノ方ノエンノ方ニネテアル其方ノマツスグノ北ナレ
バスチカヒナラネドモアチハ母屋ヘヨル西北ヘヨル方ニネタ様ニ聞エル故
源氏ノネマヨリスヂカヒ也中将―空蟬ネラシヤ中将―ハ空蟬ノ召遣ノ女中ノ
ヨビナ也人ズクナデヲソロシイ早フコイトヨブ也ナゲシ―空蟬ノソフ云バナ
ゲシハ次ノ間ノ事也ナゲシハ鴨居ノ上（ウヘ）ニアル者ナレドモシキキノ下
ニモアルシキキハ後ノヨニ云出ス事也モトハシキキノ事モ鴨居モナゲシト云
也中将ヨハレル故シモニ―シモハ長屋ノ様ナ処ヘ行湯ツカフテアル也唯今―

侍ハ申スト云字ニ作り見ヨ唯今参ラント申也皆一源氏ノ御家来皆醉ス、◇
 (ミ) ネル内ノ者モ皆ネル

(○卅八ウマロラマルトヨムヤ日然リ)

(○日スベシハ如何日源氏ノ方カラデモ作者ノ方カラデモシタデアラント推
 量也源氏ノ方カラガヨイ也次ノフシタルベキモ推量ナリ)

(○卅九ヲ此ナゲシハ上ナルヤ日ナゲシハ殿牛鴨牛ニ付タ者也上ニモ下ニモ
 アル者也是ハシタ也シモハ次ノ間ノ事也殿キヨリ下(シモ)ノ間ト云事也ヨ
 イザシキニハ下(シタ)ニモ上ノ通ニカナ者打テアル者也)

【一三一ウ】

カケガネ一北ノ方ヘ行母屋ヘ行ソウジヲアク敷ト明テ見タ也シンデン作ハ戸
 ナヒ者也スレハ格子ナカモカラカミシ切カキガねデ両方ヨリシメル戸ハナヒ
 者也アチヨリサスハヅ也殊ニ男客アレバサスベキニ忘却シテサ、ヌ也キ丁一
 カラカミノ内ニモ一重キ帳立也爰(コ、)デモカラカミノ内ニ屏風立ル様也
 火モ幽ニシテネテアル也カラビツ一是ハモノヲキト見ユ伊与ノカミ女ボ紀ノ
 守ヘクル故子道具様ノ者モテアツカウ道具入レクルヒツ也唐ノ字又辛苦ノ辛
 ヲ書也是惣名也カラビツハワケテ云ハアシノ長ツクサンアル者也カタグ為也
 底ニサン打也辛苦シテカタギ持故ニカラビツ也ドレヲ云テモヨイ也惣名也
 ハ入レモノアレバ本ノカラビツデモアラン何分ヒツ也ゾウモツアルナカヲワ
 ケ入リソノ聲シテケ色聞エル処ヘケン氏入ル也タゞ独一中将ハ湯カラアカラ
 ズ本少(チヒ)サヒ人ガ

(○私考日ナケシハ殿舎ノ中ニ上段下段アリ其上段ノ敷居ノ下ニナケシヲ付
 ル也其長押(ナゲシ)ノシモハ下段也櫛ノ巻ニミユハヤク引キテナケシニ

オシカ、リテト見エタリ)

【一三二オ】

チヒソウナリネテアル也ナマ一源氏ノヲ心ニモモト人ノ妻也又不意ニゴザル
 故ヲノシノ心ニモ快ナヒ也上(ウヘ)ニキタ臥具取ノケル迄気付ヌ也先ニ召
 ス中将クルト思也中将一初メ空蟬ノ中将ト云召遣ノ女ボヨブ此タビ源氏ノ官
 モ中将也先程中将ト云ハ我ヨブカト思也此ナント云ニハ餘意アル也中将召ツ
 レバナソヨビナサル故マイルト残シテアル也人一人シレズゴ自分ノ事カネ
 /思テアル人ニハシラサヌ也日比思フカイアツテヨバレルカト心チシテウ
 レシウゴザルト心アママル也イツデモトハ心アママル也トモドウシタ事ヤラワ
 カレズビツクリトシタ也モノニ一キモツブシテヲドロク也ヤト一ヤト云ハハ
 ツト云様也カホニト云ハ聲デビツクリトスレドモ先程カホニ◇(キヌ)引
 カツク故聲聞エヌ也ウチ一ハサツソク也フミデモヲコスハヅニ打ツケニクル
 ハフカフナヒト思ベケレドモ年一ナンモ聞エ

【一三二ウ】

シラセントテナン参タ也カクカウシテ方違ナドノ事コシラヘテコントカネテ
 含ミタコト也中々浅トハ思召スナ也◇(鬼)神一キジンニ見セテモエアラダ
 テマイ源氏ノケハイゴヤウス故ニハシタナク一源氏ニタイシテコ、二人アリ
 テト云ハ不相應也ソレヲハシタナリト云也心チハタ一聲ニ立ソフハ云レネド
 モ空蟬ノ心ニ源氏ニ従ント思ヌ故ニ心チハビシイ也アルマジキ一夫アル身デ
 源氏ニ従ハアルマイ事ト思バアサマシク思故ニヲ人違(チガヒ)ナラント云
 モイキノシタ也大キクエモノ云ヌ也キエ一シヌルホドツライ也源氏見テセウ
 シ也心苦シク思ドモソレガナヲカハイラシイ也オカシ一ケン氏面白事ト思召
 也中々此方ノ人違スルデナヒニソフ云ハ此方ノ心ノ思ヒシルベニナリコヨヒ

此へクル人違スル事ニ非ス思ヒモヨラヌ事承ルナリヲボメイハヲボロカシウ
源ヲ人違ト云ハイカニシテモソフデナヒ也

【一三三才】

スキ―中々好色メキテヲシツケスルコトニ非ズ思―ナカ／＼ヲシツケワザハ
セヌ平生思事云ハント也元ヨリチヒサヒ人ナレ（ナレ）バヒンダカヘヲノ
レノヲネマヘユカントスル也

《十一月廿七日會》

△求ツル―（四十丁ヲ）

イト―源氏ノカキ抱カレテソウジハカラカミ也ヲノレノゴサリ処ヘゴザル間
ノ隔也軟障也求―是ハ空蟬ノネル時分中将ハイヅクニナルゾト召ハナゲシノ
下ノ女ユアミシテヲルトコタヘル人也ダツハ源氏ノ心ニ中将ヲシイ者カノ中
将ナラント思召ダツハ中将メク者也カノ中将ト思召故ヤイ／＼トヨブ也中将
モキモツブス也ヨバン様ナヒ故也火ハクラクカラビツナドアル故サグリ／＼
行也イミジク―タキシメタ源氏ノ香ノ匂ガクユル様ニ匂也思ヒ―コレガ隔句
也アヤシクテサグリヨリタルニゾイミシクトツバカヌ也アヤシク―ニゾ

（○イダキテハイダイテトヨム也トチデモコンナクトハ名目也先和ニヨム也
ソフヨマデ叶ヌニ非ス）

（○タルニゾイミジウトハツバカヌ也アヤシ―ニゾ思ヒヨリヌトツ、クヤ曰
然リ思ヒヨルハ源ト思ヒヨツタ也）

【一三三ウ】

思ヒヨリ又其思ヒヨリハイミジフ匂ヒミチテムセル様也サグリヨリテ源氏ト
ゾ思ヒヨル也源氏コザルソウナト思也中将心ニコレハドウゾト動テンシタ也

キ人事故云ハン様ナクダマツテ扣アル也ナミ―ヲシナメタ公卿殿上人ノタグ
イナレバアラ、カニヒキカナグリツキノケルシナモアラン中将ガワサデ也ソ
レーソノ平生ノ公卿殿上人ノタグイデモ大キナ聲ニシソレスラ公卿殿上人ノ
ルイデモ外ノ女キク様ニセマイ也其段ニハ実ヲ弁ヘズシテ名ヲ立ナラン
是古来カラ此文称美スル中将ガ心遣尤ナ事也中将ムナサハギシテアトカラ付
テ行也人付テ行ドモ源氏ドウテンセヌ也初ノシノねル処ヘツレ行也カラカミ
引タテ中将ニ對シテ明朝暁ニ迎ニコイ也物ハカミ承テ云也心ナヒ也カミニ従
フ心也女ハ―女ハ先ナンギニ及デアル内ニ中将ガソコ心ナニ

（○例ノハ源氏一部ニ對シテ云ヤ曰然リイツモダマシ上手也）

【一三四オ】

トカ思ラント空蟬シヌル程ニツライ也ワリナヒハセン方ナイ也流―汗キビシ
ク流―ハ心チアシソウ也源氏ソレミレバ笑止ニ思召トモ也例―レイノトアレ
バ平生トモニ弁舌ヲ上手デヨフ被仰也トコカラ取出スヤラ実／＼シフ被仰也
トウデハトリ出ス也アハレ―先ニ御尤ナ事ジヤト承知スル様ニ被仰也ナサケ
―ナサケアリゲニ玉ヒ云尽ス也猶ト云字ガ先最初源氏ノ被仰時分ニキモツ
ブス故ヲドロク驚ドモ承知セン様ナヒ也源氏コザルコトヒマ入ル程心驚クト
カクヲ心ニ従ンハツト前ヨリ心定ル也ゲン在ノ様ニナリム中ノ様ニ思也数―
是ハ空蟬ノ源氏ニ對シテ云付也カウシタ事アルベキ道理ニ非也数―数ナラヌ
私フゼイノ者デモ人ノ妻◇（ナルヲ）オボシ―ハ思ヒクタスハナンデモナヒ
者ニスル也下（クダ）スニ非ズ◇（腐）フノ字ノ心ヨイ也クタスガヨイ也前
ニ◇（卅九丁ウ）カ、ルオリヲマチ

【一三四ウ】

イデタルモサラニアサクハアラジトアルヲ承アサフナヒト被仰ドモ私ヅレト
 フツテアナヅリナサルヲアサク思ベキ也イト―カ様ナルブン際人ノ妻ナル身
 ニ取テカウシタ不義ナ分際◇(ノ)事ハ至極ノ事ト承ル大事ト承ニ是ハトウ
 ゴ也カク―ヲシタチハ推ツケヲウゼウト俗ニ云様ノ心也^非井(ケニ)―クヤ
 ムヲ源氏笑止ニ思也却テ源氏モ心恥シイ也エヒテイ実ナ故也ソノ―カ様ナル
 キハ、キハト云返答ニ是ガ至極ノバト云キハ、ヲシラ又事也年若故是ウイ
 ナ事故ニシラ又也中々―中々ハイツモ云通却テ也カ様ニ折テ待出テ平生ノ尋
 処ヨリフカフ思テクルヲ却テ早速クル様ニ浅、シフ思ハウタテイ也自―自
 (ヲ)平生トモニモサゾ聞カレタナランアナガチセ上ノ人ノ様ニ好色ノ心ニ
 非也平生カウシタ好色スルソレニハ非ドモシユク縁アツテ其方ヲアナガチニ
 思ハ宿縁ナランサルベキハソフアルベキ因縁アルナラン也
 (〇四十一ヲ下ノキハハ極メノ意也曰上ヘモ下モ言ハ同コトナリ至極ノ心ナ
 リ字ハ際ノ字也上下トモソレナレドモ意ハ極ナリコレカ至極ノ事ジヤ也女ノ
 身デコレガ一大事ジヤト云様ナリ)
 (〇四十一ヲ中々―以下極ハ上ヲ承テ説可然ヤ曰セ上ランナメク様ナ好色ニ
 非ス手前実テイ者デソソウナ事セヌトユルマス也)

【一三五オ】

ゲニカク―アバメルハ談(ダン)ノ字ヨイ也アハ、シク思也アバメルハア
 シイ也ナル程尤ナ事ト思也自(ミ)―去ベキ因縁アラント思故自モカウハナ
 ヒハヅニ人ノ妻ヲカウ思ハ合点ユカン杯実メ立テ実ニナツテ被仰也イト―空
 蟬ノ心ニイトタグヒナヒ源氏ノ体ニツ本一ノ美男故猶ウチトケラレヌ也ナゼ
 ナレバアマレウルハシクヲ心モソウ明ナレバ立反テサミセラレンカト思也ス
 クヨカ―アラ、シフ心―ハ心ニツカヌナンデモナヒ者トハ思召トモサル方

ノ―ヤハリ其方ノ心ワキナヒ云カヒナヒ者ニナラン情ナシト思召トモソレハ
 マシヨ也ツレナフ不^{*}変テ心ヘンゼヌ也人ガラノ―元ヨリモノ和ナ空蟬ハ生
 付也タヲヤギハタハヤギ也タハ、ノ^{*}キミ也タハケ様ナ生付也ヲトハト五音
 通ズタハヤギ也下地和ナ人ニキツト強ミサホ持故ニナドナヨ竹ノ―ナヨ竹ハ
 和ナ者也アマレ和ナ者

(〇四十一ウケニカクアハメ―空蟬ヨリ源氏ヲアハメルヤ曰源氏ヲ空蟬ガア
 ハメル也コンナ事ナサルハイカト(ニ)シテモコ逸興ナトシカル也)

【一三五ウ】

故雪ニ折レヌ也空蟬ソノ様也ナヨ竹ノ雪ニ折レヌ様ニ和ナレドモ折レヌ也サ
 スガハイテ戻ルテニハ也和ナレドモイヤウ強処アル故ニサスガニ也マコトニ
 ―実ニキ色ハルウナル也ゲウテンヤラ術ナヒヤラ也源氏ノヲシツケワザナ
 ルヲイハン様ナヒナサレ方ト怨也空蟬啼ヲ源氏モアハレト思召也心―心ニ笑
 止ナト思召ドモミサヲトハ雖心苦シケレドモ実義ナケレバ残念ナラント思
 也ナグサメ―源氏ノサマ、心ナダメテモウ、ツラウ空蟬思テアレバナ
 ド―ナゼニ左様ニウトミアルゾ覚―此様ニ思ヒカケン事ノ様ナ事コソ過去ノ
 宿縁アルト(ト)ハ思ニ無下ニ―下モナフニ世ヲシラヌセ間シラン様ニオホ
 ボレ―心ハヲボホレ也ヲボロカシウナンニモシラヌ様ニスルコトナレドモヨ
 ミハオヲボレトヨム也イト―空蟬ノ返答ニイトカクノ如ク伊予ノカミガ妻ト
 定ラヌサキナラバ也親ノモトニヨリ未

(〇四十二ヲミザラマシカハ抄ノ通敷曰抄ノ通ハアシイ也実事ナケレバ也抄
 ノ心モコレヘ落テユク也見モ相ミルノミルナリ)

【一三六オ】

エンフンナドキハマラヌサキ也カウシタ御心底ヲ見バアリシ―モ古イ哥也取カヘス物ニモ哉ヤ世ノ中ヲ有シナガラノ我身ト思ハシテ一生此哥ノ心也始終源氏ニ思ハレ我モ思ハヌニ非ズ兔角伊予ノカミガ妻ニナラヌサキナラバト思フ此哥ノ通也アルマジキ―私フゼイ故源氏ニ思ハレント云ハアルマイ頼(タノミ)也ミナヲシ―数ナラヌフヤウギナレドモイヤト思召シテモ思召直スコトモアランイト―カクノ如ニ伊予ノカミガ妻トナリカリソメニモ源氏ヲ枕并ルタグヒナヒ心マドヒスルウキネハ人ノ妻ニナリ源氏ニ此様ニヲメニカ、ルハウイタ事也ソレ故心マヨウ也ヨシハア、マ、ヨ也セン方尽タ也ミキトナカケソト云ハ古今ニ「ソレヲダニ思フコト、テ我宿ヲミキトナイヒソ人ノキカクニト云哥アル是ハ古今ノ恋ノ部ノ末ノ哥也人ノ心カハリ果タ上デモハヤ我忘ル、事ナレバ思ハスマイセメテ

(〇四十二ウウキネノネハ如何曰先ネル意也ウイタネ様ジヤト云コトウキネ(一一一)トヨム也ウキネ(〳〳)トヨメハ啼ノ心也此ウキハツライ意モアルナリ)

【一三六ウ】

思テクレバ逢タトトモ云ナ云ンヤ我家ヲ見タトモ云ナ云バ人違ト云ンセメテ情(ナサケ)ニ云テクレナ也此ハア、マ、ヨヲ心ニ従ヌ也カケツハ口チ◇(ハ)ニモカケテ云テクレナ也ゲニ―ツライト見エル也ゲニ尤ナ事ジヤト源氏ノ思召此ミキトナカケソト云テヲ心ニ従ヌ也ソフタイ謡ホン本ニシテ書タ様ナ故通例ノウキヨ草紙ノ様二人思也発端ニモ云通源氏ハ情本ニシテ書ヲシヘニ書タ者也ハルイ事スナ用心セト云ヲシヘハ常ノ事也珍(メヅラシフ)ナヒ也初カキガネカケヌヲ空蟬ヲ戒也初メカキガネカケレバカウシタナン出

来ヌ也女ナドヲレバキツトカキガネカケルベキヲシヘ也今(イマ)云通カキガネカケヨト云テハソレハ知レタ事ジヤト云テ取アゲ見モセヌ也道ヲ説ニ内事ヲ説面白様ニ書ヲ感通シテカキガネカケヌ故ニカウシタ難出来大事ナクト、情カラカク通シテ道ニ入レル也アタマカラ

【一三七オ】

道ニ入レト云テハ四書五経多ケレトモ人ミヌ也是ヲ好色ノ本ト見(ミル)ハミヤウアシヒ也是ヲ教ニシタ者情也自身ニ感動シテ油断スナト云ヲシヘニ書也ウキヨ草子ノ様ニ見テハ違也此ハ從ネバナラヌ也召車ニノル様也ヲチルト思ドモカウシタ場テハセン方ナヒ也最初カキガネカケレバヨイ也空蟬モ義理也源氏慕ドモコレヨリ從ヌ也コヨヒハ從ドモ源氏一部朝顔空蟬是賢女也コンヤハセン方ナヒ也愚―サシテ源氏愚ナラズネン入レ心ナグサム様ニ云ハレタ也知ル者モナヒ故ニ猶コトオホカルベシ也鳥―鳥モ鳴故ツキ〳〳ノケ来ドモ皆ヲキルイハネゴイ也イハネル也ネギタナヒ也俗ニ云ネゴヒ也御(ミ)車―ケ来衆(シウ)先ヘオキミ車引出トサハグ也アマレサハグ故紀ノカミ出ラ上(カミ)モ未ギヨシンナル也女中ノ方違コソ夜ノ中ニ帰ルベキ也ハ急クベキヤハソフデナイト也君ハ―源氏思召ハカウシタビンギアツテ空蟬ニ逢事ナラヌ也

【一三七ウ】

サシハヘテ―サシハヘワザト伊予ノカミガ妻故ニ文通シニクヒ也イカデカニテ句切也御文―表(ヲモテ)立消息取カハシニクヒ也ラムネイタメラルヲクノ―空蟬ニツカヘル女房也中将出ヲクルイト―夜明テモ源氏ハナサヌ故ハヤウ放サバヨカラント思ドモセン方ナヒ故ニ心ニクルシミアル也放シテミテモ又トラヘナゴリヲシム也イカデカ―源氏ノ詞也ドウシテ文通センゾ也世ニ―

セ間ニナヒ心ヅヨイドウヨクナ人ト云也ヨシ今ハート云ハ実義ナヒ様ニ中将
 ヲル故云也アハレハアイスルキミ也ツライト思バアイスル心ナヒハツナレド
 モツライト思ドモアイスルハヨ―サマ／＼メヅラシイ也ツライト思ハアイセ
 ヌハヅニアイスルハウラ表故ニカハツタ例ニナルベキ也御―其御ヨウス風流
 ニドウモイヘヌ也鳥―前ニハ鳥モナキヌトアリニバン鳥三バン鳥ナク也「ツ
 レナキヲ―此ツレナキモ不変也変ゼズ心ニ

〔四十三ヲサシハヘノ心如何日打ハヘテノサシハヘテノト云也皆ワザトノ
 コト也〕

【一三八才】

従ヌ也是モ中将聞故実義ナヒ様ニヨム也マダ恨ミ尽ヌウチニ鳥―ハタン／＼
 鳴也トリアヘヌハニハトリコメ両方ヘカケヨム也女―ウツセミ立反リ我伊予
 ノカミガ妻トシテカリニモ不義也ツキナヒ事也マバユキハ恥カシイ也メデー
 源氏ノゴヤウスノスグレ風流ナトモ面白トモウレシイトモ思ヌ也常ハ―常ハ
 伊予ノカミハ老人ナリ元ヨリ空蟬ハ中納言ノ女メ也受領ノ妻ニナル故イトス
 ク／＼（）シク―思也スク／＼シクハ伊予ノカミスクヨカナ也ナヨヤカニ
 ナヒナリアナヅルハ受領ゴトキ也平生ハナニトモ思ネドモコヨヒ不義ニ付伊
 予ノカミ伊予ヘ治ニ行故ルス也夢―若コヨヒノ事ユメニモ見エンカト女心ニ
 思也ソラ―人ハシラズ我心一ツニヲソロシク思ガソラオソロシクト（ト）云
 也此常ハ―ヤラレテ是モ隔句也常ハ思ヒアナヅル也常ハイトスク／＼（）
 シクニ非ズ常ハアナヅル伊予ノカミ也隔句顛倒也「身ノウサヲ―ミノウサハ
 カノ中納言ノ女デ伊予ノ

〔四十三ウソラハ心如何日天也天地ノ天也〕

【一三八ウ】

カミノ妻（メ）ニナルモ身ノウサ也コヨヒ源氏ニ御目ニカハランモ元ヨリヨ
 スガ定ル身故ソレモ残念也或ハソコ心ハ源氏ニヲシ付ワザニアリモナゲクニ
 夜ガタラヌ也アカデ―ハ夜タラヌ也下地身ウイ上（ウヘ）ニコヨヒノ不義ナ
 ド取アツメネモナカレケル也コト、―是モ悉（コト／＼ク）ト云ト又コト、
 アカクナレバトハアケルコト、テアケテ行也トミル両説ナリカノカラカミノ
 キワ迄ヲクリ取也カラカミノ内モ外モ也ヲ婦リ近トケ来ドモサハグ也カラカ
 ミ引タテカヘル也ヘダツル関モ古イ哥也「彦星ニ恋ハマサリヌ天河ヘタツル
 関ヲ今ハヤメテヨト云心也御ナヲシハセウ束也ノウシヲ召シテギヨシンナリ
 処ハ東ノ正面也南ノカウランノ処ヘユク也ナガメハモノ思シテアル也西―ヲ
 ンナハ北ノ方ニアレドモ朝故西ノ方ヘマワリ格子アゲテ源氏ノゾク也ソ、キ
 ハソヨ／＼スルナリスノコ―竹エンノナカ程ニザシキト竹エントヲ隔ニ立ル
 也ヨエンドコノ様也少サヒ障子ノウヘヨリミコス也ホノカニ―

〔四十四ヲ見エタリハ作者云ヤ日然リ〕

〔同メリ又アンメリ杯ノ詞如何ソウアリシナラント云牛歟日メリニ心ナシ
 秋モイヌメリインダト云コト也アンメリハアルメリ也〕

【一三九才】

源氏ノ御ヨウスミル也空蟬君遣女トモノ中ニ源氏ヲ見テミ―好色ノ女モアル
 メリ也月ハ―コヨヒ月夜也朝迄アル夜アケル故月ノ光ハヲサマル也カケ―光
 ハモノテラスガ光也影ハ丸フ空（ソラ）ニカハリアル也月ハ昼モアル也ヨル
 ハ光ドモ光夜アケナフナレドモ月影ハアル也影ト光トハツキリト見エル影ハ
 夜アケル故ハツキリト見ユヲカシキハ面白也ソラハ無心ナ者也敬（ユヘ）也
 タバ―タバミル人ノ心カラエンニヤサシクモ又スサマシクモ思也源氏ハ離別

思ユヘ月スゴイ也有明ノツレナクト云様也暁スゴイニ非ズ恨ミアル故暁ウク
思ト同事也スガウナケレドモ身ニモノ思ヒアル故スガウニ見エル也モノ思ヒ
ナヒ時ハエンニミエル也人コヨヒ空蟬ニ逢ハ人シヅ(ラ)又也カノ事ヲ心
ニカ、ル故暁スゴイ也コトドフモ文(フミ)ナド通スコトモ面立テナラン
事ヅケナラン也カヘリミアトヲフリカヘリフリカヘリ見テ出玉フ也

△殿ニ帰リ(四十四ウ)

人知レヌ一暁ニ紀ノ守ガヤシキハナレ帰リミガチニ出玉フ空蟬ニナゴリアル

故也殿(トノ)ハ左大臣葵上ヲ方也ソレヘカタ違京極へ行ハコ、ヘ往ン為也

此トノハ二条院デハ無左大臣ノトノ也トミハ頓(トシ)ノ字也早(ハヤイ)

コト也早速ノコト也空蟬ノ事ヲ心ニカ、ル故也又一紀ノ守ノ母伊予ノ守妻ハ

立重テ逢ン様ナヒ也マシテ一ヲノシノヲモノ思ノウヘニマシテ又カノ人ノ

ムタイニ難付ワザニアク事故ナント様ニ思テアルカラ空蟬ノ心ノ中(ウ)イ

カナラント思シヤル也スグレ一是カラ空蟬ノヨウス源氏ノヲ心ニ思召也ソレ

程スグレテウルハシイ生付デモナヒ也メヤスクハ見ヤスク也モテハ助字也以

(イ)ノ字ノ心也ヤウスヨクスル也中ノ品一是ハ◇(六丁ウ)受領ト云(イ

ヒ)テ人ノ国ノコトニカ、ツラヒイトナミテ品サダマリタル中(ナカ)ニモ

又キザミノ有テ中(ナカ)ノシナノケシウハアラヌエリ出ツヘキコロホヒ

ナリト云馬ノカミ中ノシナニ定也クマハ物ノカクレ

【一四〇オ】

ノ処カゲナトノ心也水ノクマハ水流ヨドム処也トカクカクレタ処入江ノル

イ也カクレタ処ナフドコモカモミル也ゲニモ左馬ノカミ云様也是モ中シナジ

ヤハイト思召也コノホドハ一久キ也中ニアル故左大臣殿ノ思召キノ毒故大殿

ニノミデ外ヘゴザラヌ也猶一人ノ処々通テハ後朝ノフミトテ通(カヨウ)テ

カヘル人ノ方カラフミヤルガ常ナレドモフミヤラヌ也絶テ便宜(ビンギ)セ

又也空蟬ノ心ニナント思テアルゾ一夜ノ事アルガナニト思アルベキコウテウ

ヲ召也カノ一是ヲ中立ニセント思召故カノ十一ニバカリトアル此ニハ中納言

ノコトアル中納言デ右衛門ノカミケン帯シタ人也ウツセミト小君(ノ)ノ為

ニモ父也ラウタゲハカハイラシウ見ヘタ也ソバ近ク遣者ニセンクレヨ也ウヘ

ニモ一◇(卅七ウ)初メニ殿上テモ思ヒカケタレドモ

△私考曰◇(四十五ヲアソン)是亦氏骨(カバネ)也後世ノ定メ朝臣眞

人(マウド)宿祢連(ムラシ)王(オホキミ)公(キミ)云々拾芥抄ニ委

シ此中朝臣ハ帝皇相親給ふノ心ニシテ天武天皇ノ御宇第二ノ戸ナリシヲ不比

等(フヒト)等ニ賜テ後自(ヲ)第一トナレリ仍藤原ニカキラズ猶本姓ニハ

必朝臣ヲ玉ヘリ云々

【一四〇ウ】

勝手不如意故スカノシウニセント云ソレ故ウヘニモ一ト也カシコキハイト

カタジケナヒ也アネハウツセミ也姉ニ相談セント云也ムネ一空蟬ノ趣向デ小

君召故ウツセミト聞ハムネツブレル也アソ、ハ其方也戸(カバネ)ノアソン

ナレドモ紀ノ守其故ノ心也平生ナレバ其方ト云ベキ也朝臣ハ詞遣宜ナサル也

ナリト云馬ノカミ中ノシナニ定也クマハ物ノカクレ

【一四〇オ】

ノ処カゲナトノ心也水ノクマハ水流ヨドム処也トカクカクレタ処入江ノル

イ也カクレタ処ナフドコモカモミル也ゲニモ左馬ノカミ云様也是モ中シナジ

ヤハイト思召也コノホドハ一久キ也中ニアル故左大臣殿ノ思召キノ毒故大殿

ニノミデ外ヘゴザラヌ也猶一人ノ処々通テハ後朝ノフミトテ通(カヨウ)テ

カヘル人ノ方カラフミヤルガ常ナレドモフミヤラヌ也絶テ便宜(ビンギ)セ

又也空蟬ノ心ニナント思テアルゾ一夜ノ事アルガナニト思アルベキコウテウ

ヲ召也カノ一是ヲ中立ニセント思召故カノ十一ニバカリトアル此ニハ中納言

ノコトアル中納言デ右衛門ノカミケン帯シタ人也ウツセミト小君(ノ)ノ為

ニモ父也ラウタゲハカハイラシウ見ヘタ也ソバ近ク遣者ニセンクレヨ也ウヘ

ニモ一◇(卅七ウ)初メニ殿上テモ思ヒカケタレドモ

△私考曰◇(四十五ヲアソン)是亦氏骨(カバネ)也後世ノ定メ朝臣眞

人(マウド)宿祢連(ムラシ)王(オホキミ)公(キミ)云々拾芥抄ニ委

シ此中朝臣ハ帝皇相親給ふノ心ニシテ天武天皇ノ御宇第二ノ戸ナリシヲ不比

等(フヒト)等ニ賜テ後自(ヲ)第一トナレリ仍藤原ニカキラズ猶本姓ニハ

必朝臣ヲ玉ヘリ云々

伊予ノカミノ妻故子デモウミ其方ノ弟(ヲトヲト)アルカ也サモソフデナ
 ヒ也一兩年二年バカリ伊予ノカミノ妻ニ成テアレドモオヤノ親中納言ハ内
 へ奉り更衣ニトモト思フモヒノ外伊予ノカミノ妻ニナル也心空蟬心ニハ伊
 予ノカミノ妻ニナルヲ満足ニ思又也哀源氏ノヲ詞ニフビンノコト也カネテ
 宜フ聞父ハ内ニ奉ラント思ニ伊予ノカミノ妻ニナルハアハレ也容儀モ宜ト聞
 マコトニ宜カト尋也ケシウハワルウハナイソウ也古ハカウシテマ、母ニ對
 面スルコトナヒ也母ノコト故アヘドモ几帳ゴシ故ウツセミノ容ス紀ノカミ知
 又也若イ女故ケイ母故ウトシクスル世列女傳ニ出

〔四十五ヲタトヒヲタトヒトヨムヤタトヘトヨムヤ曰タトヒハタトヒタト
 へハタトへ也タトへバトハモノニクラベテミバ也タトヒハケリヤウ也タトへ
 バトハ違也云テ云バ也〕

【一四一オ】

諸候ノ后ケイ子悪ミ大子我ニ心カケル其証拠見ヨ樓カラ見ヨ大子我ニタハム
 ルト云諸候見テアルニマ、母ハフトコロへ蜂(ハチ)入レ取テクレヨト云母
 ノ命故ソバへヨリ取ルソレヲ見レンボソフナト云テ殺ス抄ニハ樂天詩引ソレ
 モ列女傳ノ心デ作也ヨノタトヒ世ニ母ソバへヨルナヨツテハ豺狼トナルト
 云故ヨラス也サテソウアツテ源氏クレヨト云故五(六)六日シテ小君空セ
 ミノ弟小君ヲツレテクル也コマヤカニコマヤカニドコモノコル事ナクウル
 ハシト見ヘネドモサスガ中納言ノ子故中納言相応風流アルキヤシナイ事也ナ
 ル程中納言ノ子ト見エル召入レテ近フ召シテイト親スル(ワ)ラハワ
 ラハ心チニサシモ源氏御目被下故ウレシト思也妹カノ姉空蟬ノコト委フ
 ヲ尋ナサル、也コ、ニ妹トハ姉ナレドモ系図ノサ法デ系図書ハアネデモオト
 コヲ先へ書ランナハアトへ書古今ノ序ニモソサト書弟ナレドモアネト書也

アネデモ女ハ妹分

【一四一ウ】

ニス空蟬ノコトヲ尋也サルベキ相應ノ御返答云ベイハ申上テ脇カラ物イ、
 ニクヒ様ニジチメニシテアル是小君ソウ明ナ処也打ハ助字也タゞ云出シニク
 ヒ也サレドソフアレドモ源氏ノ弁舌ヲ以テイトヨウ便デモスル様ニ云聞ス
 也カ、ルソコデ小君ヘウツセミノ方ヘノビンギ被仰故サテハウツセミニ御
 蜜通モアルカトホノカニガテンスル也思ヒノ外トイヘドモ伊予ノカミガ妻
 ナレバ思ヒヨラヌコト也ト云テモ小ドモノコト故ドウカカウカト思案モセヌ
 也御ソコデフミ遣ヲ小君持テ行也女キモツブレル也弟持テクル故ナムサ
 ンボウ弟ニ被仰聞カト思故也此コノ弟小君ノ思モ不相応也サスカニサス
 ガニ見マイトハ思ドモサスガニ也ウツセミノ心ハサスガ也ヲ目ニカ、ルマイ
 ト思ドモ引モドシテ恋シヒ心也先へサシヤリ引モドス也空蟬ノ心ハ一生サス
 ガ也ソレ故是ヨリ下五六段程ニサスガ三アル也オモ涙コボル小君ニ涙カク
 ス体也イト

〔四十五ウタドル此ニテハ何ノ心ゾ曰尋ヌノ心也ドウカウトエ思慮カ、ヌ
 也小トモノ事聞ン弟也タドルハ尋ネルノ心也〕

【一四二オ】

詞多カク也見シ夢ヲ一旦逢コトヲ夢ノ様ニ思召故ミシユメヲト推付云也
 ソノユメト云事アランユメニ逢コトアランカトユメ頼ミニスレドモ物思デネ
 ラレヌ故ユメミヤウ様ナヒ也メサヘ日比月比ヲモフル日数ヘタ也ヌル夜
 ヌル夜ナケレバハ古イ哥ノ詞丸デコメル「恋シサヲ何ニツケテカ慰ン夢ニモ
 ミエズヌル夜ナケレバ抄ニアル通此ヌル夜ナケレバノ中ニ一首ノ心フクム也

目モ―諸芸通達ノ源氏御能書御文遠コト也メモ―涙ニキリカハル様ニクラム
 半ミ也心マドヒニカナシミテ也メモキリテハ霧カハル様也心エヌハ心ニ得ヌ
 也モト中納言ノ女デ伊予ノカミガ妻ニナルヲ我心ニ合タ事ニ非スフトク心ニ
 思也打―ハ元伊予ノカミガ妻ニナルニ源氏ニ一夜アフ故ソヘタ也思―ネラレ
 ヌ也又ノ日―其翌日源氏カラ小君ヨビニキタ也夜前ノ御返答トカウ也カハル
 ハカクアル也カウシタ文ミルベイ人ハナヒト云也打―小君打エミテカウシタ
 フミミル人ハナヒト云故

〔一四二ウ〕
 (○上ノ取様トハ違ヤ曰前逢ヲユメニシテ置テユメハユメ合セト云也此アフ
 夜ハユメカ逢也ユメハアフアハヌト云是ハ前ノ夢デマコトニアフ也此アフハ
 ユメアハセノアハス也ユメガアフタト云フ也)

聞達人モナヒコナタヘ渡セト被仰也直ニ被仰ト云也心―ソコデ仰ト知タト思
 故心ヲヤマシメル也残―ハ見キトナカケソト云ヲ小君ニ残ナフ被仰聞ソウ也
 ツラキコト―源氏ヲ少シ怨也イデハハツゴ也オヨスケ―児(コ)ドモノ云ナ
 也ヨ―心ハサラバナレドモヨムハサハ也ヨシヤソウアラバアナタヘ御奉公ニ
 往ナ也ムツカルハシカル事也キゲンアシイ事也ムツカシイト云モヨリ付ニク
 ヒ事云也ムツカルハ啼事ニ非ズシサイアル事也重テ◇(云)ヘキ也召ニハイ
 カデマイルマイ様ナヒ也紀ノカミ―此ニハ隔句ノ様也コハニハ紀ノカミ―ハ
 云(イハイ)デモ大事ナヒ様ナレドモユルメル為也空蟬ハマ、母ナルガ其ア
 リサマヲ若イ人ガ老人ノ妻ニハヲシイト思ガアタラシキ也ツイセウシテソバ
 ヘ近ヨリタイ也此小君ヲモモテハ以ノ字也助字也ヒキイテ也ツレアルク也コ
 ハ、デ紀ノカミノ隔句スム也君―カノ召(メス)ニハイカデカトテマイリヌ也
 ソレカラ君メシヨセテ―待(マチ)クラセシヲ也キノウ一日返事ヲモ持ク

ルカト待ニ此方カラハ

〔一四三オ〕
 (○四十六ヲツライノ訓如何日シラス)
 (○◇(四十六ウ)ムツカラレテノ訓如何日ムツカシイト同コト也)
 (○アタラシキトアツタラシキ也ヲシムコト也)
 (○ツイセウヲツイソウトヨムシサイナシヤ曰セウハカナ初デハ皆ソウトヨ
 ム松徳ヲソウトクトヨム例也)

思ドモ其方ハ思ハヌソウナ相互ニ思ハヌソウナト児ドモ故ヲドス也エンジハ
 ウラミル也カホ―キノ毒ガリヲル也イヅラ―ナントユウベノ返事ハイカハト
 被仰也シカノ―カハルフミハミルヘキ人モナシト云タト也イフカヒ―児ド
 モト云テモフカイセウナ者ジヤトヒカル也アサマシイフカイセウナト云テ又
 フミ遣也アコハヤラデ云ハ吾子ト云様也ワガコ也親ヲ我弟子ヤ我シタハラ親
 ミ云也アコハアガ子也ワガ子ナレドモワトアト五音通ズ古ハワガヲアカノ
 ト云也ワガ子也ワレヲ略シテアコ也其方シルマイ也伊予ノカミヨリ先ニ我ハ
 空蟬ニアフタ者也サレド―ソウアレドクヒガヤセタト云テ肥リクリヤウシテ
 丈夫ナルヲ夫ニ持也児ドモ故ダマシテ被仰也サリトモ―姉ハソウアリトモ其
 方ハ我子ブンニシテヤラン也ヲハ助字也伊勢物語ニイコマ山ミツハヲラン
 ト云ヲノ様也ヨハ下知也伊予ノカミハ老人也イミ―伊予ノカミヨリ先ニ源氏
 アフナラント思也ソフアツテハ姉

(○イヅラハイヅレナリ)
 (○四十七ヲイミジキハ如何日コレモキツイコトジヤト云様也ヲ笑止ナト云
 様也弁ツケニクイ也)

【一四三ウ】

ノシヤウアシイト思也オカシト―コドモ故ダマサルト源氏思也此子ヲ―小君召マツハシゴチ走也キノカミニ約束ノ通殿上サシテヤル内ハキンク也我―天子ノ御クシゲドノトテヲセウ束テウズル処アルコレデ我ハ私ニ源氏ノ御殿^レ源氏ノヲセウ束調ズル処アル御クシゲドノ也ソレ故我―也小君(ゝ)キルベイセウ束拵テ遣(ツカハ)ス也マコトニ―前ニアコハ我子ニテヲアレヨ伊予ノカミハ老人ナルホドニト云故マコトニ―ヨソフミウツセミノ方ヘ遣スウツセミノ心ニ此児(コ)モヲサナイ也前ゴ返答シテハ小君モ心ニハチラスマイト思ドモ心ノ外ニチラバ也カロ〳〵シキ―伊予ノカミガ妻ニナルカル〳〵シイ上(ウヘ)ニ不義ノ名取ソヘテハ也ミノ―伊予ノカミノ妻ニナルウヘニ風流ガマシイエソ書ノ取カハシハツキナヒ也メデ―源氏ノ御ヤウスノメデタウシタハシケレドモソレモ我身ガ我身デアツテコソ也ソレ故打トケタ御返答申上又也是モ身ノ覺ヲイトツキナカルベク

〔○私考曰御匣殿ハ装束ヲ調スル処也我ミクシケ殿トアレハ源ノ御匣殿也公家私家トモニアルカ云々〕

【一四四オ】

思ヘバウチトケタル御イラヘモ聞エズ也是モ隔句也ホノカナリシ―初ノ方(カタ)違ノ御ヤウスホノカニミルヤウスセ間ニ云通ヲシナベテノテイデナヒト思ドモオカシフハ風流ニ返答申上テモ先ヨリ心ニミサホ立御イラヘモセントアル故ヲカシキ御返答シテモ元ヨリ定リアルミ故センナヒ事也ソレ故返答セヌ也君ハ―源氏ハソフデナク思ヒオコタルコトナヒ也ヲ心ニカハリ心イタメラレ恋シフモ思ヒサマ〳〵思出也オモヘリシ―思ヘリシハ今ハミキトナカケソト云思ヒ也源氏ノヲシツケワザスル時ニ源氏ニ從(シタカ)フマイト

思ヒツラガルテイ思召也ヲ心ハレル事ナリ月日ワタル也カル〳〵シク―ト云テ源氏ノカル〳〵シフハイマギレテ空蟬ノモトヘ立ヨランモカシコニハ人目シゲイ処ナレバ^レハカツテナル事ヲビント云スレバフカツテナハルイシ様也人ノ為―我ビソナキフルマイ見(アラハ)レン又ウツセミノ為ニモアラハレ^レ北(テ)ハ笑止ナト思ヒ煩ヲ出ナサレヌ也例―

【一四四ウ】

左様ニ月日ヘテイカゞセント思召時ニ例ノ如ク内ニ永キシテ去―前ノ天一神此方ニ五日ヅ、四偶ニ六日ヅ、四六廿四日四五廿合シテ四拾四日ソレニ六日ノ天一天上六十一日ブリニハ又マハル也イツノエトヨリイツ迄東イツハ西トエトデ極アル也天上ノ日イツトシレアル也ホキノ註ニアル也キンリカラ左大臣殿ヘゴザルニ其時分待テアル也シラヌカホシテ待テキテ又カノ例ノ方(カタ)違ジヤハト被仰也ニハカニキン中カラ退出マネシテ途中カラ思ヒ出ス様ニ被仰テ紀ノカミノ方ヘ行也キノカミ―初メハジ退スレドモコタビハナレタコト故ニ木ノカミ悦也前ノ様ニキツトセイデモ大事ナヒ故ニヤリ水―也小君―小君ハカウシタ趣向デヲ出ナサレント内々被仰聞アル也アケクレ―ヒルカラ小君ハ被仰処アレドモソフナヒカホシテ平生小君召故コヨヒモ其様ニシテ召也召―ハ召シ出シ多也女―空蟬ノ元ヘモカウシタ理屈デユカント云ヤリアル也オホシ―タバカリハ謀(ボウ)略ノボウノ字也タバカリハ

【一四五オ】

ダマス事云ドモ是ハシリヨメグラス事也伊物ニサルニ大(ゝ)將出(イテ)テタバカリタマフトアルシアンスル也是モケイ略メグラシテコ、ヘヲ出ハ浅ナヒ也深ウ思召トハゾンスレドモソウジヤト思ドモ人ゲ―伊予ノカミカ妻ニナリ物ノカズデモナヒト思也コレモ此ガ隔句也人ゲナキアリサマヲ打トケト

行也打トケ人ゲナキトハツバカヌ也アジキ一ヲ志ハフカイ也ソフアリト雖前カドアジキナフセン方ナフユメウツトモワカレン様ニシテアフ也又コヨヒ御目ニカ、ラバ其ナゲキノ上(ウヘ)ニ又加ヘン也猶一カウシテヨレバ其部屋ヘヲ出也ソフ思ドモカウシテヲツテハ猶也コザルコト源氏ヘ對シテモヲ志恥カシイ也小君一小君ガソコ出源氏ノ方ヘユク也近辺ノ女中ニ云ハ源氏ノソバヘケ色近ハカタハライタシハキノドク也気分アシイ故ニヒソカニ肩ヤセナカ打タ也カセクツロギタイ也程一ホドハナレ源氏ノヲ出ノ処ヘハナレテ居(ヲリ)タイ也ヲモ先程ノゲト同ジ助字也ワタ

(○四十八ヲサルニ大(一) 將出テ、タバカリタマフトアル也出テアル皆スルコト也源氏ニ多コト也)

【一四五ウ】

殿一廊下ノ辺ニ前ニ出中將也カクレニヒソカナ処ヘウツロイ行也サル一ソウアル心遣シテ早く御近辺ノ人ネサセ誰今マイルト云ヤル元ノ処ニヲラヌ也諸方アルキマワリカノ廊下ノ処ヘ尋ネ行カラウジテハ辛苦シテ也タドリハタドル也手ドル也手デクラガリモノトラヘユク様也イト一小君ノ心ニ浅マシウ源氏ヨリ御消息アルニカクレテ浅マシクツライト思也イカニソレヲカヒナヒ者ト源氏ノ思召サントナカンバカリ也カク一カウシタ実ナヒ心遣セン者ト也ケシカラヌハ木*怪ト書正道ニナヒ事ケシカラヌト云ナレバ木ノ字ノケ怪デヨイ不ノ字誤也ケシカラヌハ其キシカラヌ也冬サムカルベイ者アツイハケ然ラシ也デマイグナ者出ルハケシカラン也木快ハアシイ也怪ノ字デヨイ也木怪ハ平生ノ事也カク一弟ノミブントシテ姉ノ中立ナド心遣センヤ也オサナキ一カウシテ取ヤリスレバ死ヌルナドヲドス也返リ參テ云ベイハ心チアシイ故ニ人々其

【一四六オ】

近辺ハナレズトナント此ナ、ハ心エアル也ヲサヘサセテ養生サシテアルト申上ヨ也アヤシ一左様ニ夜フケテ往來シテハ怪(アヤ)シトケライノ者モ思ラント云放チ再云テコヌ様ニ云也イト一伊予ノカミノ女ボニナラヌ先ナレバスギニシ親ノ中ノ御(ミ)一ハヲヤノ手ワザノ残テアル古里ナガラ此伊予ノカミカモトヘ嫁シテコヌサキ也タマサカニモ一毎夜ハユズタマサカニコザル源氏ナリトモソレハウレシウ思ハント也シキテ一シキテ心ヲツヨクヲナサケシラヌ顔ニ源氏ノヲ忘ラミ消(ケス)也親切ナヲ志ラミケシテ御返答モセスアル事也イカニ一イカバカリ程シラン分際シラン者ト思召ラントムネ一ハ我心ナガラ胸ヲイタメル也サスカニ一此ニモサスガニトアルトカク思切テモ心ノコル也トテモ一ト云テモ角云テモ過去ノ因縁デ伊予ノカミノ妻ニナル程也ムジンハ心ナウ也心ナヒ心付ナヒブコツナ者デ止ント決シタ也君ハ一源氏ハイカニドウ思慮メグラスト小君ヲサナヒ故ニ心モトナイ也フヤウハ用ヒヌ也

承知セヌ也アサマシク一ケン氏ノ思召善ハメツ一源氏ニ從ヌ

【一四六ウ】

女ハナヒ也空蟬ハ從ヌ故ニ身モ一却テ空蟬ノ心ハユカシヒナリキラハレテ也小君見タ処ガヲ笑止ナ御ヤウス也トバカリ一シバシガ間モノモ被仰ズヲ心イタメルテイ也ウメキテハサ嘆也ウン、ト被仰キミ也「ハ、木々ノ一カノ最初ニ云通ソノハラヤフセヤト云哥ノ心ヲ底(ソコ)ニ持テヨム也ハ、木々カクトハ知テゴザレドモアハヌ故ナドハ、木々ノアル様デナヒ也兼(ソノ)ハラヘ来テ見テモ見エヌ故ニ也紀ノカミノ母故ソコフクミタ也面テハ来テモアハヌ故ニハ、キ、ノ正体云也ア、ハブン也モンハ衣(キヌ)ノモンハ花ノ鳥ノハアヤ也キヌノ目ノ処ハ地ノ処ハ目也モンノ処ハアヤ也ソレ故アヤメト云

也絹ニモンナヒハ覺ナヒ様也聞エン―云ベイ様ナヒト小君ニ對シテ云也サス
 カニ―又此ニサスガトアルウツセミ一生サスガ也女モ思ヒハテ、モサスガニ
 也ジノ心思故也サスガハ先ヘヤリ引(ヒキ)モドス也アノ女ハカラツヨイ女
 也サレドモサスガニ女故ニヨハイト云也伊物ニムサシアブミサス(カニ
 カケテト云アブミニサスガネト云者アル俗ニハカ(チカラ)金(ト云
 アブミ上ヨリイトサゲル

【一四七オ】

ソレニ付アルマガルカギノ様ナ者也先ヘユケドモアトヘモドルサスガネヲ借
 (カリ)云也カギノ様ナ者也「数ナラヌ―本*哥ハソノハラヤ―ソノ原モ伏
 (フセ)ヤモ処ノ名也フセヤハシヅガフセヤト云哥アルチヒサヒキタナヒ家
 也悪イ家ニ取ナス也帚木故ヲ、ルト云也人ノ妻ニナルト云名ウイ故有テモナ
 ヒ様ニキュル也キュルハ有テモナフナル様也心ニハキヘカヘツテアル也小君
 カノ哥持テ行ソノ返カ也小君―ネムタイ事打忘レ源氏笑止サニアルソレ空蟬
 ノ心ニハアノ様ニ夜フケイタリキタリスルヲ怪(アヤシマ)ント思也例―前
 ニモイキタナカリケル夜哉トケ来衆云也其對(ツイ)デ例ノ也一処ハ―源氏
 也源氏一処ハネラレヌ故スサ―モノサビシフ思召也人ニ―先程云通源氏ニナ
 ビカ又人ナヒニ空蟬ハ心ゾヨイユヘ二人ニ似ヌ也猶―ハ元ノ中川デアツタ女
 ノ心ヲサス也両夫ニマミエマイト思甚也ネタマシイ也カ、ル―併カウアル故
 空蟬此様ニツレナヒ

(○フセヤノフセ如何曰モトハ処ノ名デ此ハシツガフセヤ也キタナヒ家也フ
 シコロス家ト云事ソウ也強テ心ナヒ也)

【一四七ウ】

故ニヲ心止也此サイ初ニアル打ツケノスキ、シ#(サ)ナトハコノマシカ
 ラヌ本性ニテトアル早速引バナビクト云ハヲ好ナサレヌ也ツレナヒト思召ト
 モカクアルニ付テカツハ―トハ思召メザマシクヲ心ツライ也サバレト―マ、
 ヨ也サラバソウアレ也ハ(ニ)ニコルヨケレドモサハレトスミヨム也ア、マ
 、ヨト思召ドモサモ―ソウモドウモ思ヒハテラレヌ猶ヲ忘(ナ)サレヌ也
 カクレ―中将ヘヤヘカクレテアル処ヘナクトモヒキイタイム也イト―ヨリツ
 カレヌ様ニシテアル人―打タ也カシテナドアル也ヲソレ多テヲ出ナサレラレ
 ヌ也イト―源氏ヲ小君ノ心ニヲ笑止ナト思也源氏ノ小君ニ對シテ其方ハコン
 夜我ヲステ、クレナ也ア子ハステルトモ也ヲソバニネサシテ也若―源氏ノ若
 ウウルハシイ御ヤウスヲウレシウメデタイ事ト思ユヘニ源氏ノヲ心ニフビシ
 ニ思也此方カラモ大切ニ思故ツレナヒ空蟬ヨリナカ、アハレニ思也トゾハ
 我云ニ非ズ人ノ云様ニ書也

帚木々終

【一四八オ】

○年比(ゴ)ゴロト濁ル也日比ト同シ日比トハヨマレヌ也
 ○隔句転倒ハ安適云ヌ処我今云也我云ヌ処ニモ是アルベシ各器量ニテ見ルベ
 キ也一ツニツ云ハ源氏ミル手本ニ云ナリ
 ○今令ト云ハ即令ノ義解(ギゲ)也正少位ノ者也日本ノ鑑ハ令也
 王政備レ此モタデナラヌ者也人ミ難者也
 ○金華山ハ祖来ノ門弟也祖来ノ集出テ追ツ、キ金華ノ集出文集也面白也金華
 ハ江戸也
 ○護(ケン)園録稿二冊ケンエンハ祖来ガ号也祖来門人ノ詩入也
 ○軒号齋号皆号也ヲル処ニヨリ名付也

○二字姓ヲ復姓ト云復ハカサナルキミ復道ノ行空ト云ト同心ナリ上(ウヘ)ニモ下ニモ路アル故也三字姓ハ少ナシ天竺ハ姓名皆長シレザル者也日本モ長也字ハ短ケレドモアチノ者ニ云聞則ヨリトモト長書ネハナラヌ也唐トハ合ヌコト也一ツニシテナランコト也本違也一ニセントスルハ無理也一ニナラヌ也兩部ノ神道ト云様ニナリアル也

○二丁ヲ抄引哥ニ思ふとて一ナゼニ此様ニムツレタゾシカハ其通也其通ナラヒテゾミネハコヒシイ也

○三丁ヲ抄引哥秋風の一己ガシハ紅葉ガ己ガジ也カナシモハ紅

【一四八ウ】

葉ノチルガカナシイ也

○七丁ヲ抄ニ国ノ守一是ハ参議ハ京ニナル者也クムヲ勤(ハ)国ヘ下也是ハ参議ニテ国ノ守ヲ兼官スルハ国ノカミハ権ニテ国ヘ下ラヌ也

○六丁ウさはいへとサハソフハイヘドモ也ナリ上タトハ雖也抄ヨシ

○八丁ウ白キ御ゾハ平生ノキル者ノ様也是ヲキヌト云也今ノハ小袖ト云昔ノ

ハヲ、袖也此上ヘニ下ガサネヲ着テ其上ヘニウシヲキル也コ宵ハ下ガサネヲキズ袴マハキル也サシヌキハ即ク、リバカマ也此ノ僧正ナドキル是也抄ノ曲(御)衣ハハカマキヌヲ云也ハカマキヌト云ハアマリ也コトニ頭ノ

中将コ、ニ在レバ也

○十丁ヲ所カヘ一青表紙ニハナケレドモアルハ委テヨイ也入レテ見テヨイ也

○女ノ為めも心ニク、一女モ也心ニク、ハ奥フカフ思バイカニ思者也

○抄十二丁ヲ蓮葉の一池ニモ少イ貝アル者也上ハナヒ様ナレドモ葉ウラニ貝アル也上ヘハナニ事ナヒ様ナレドモソコノ心ニハアラガウ也後撰ノ哥也恋也

○同あるがうへに一不覺

○喝食(カツジキ)ハ寺ニカブロニシテアル者也船ノ飯タク者ヲカシキト云コノ字也下賤ノ者也

○十六丁ウ大貳高遠ガ哥拾遺歟後拾遺歟秋ノ哥也

【一四九オ】

貫之ノ哥モ三代集ニアル古今ニハナヒ也秋ノ哥也高遠ハ貫之ヨリ後也一条院ノ時ノ人名高人也笛ノ上手也

○おハさうすハヲハス也ノベテ云也

○職(シキ)員令如何曰先シヨクナレドモ書物ノ名ハ吳音ノ者也シキト云ベキ也漢音ナレバシヨクインレイト云ネハナラヌ也シキヨカラ

○廿五丁ウ抄ハリビトヘハ生(キ)衣ノハル也下ノスバシト同者也上ヘハ張タ者也

○同むつかりてハキゲンアシイ也啼事ニ非スヨリツカレヌ様ニキゲンアシイ事也此デ六ヶ敷ト云ト同コト也六ヲ蔵(カク)スト云コト也兼道按蔵六ノ被事ハ仏家ニ出積氏要覽ニ見ユ

○廿丁ウ此物語ニハ守ヲ介ト云コト多アル也

○侍ラサンメルハ侍ラズアルメル也

○まる丸ノ字モ書カナデ書ハまる(マロ)ト書マルトヨム也

○四十二ヲ取かへす一思ハンハ思ハウ也

○さしハへてハフリハへテト同事也皆ワザトノコト也打ハへテハ長フハヘタ事也

